

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 【音 楽】  | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇          |
| 【演 劇】  | 児童劇, 演劇, ミュージカル           |
| 【舞 踊】  | バレエ, 現代舞踊                 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん しんこくりつげきじょううんえいざいだん ----- 公益財団法人 新国立劇場運営財団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号(京王新線初台駅直結)		
電話番号	03-5351-3011(代表)	FAX番号	03-5352-5739
ふりがな 公演団体名	しんこくりつげきじょうがっしょうだん ----- 新国立劇場合唱団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規 (公益財団法人 新国立劇場運営財団)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号(京王新線初台駅直結)		
制作団体 設立年月	1993年 4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:中西宏明 理事長:尾崎元規 芸術監督:飯守泰次郎(オペラ)	会長1名、顧問9名、評議員25名、理事20名(うち 理事長1名、常務理事3名)、監事2名、会計監査人 2名、芸術監督3名、芸術参与2名、研修所長3名、 職員137名等	
事務体制の担当	専任 ・ 他(の業務と兼任)	本事業担当者名	高橋 徹
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	総務部長 畑中裕良

制作団体沿革	<p>1993年4月 財団法人第二国立劇場運営財団設立</p> <p>1995年4月 劇場名が新国立劇場と決定し、同時に名称を財団法人新国立劇場運営財団と改める。</p> <p>1997年10月 新国立劇場オペラ「建・TAKERU」にて開場、以後オペラ・舞踊・演劇といった現代舞台芸術の自主公演を継続的に上演する。</p> <p>1998年4月 1998/99シーズンより新国立劇場合唱団を組織、オペラ「蝶々夫人」出演</p> <p>2012年4月 公益財団法人に移行。公益財団法人新国立劇場運営財団となる</p>		
学校等における公演実績	<p>2008年6月、2011年12月、2015年11月 三鷹市明星学園小学校音楽鑑賞会</p> <p>2013年5月 松本市内全中学校 芸術鑑賞会</p> <p>2015年6月 上田市内高等学校 芸術鑑賞会</p> <p>2016年6月 長野市内高等学校 芸術鑑賞会</p> <p>2017年5月 長野市内中学校 芸術鑑賞会</p> <p>2018年6月 松本市内小学校 芸術鑑賞会</p> <p>2009年度より現在まで、文化庁本事業に参加</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>2010年1月 広島県広島特別支援学校</p> <p>2012年9月 青森県立青森若葉養護学校</p> <p>2013年2月 北海道白糠養護学校</p> <p>2015年9月 神奈川県立中原養護学校、愛知県立豊橋特別支援学校</p> <p>2016年6月 神奈川県立中原養護学校</p> <p>2017年11月 滋賀県立野洲養護学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	文化芸術による子供の育成事業 特別合唱コンサート		
本公演演目	新国立劇場合唱団 文化芸術による子供の育成事業プログラム (小学生 低学年・中学年・高学年 及び中学生向け) 公演時間(90分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>各校の校歌演奏(混声四部合唱に編曲)</p> <p>演奏会の導入に当該校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することによって歌の多様性を感じていただくことも狙いのひとつとします。</p> <p>日本の歌・世界の歌・オペラの世界</p> <p>児童に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しさを感じていただきます。高い演奏技術で世界的に評価されている「新国立劇場合唱団」の演奏で様々な合唱を堪能していただきます。その演奏をもとに歌や合唱の歴史、クラシック音楽やオペラの話を取り入れていきます。</p> <p>新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらする劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている舞台芸術であることも理解していただきます。</p> <p>曲目:童歌「ほたるこい」(女声合唱)・民謡「ソーラン節」(男声合唱)</p> <p>各地域に伝わる民謡や唱歌を合唱に編曲しての演奏</p> <p>ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋</p> <p>マスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り(混声)</p> <p>ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱(女声)</p> <p>ウェーバー作曲「魔弾の射手」より 狩人の合唱(男声)</p> <p>ヴェルディ作曲「椿姫」より 乾杯の歌(混声)</p> <p>総合ワークショップ～合同演奏</p> <p>事前に行うワークショップを基に「全校生徒」で各校の「校歌」の歌唱指導、合唱指導を行います。事前のワークショップから引き続き発声方法の指導、その後各校生徒児童にとって将来にわたって歌われるであろう「校歌」(各校の事情により愛唱歌でも可能)の歌唱、合唱指導となります。</p> <p>アンコールとして ビゼー作曲「カルメン」より行進曲と合唱～終幕の合唱</p> <p>※曲目は変更の可能性があります。</p>		
演目選択理由	歌の歴史的な解説や様々な種類の声を使った楽曲を横断的に取り上げることにより、音楽表現に興味をもつていただき、更にオペラでは「舞台芸術」を理解し、表現することの意味や音楽を聴く楽しみを体験してもらいたいと考えております。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	演奏会の冒頭では「校歌」を混声四部合唱に編曲して演奏いたします。プログラム後半の総合ワークショップ～合同演奏では各校校歌(愛唱歌も可能)を、指導しながら一緒に演奏することにより、より身近に音楽の素晴らしさを体験していただきます。		
出演者	指揮:三澤洋史・富平恭平 ピアノ:水野彰子・平塚洋子 合唱:新国立劇場合唱団 30名 *合唱メンバーは別紙参照。メンバー表より選出。		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 32名 スタッフ: 5名 合計: 37名	機材等 運搬方法	積載量 1.0t 車長 4.7m 台数 1台

## 【公演団体名 新国立劇場合唱団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(2時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～ 11時	13時～14時30 分	10分	14時30分～ 15時30分	16時
<p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 11時～リハーサルを行います。(公演団体:所要90分) ◎基本的に午後公演ですが、本公演を午前中に開催される場合は、前日仕込みを行います。 ◎前日仕込みを行う場合は、体育館準備の事故防止の為、体育館の使用を制限願います。</p>						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	10名～1,000名				
	本公演	10名～1,000名				
ワークショップ 実施形態 及び内容	姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を行います。わかりやすい解説、圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、本公演で取り上げる校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」というような話題もあわせて行います。					
ワークショップ 実施形態の意図	この演目では公演自体の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっております。導入となる事前ワークショップとその仕上げとなる公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	学校側の諸事情を汲み取り柔軟に対応します。日常の生活状況をおうかがいしながら「歌」を楽しむ工夫をしております。生徒に触れる形で演奏し、声を出すことだけではなくリズムを取り入れる工夫をさせていただきます。					
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

## 2018 / 2019シーズン 新国立劇場合唱団 メンバー名簿

下記名簿から、選抜したメンバーでの出演となります。

### 契約メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	石田 亜希子	石澤 希美	大木 太郎	秋本 健
2	岩本 麻里	小酒部 晶子	嘉松 芳樹	上野 裕之
3	岩本 留美	四家 緑	寺田 宗永	大森いちえい
4	益 文美	鈴木 涼子	中川 誠宏	川村 章仁
5	金子 寿栄	長澤 美希	二階谷 洋介	小林 宏規
6	黒澤 明子	中野 優子	西沢 健吾	佐藤 勝司
7	近藤 宏美	西本 会里	半田 爾	タン・ジュンボ
8	直野 容子	前田 祐佳	真野 郁夫	徳吉 博之
9	福留 なぎさ	吉田 理絵	渡辺 文智	細岡 雅哉
10	前川 依子			
11	丸山 則子			
12	龍 三佳代			
	12名	9名	9名	9名
				合計39名

### 登録メンバー

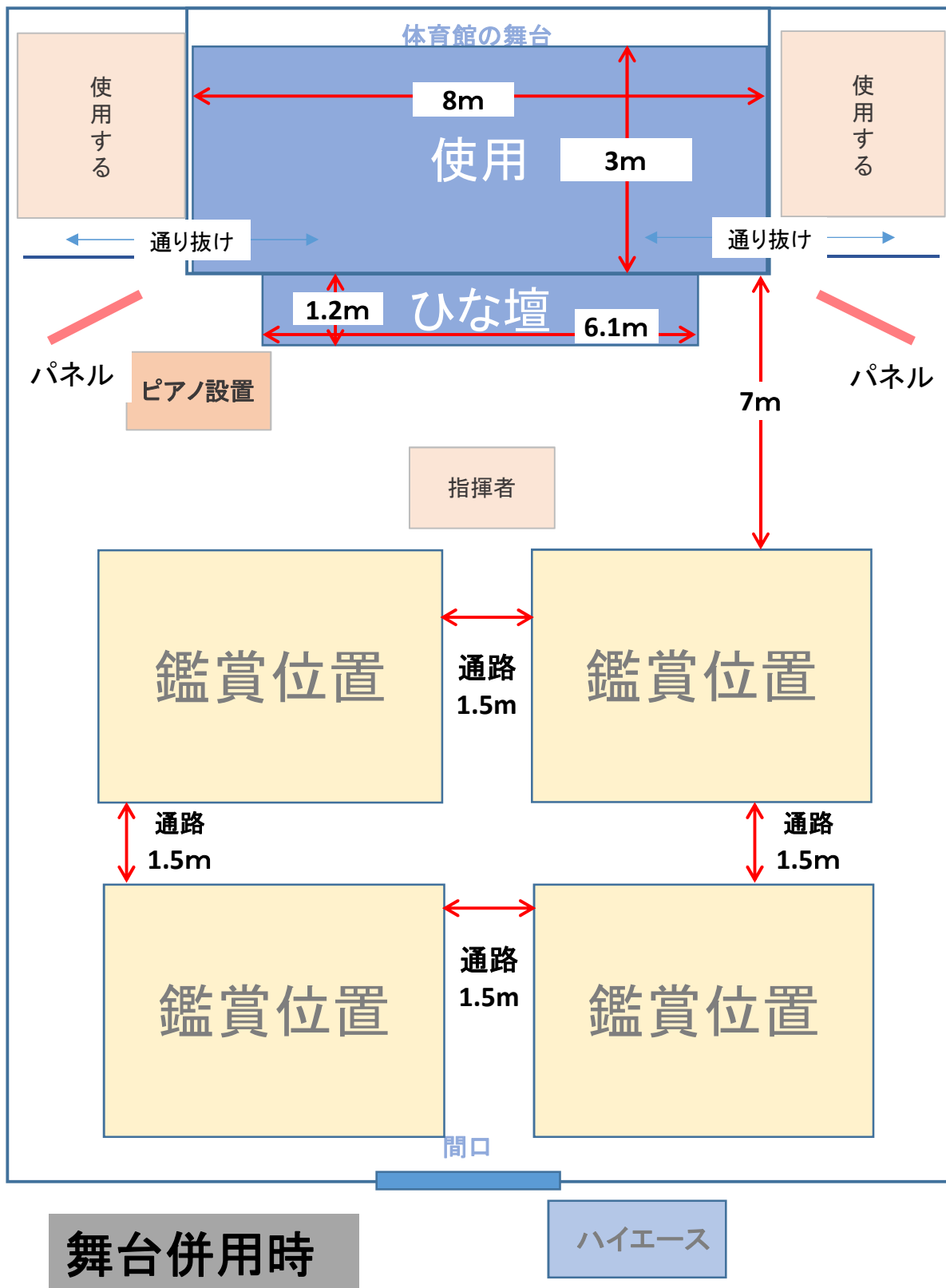
	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	相川 知子	荒川 恵美	阿瀬見 貴光	青鹿 博史
2	井垣 朋子	垣内 江利子	熱田 鷹丸	岡田 誠
3	大音 絵莉	河合 美紀	阿部 修二	小田桐 貴樹
4	熊坂 真里	北村 典子	石塚 幹信	香月 健
5	肥沼 諒子	熊井 千春	岩本 識	金子 宏
6	国分 晴香	小林 昌代	大久保 憲	木谷 圭嗣
7	小林 多摩美	佐々木 昌子	加藤 信行	黒田 諭
8	込山 由貴子	清水 芳子	黒田 大介	小林 幸紀
9	佐藤 路子	竹本 あづみ	小田 修一	千葉 裕一
10	佐藤 泰子	立川 かずさ	木幡 雅志	照屋 睦
11	塚村 紫	中道 ゆう子	東海林 尚文	西村 朝夫
12	寺田 千絵美	野田 千恵子	塚田 堂琉	野村 光洋
13	藤井 直美	長谷川 光栄	那知 上晃	比嘉 誉
14	藤永 和望	花房 英里子	根木 秀雄	東 玄彦
15	松浦 藍	福岡 章子	橋本 大樹	古川 和彦
16	松原 典子	増田 弓	長谷川 公	別府 真也
17	鷺山 恵理子	松浦 麗	丸山 哲弘	保坂 真悟
18	和田 しほり	丸山 真木子	森田 有生	前田 進一郎
19	渡邊 早貴子	村山 舞	山原 卓実	宮本 俊一
20		山下 千夏		山下 友輔
21		横町 あゆみ		山本 竜介
22		吉成 文乃		龍 進一郎
23				渡邊 朋哉
	19名	22名	19名	23名
				合計83名

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F63	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	新国立劇場合唱団			制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	不可	必要数 *	2室	条件		男性と女性が着替えに使用するため、カーテンがあり目隠しが出来る部屋が必要となります。						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	大型バス 1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースバン							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			屋根がある経路が望ましいです。							
	理由				ひな壇・小道具等の搬入のため。							
	—	設置階の制限 *			問いません。							
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m						
WSIについて	可	参加可能人数			10人から1000人							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度							
本公演について	理由	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			10人から1000人							
	不可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	4.2m	高さ	指定なし				
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	不可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物のない状態にして下さい				
	—				緞帳 *	不要		パトン *	不要			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。						
	不可			ピアノの事前調律 *	要							
	不可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可							
	可	公演に必要な電源容量			特になし。		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											
	不可	ピアノはフロアに下ろしていただき、本公演前に調律をお願いいたします										
可	基本的に舞台があり、フロア部分は舞台から7m必要となります。											
可	鑑賞席は演出の都合上、4つのブロックに分け、出演者の通路の確保をお願いいたします。											
—	仕込み時間とリハーサル時間は、体育館への入室を制限願います。(事故防止のため)											



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

平成30年度

# 文化芸術による子供の育成事業

## —巡回公演事業—

新国立劇場合唱団  
〈合唱公演〉



撮影：三枝近志

### 「文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

### プログラム

#### ■校歌演奏（混声四部合唱）

#### ■日本の歌・世界の歌・オペラの世界

##### 日本のうた

\*皆さんが住んでいる日本にはたくさんの素晴らしい曲が歌われています。いつもは何気なく聞いているテレビから流れている曲だけではなく、小さいときに歌った童謡や昔から歌われている唱歌。また地域によっても違いがある民謡。学校生活の中でも歌う機会がたくさんあります。歌詞を読むだけでも色々な発見がありますので、様々な歌に出会い、心を豊かにしてください。

#### ●わらべうた（小倉 朗作曲）「ほたるこい」

日本のわらべうたとして知られている曲を女声合唱で演奏します。輪唱の形式を基本に取り入れ、全体を三つのパートに分ける「三部合唱」にて演奏します。ほたるがそこそこで光を発している様子が大変うまく表現されている曲になっています。



#### ●民謡（清水 脩作曲）「そうらん節」

北海道の民謡です。漁師達がかけえを出し合ってニシンの漁をする様子を歌っています。男声合唱ならではの力強い歌声を聴くことができます。「男声四部合唱」は合唱の響きに厚みが出て勇壮な漁の様子が表現されています。

#### ●三澤 洋史作曲 各都道府県に伝わる歌や民謡を合唱にしてみました

新国立劇場が今回の演奏会のためにそれぞれの都道府県で歌われる歌やメロディーをもとにした合唱曲を作ってみました。皆さんが生活している地域でも親しまれている曲があると思います。もしかしたら聞き覚えのあるメロディーが聞こえてくるかもしれません合唱にして演奏すると普段と違った新しい発見を見つけることができると思います。

##### 世界の歌

\*日本以外の国々で歌われている歌の一部をご紹介します。日本とは違う歴史や風土、人々の習慣によって、各国ごとに特徴のある曲が生まれます。そのような国々を訪れる機会があるときは是非そこに流れる歌に耳を傾けてみてください。ここではドイツの曲を取り上げます。

#### ●ベートーヴェン作曲 「交響曲第九番」より第四楽章

ベートーヴェンはドイツで生まれた作曲家です。「運命」という五番目に作曲された交響曲は、よく知られていますがその他にも優れた作品が多く、日本では年の暮れに演奏される交響曲第九番は「歓喜のうた」と言われ、喜びをたかからかに歌いあげます。





## オペラの世界

\*オペラという言葉はイタリア語で、日本語にすると「歌劇」といいます。歌いながら芝居をしたり踊ったりもします。台詞を歌って歌いながら、お話が進んでいきます。歌や芝居、踊り、オーケストラ、舞台の大道具や装置、衣裳や、照明などいろいろなことを舞台で行います。合唱団のメンバーは農民や貴族、狩人や町の人々など様々な役を演じます。

### ●マスカニー作曲 「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り

「カヴァレリア・ルスティカーナ」というのは「田舎の武士」というような意味です。1幕の短い作品であるこのオペラは物語の後半では激しい決闘の場面がありますが、今回聞いていただくこの合唱は、作品の冒頭で教会の鐘が聞こえる中、女声合唱から始まり男声合唱が応える形になって、村の人々が春の訪れ、美しい自然をほめたたえる内容となっています。

### ●ワグナー作曲 「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱

ワグナーは神話に基づいたオペラをいくつも作曲しました。この作品では神の前で海をさまよう幽霊船の船長のオランダ人が現れます。このオペラの中では不気味な船乗りの合唱の部分なども有名ですが、この曲はその中でも一転して楽しい雰囲気を感じさせる内容で、船乗りたちの帰りを待ち焦がれる娘たちが糸を紡ぎながら歌います。くるくる糸車を回す様子を聞くことが出来ます。

### ●ウェーバー作曲 「魔弾の射手」より 狩人の合唱

魔弾というのは「魔法の弾丸」、猟銃の弾のことです。射手は撃つ人、つまり「魔弾の射手」は「魔法の弾を撃つ人」という意味です。村一番の狩人を決める射撃大会の日、狩人たちが狩の素晴らしさをたたえて勇壮に歌います。ドイツ語で歌います。

### ●ヴェルディ作曲 「椿姫」より 乾杯の歌

「椿姫」は19世紀半ばのバリの社交界を舞台としたオペラです。この曲では、パーティーで、みんなでグラスをかかげ、楽しい夜を過ごしましょう、と歌います。また、この曲には二人のソリストも登場します。女性にはヴィオレッタ、男性はアルフレード。アルフレードは、ずっとあこがれていたヴィオレッタと話すことが出来た喜びを歌い、ヴィオレッタは純粋なアルフレードの気持ちに心が騒ぎます。イタリア語で歌います。

## ■学校との合同演奏

### 学校校歌、学校希望曲など

皆さんが学校で歌っている曲を私たち新国立劇場合唱団と歌いましょう。わからないことは近くに新国立劇場合唱団の合唱メンバーに歌い方を教えてもらってください。

ワークショップでお話したことを覚えていますか？ 肩に力が入らないようにしていい姿勢で立ってください。そしてたくさん息を吸うときにも力が入りすぎないように注意してください。遠くにいる人に向かって頭の後ろから投げするような気持ちで声を出しましょう。

校歌を歌う場合は、歌詞の内容を今一度思い出してみてください。そして自分の教室、友達や先生などを思いながら歌うことがあっていいと思います。

合唱は、一人ではなく大人数で歌う共同作業です。一人で何かすることより、より多くのことを表現する音が出来ます。一人でやることより工夫が必要になりますが、歌う人がひとりでも増えるとその分だけ、楽しいことを分け合うことが出来ます。

いい顔をするのを忘れないでくださいね。

## 新国立劇場合唱団

New National Theatre Chorus

新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始した。メンバーは100名を超え、新国立劇場が上演する多彩なオペラ公演により年々レパートリーを増やしている。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、公演ごとに共演する出演者、指揮者、演出家・スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ている。2007年より、新国立劇場で上演される通常の50回以上のシーズン公演の出演に加え、劇場外からの出演依頼の声に応じて外部公演への出演を開始。コンサートではNHK交響楽団をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢などの国内主要オーケストラと共演。海外のオーケストラとはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、マリンスキー歌劇場管弦楽団、トリノ王立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演を果たした。また東京文化会館、東京オペラシティ、東京芸術劇場、横浜みなとみらいといった国内のホールからの出演依頼、毎年1月3日の「NHKニューイヤーオペラコンサート」の出演、文化庁委託事業「文化芸術による子供の育成事業」での学校巡回公演など、幅広く活動の場を広げている。

指揮：富平恭平（9月11日～21日、11月20日～30日）

ピアノ：水野彰子（9月11日～21日）、平塚洋子（11月20日～30日）

実施日程	実施校名	地元主催者
2018年9月11日（火）	宇佐市立四日市南小学校	大分県教育委員会、宇佐市教育委員会
2018年9月12日（水）	延岡市立熊野江小学校、延岡市立浦城小学校 延岡市立南浦中学校	宮崎県教育委員会
2018年9月13日（木）	延岡市立伊形小学校	宮崎県教育委員会
2018年9月14日（金）	日向市立細島小学校、日向市立日知屋小学校	宮崎県教育委員会
2018年9月18日（火）	都城市立夏尾小学校	宮崎県教育委員会
2018年9月19日（水）	いちき串木野市市来小学校	鹿児島県、いちき串木野市教育委員会
2018年9月20日（木）	鹿児島市立広木小学校	鹿児島県、鹿児島市
2018年9月21日（金）	南さつま市立加世田中学校	鹿児島県、南さつま市教育委員会
2018年11月20日（火）	日南市立細田小学校、日南市立大窪小学校	宮崎県教育委員会
2018年11月21日（水）	鹿屋市立田崎小学校	鹿児島県、鹿屋市教育委員会
2018年11月22日（木）	鹿児島市立向陽小学校	鹿児島県、鹿児島市
2018年11月27日（火）	宮古島市立平良第一小学校	沖縄県、沖縄県教育委員会
2018年11月29日（木）	西之表市立国上小学校	鹿児島県、西之表市教育委員会
2018年11月30日（金）	南種子町立中平小学校	鹿児島県

### 知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

## 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, <u>オーケストラ</u> 等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん かながわふいはーもにーかんげんがくだん		
制作団体名	公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 上野 孝		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町 2-13 みなとみらい線「日本大通駅」下車 徒歩約5分		
電話番号	045-226-5045	FAX番号	045-663-9338
ふりがな	かながわふいはーもにーかんげんがくだん		
公演団体名	神奈川フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 上野 孝		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町 2-13 みなとみらい線「日本大通駅」下車 徒歩約5分		
制作団体 設立年月	1970年 3月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長/上野孝、副理事長/上野健彦 他理事12名、評議員13名、幹事2名、 顧問/黒岩祐治ほか4名	常任指揮者：川瀬賢太郎、副指揮者：阿部未来 楽団員78名、事務局員22、構成員合計140名 ■加入条件等：規約に定める	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	澤木泰成、林大介、 梅咲安紗子
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	金井義則

制作団体沿革	1970年(S.45年)3月 発足、78年に財団法人として認定を受ける 2014年(H26年)4月 常任指揮者に川瀬賢太郎が就任、同月に公益財団法人に移行する		
学校等における公演実績	2017年度 神奈川県内・東京都・近隣県にて 45公演を実施(うち3公演は小編成) 2018年度 神奈川県内・東京都・近隣県にて 44公演を予定		
特別支援学校における公演実績	2017年度 神奈川県内・東京都・近隣県にて 16公演を実施(小編成) 2018年度 神奈川県内・東京都・近隣県にて 15公演を予定(小編成)		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
		閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 神奈川フィルハーモニー管弦楽団】

対 象	小学生( 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ) ・ 中 学 生		
企画名	私たちの「ゆめコンサート」～神奈川フィルと共演しよう！～		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>1. ビゼー作曲：歌劇「カルメン」より前奏曲 〈 3〉</p> <p>2. ビゼー作曲：「アルルの女」第2組曲から“ファランドール” 〈 3〉</p> <p>3. <u>オーケストラの楽器の紹介</u>（1種類ごと） 〈20〉</p> <p>4. <u>一緒に演奏しよう！</u>（共演）</p> <p>①L. モーツァルト作曲：<u>おもちゃの交響曲</u>から第2楽章 [小学校低学年] 〈 2〉</p> <p>② A) エルガー作曲：行進曲“<u>威風堂々</u>”第一番 [小学校高学年] 〈 7〉</p> <p>B) ケテルビー作曲：<u>ペルシャの市場にて</u> [小学校高学年] 〈 6〉</p> <p>※ A) またはB) のどちらかを選択</p> <p>③ロジャース作曲：<u>サウンド・オブ・ミュージック</u> [中学校吹奏楽] 〈10〉</p> <p>5. 児童生徒作詞作曲：<u>私たちだけの合唱曲</u> [全校共通] 〈 5〉</p> <p>6. A) ヴェルディ作曲：<u>オペラ「アイダ」</u>より“<u>凱旋行進曲</u>” 〈 7〉</p> <p>B) シベリウス作曲：<u>交響詩「フィンランディア」</u> 〈 8〉</p> <p>※ A) またはB) のどちらかを選択</p> <p>7. (アンコール) <u>校歌</u> (オーケストラによる特別編曲の演奏と斉唱) 〈 3〉 公演時間 (70分)</p>		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>1. <u>歌劇「カルメン」より前奏曲</u> ビゼーが作曲したオペラを代表する前奏曲の1つです。誰もが耳にした事のある名曲をオープニングに演奏し、子ども達の興味をステージへ引きつけます。</p> <p>2. 「<u>ファランドール</u>」 フランス南部のプロヴァンス地方で踊られる舞曲の代表作品です。軽快な太鼓のリズムにより、オーケストラの魅力をもっと実感させてくれる一曲です。</p> <p>3. 「<u>楽器の紹介</u>」 オーケストラで使用される全ての楽器を個別に、実演しながら紹介します。</p> <p>4. 「<u>一緒に演奏しよう</u>」 児童生徒との共演を目的とした、楽器を使用した合同演奏です。</p> <p>①小学校低学年向け <u>「おもちゃの交響曲」</u> (学校で普段使用している楽器、カスタネット、ピアノ、その他楽器になり得るものは全て可能) で共演いたします。</p> <p>②小学校高学年向け A) <u>行進曲「威風堂々」第一番</u>とB) 「<u>ペルシャの市場にて</u>」を用意 (リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器) で共演。A) またはB) のどちらかを選択して頂きます。</p> <p>③中学校向け 中学校の吹奏楽部とオーケストラの合同演奏です。ミュージカルの代表作品(神奈川フィル・オリジナル編曲)「<u>サウンド・オブ・ミュージック</u>」を用意しました。</p> <p>5. 「<u>私たちだけの合唱曲</u>」 本公演の一番のクライマックスとなるこの曲は、児童生徒が主役です。事前に募集した作詞・作曲をプロの作曲家がオーケストラ伴奏つきの合唱曲に編曲し、世界に一つしかない自分たちだけのオリジナル作品としてオーケストラとの共演を体験していただきます。</p> <p>6. A) 「<u>オペラ「アイダ」</u>より“<u>凱旋行進曲</u>” イタリアの作曲家／ヴェルディが書き残した、歌劇「アイダ」の劇中で演奏される人気の高い作品の一つです。</p> <p>B) 「<u>フィンランディア</u>」 シベリウスが作曲した作品の中で最も有名な作品です。AまたはBのどちらかを選択していただきます。</p> <p>7. (アンコール) <u>校歌</u> (特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱)</p>		

<p>演目選択理由</p>	<p>演目の選択意図は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「<u>興味を持たせる</u>」、2. 「<u>飽きさせない</u>」、3. 「<u>楽器の理解</u>」、4. 「<u>参加しやすさ</u>」「<u>思いやりを養う</u>」、5. 「<u>創作の喜びを感じる</u>」、6. 「<u>身近に感じる</u>」、7. 「<u>学校の特色を生かす</u>」、をテーマに様々な手法を織り交ぜ企画し選曲しております。</li> <li>1. 「<u>歌劇『カルメン』より前奏曲</u>」誰もが知っているクラシックの名曲作品を最初取り上げることで、子どもたちに<u>興味</u>を持たせます。</li> <li>2. 「<u>ファランドール</u>」 軽快なリズムの曲を取り上げることで、子供たちの音楽への<u>期待感</u>を盛り上げます。</li> <li>3. 「<u>楽器のお話</u>」 オーケストラで使われる楽器を<u>一種類</u>ずつ紹介させていただきます。様々な楽器紹介を試したものの、現場の先生方の希望が多かったのは個別に楽器を紹介する方法でした。 子ども達を飽きさせない工夫をたくさん盛り込んでおります。</li> <li>4. ①「<u>おもちゃの交響曲</u>」 小学校低学年の子どもたちが<u>気軽に参加（共演）</u>できるように選曲いたしました。交互に演奏しながら一つの楽曲を演奏しますので、相手を大切にすることを養います。 ②A) イギリス市民に愛され世界中でも親しまれる「<u>威風堂々</u>」（リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器で共演）を題材にオーケストラと一緒に演奏することで、相手を大切にすることや、協調性を養います。 B) 「<u>ペルシャの市場にて</u>」（リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器）で共演（一緒の行動）することで、相手に寄り添う心や、協調性を養います。 ③「<u>サウンド・オブ・ミュージック</u>」 同上の理由です。</li> <li>5. 「<u>私たちだけの合唱曲</u>」 児童・生徒が自分たちで作詞作曲をして合唱曲を作り上げる事で、創造する楽しさや、直観力、コミュニケーション能力、感受性を養います。<u>この企画の一番の見せ場</u>です。</li> <li>6. A) 「<u>アイダより“凱行進曲”</u>」 サッカーの応援歌や日常生活等で、誰もが聞いたことがあるこの作品を取り上げることで、クラシックをより身近な文化と感じて頂くために取り上げました。 B) 「<u>フィンランディア</u>」 地方の過疎化が進み文化・医療・福祉等、都市部と比較してどうしても格差が出てしまう中、シベリウスが祖国フィンランド大切に思い作曲したように、子ども達に地元を大切にすることを大切にしたいという願いを込め、この作品を取り上げました。</li> <li>7. 「<u>校歌</u>」（特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱） 子ども達全員が知っている校歌を取り上げることで、児童生徒、先生方、保護者等、世代を超えて地元を大切に（仲間）意識を強く抱いていただきたい。 ※これから子どもたちに待ち受ける人生の様々な試練は、今回の様々な経験が必ず心の支えとなり、乗り越えられると信じています。 (プログラムには掲載しません)</li> </ol>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>参加形態は、大きく分けて<u>器楽・合唱</u>の2つの方法でオーケストラと共演します。</p> <p><u>器楽</u>（4曲目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「L. モーツァルト作曲 おもちゃの交響曲から第2楽章」（<u>小学校低学年</u>） 打楽器と音程の有る楽器を中心にオーケストラの演奏に加わる形態（器楽） ・打楽器は、普段学校や地域の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。（和太鼓、小太鼓、カスタネット、タンブリン、空き缶等でも可能） ・音程の有る楽器は、普段学校や地域の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。（リコーダー、ピアノ、和楽器等でも可能）</li> <li>●A) 「エルガー作曲 行進曲“威風堂々” 第一番」（<u>小学校高学年</u>）または B) 「ケテルビー作曲 ペルシャの市場にて」（<u>小学校高学年</u>） ・メロディラインを演奏可能な楽器で、オーケストラと合同演奏（普段学校や地域の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使用）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ロジャース作曲 サウンド・オブ・ミュージック」(中学校のみ)</li> <li>・吹奏楽の生徒との合同演奏。オーケストラと合同演奏できる譜面を用意しましたので、事前にパート譜を送付しますので練習して頂き、本番時に共演します。</li> </ul> <p>合唱 (5曲目、7曲目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「私たちだけの合唱曲」(全学校共通)</li> <li>事前に児童・生徒からオリジナルの歌詞・簡易なメロディを募集し、それを管弦楽伴奏の合唱曲に編曲し歌います。本番は、全校合唱とオーケストラと共演します。</li> <li>●「校歌」(アンコール) 各学校の校歌もオーケストラ版に編曲し、アンコールとして参加者全員で斉唱 いたします。(プログラムには掲載しません)</li> </ul>		
出 演 者	指揮・進行：堀俊輔、和田一樹、宮松重紀 (予定) 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者： 64名 ス タ ッ フ： 7名 合 計： 71名	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 4 t または 2 t を 2 台 車 長 約 9 m または 5 m 台 数 1 台 または 2 台

## 【公演団体名 神奈川フィルハーモニー管弦楽団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 2 時間程度 )					
	到着 時	仕込み 9時～ 13時	本公演 14時～ 15時15分	内休憩 なし	撤去 15時15分～ 16時30分	退出 16時 30分
	本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	児童全員 1～500名程度				
	本公演	自動全員 1～500名程度				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●レオポルド・モーツァルト／おもちゃの交響曲から第2楽章（小学校低学年） 「打楽器パート」と「かっこうパート」の2グループに分かれる。 ・「打楽器パート」は曲に合わせてリズムを叩いたり、指揮者のテンポに合わせて演奏する練習をする。講師からは楽器の扱い方、より良い音の出し方、リズムに言葉を当てはめて練習するなどの指導を受ける。</li> <li>・「かっこうパート」は鍵盤ハーモニカやリコーダーなどを使って、かっこうの鳴き声を表す演奏をする。演奏箇所は少ないので指揮者の合図を見る練習をする。（テンポを速めたり、遅くしたり指揮者に合わせるゲームをする）。講師からはかっこうの鳴き声に近づけるための演奏方法（音は短めになど）の指導を受ける。</li> <li>●A) エルガー／行進曲“威風堂々”第一番（小学校高学年）または B) ケテルビー／ペルシャの市場にて（小学校高学年） 4～6年全員がリコーダーで演奏する。音楽が表わす情景のイメージを皆で共有しながら、全員が1つになれるように練習する。 高音域の演奏方法の指導を受ける（指使い、息の使い方、タンギングなど） 楽器の扱い方（演奏しないときの待ち方、楽器を大切に扱うなど）の指導を受ける。</li> <li>●ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック・メドレー（中学校吹奏楽部） 中学校の吹奏楽部と共演する。 木管、金管、打楽器の3のパートに分かれ講師の指導による分奏、その後集合し指揮者の指導で合奏する。各分奏では奏法のほか合奏する時の注意点、オーケストラと共演する時の注意点を指導する。 *吹奏楽部のない中学校は、A) 「行進曲“威風堂々”第一番」またはB) ケテルビー／ペルシャの市場にて をアルトリコーダーで演奏する。</li> <li>●私たちだけの合唱曲（全学校共通） ワークショップ前に開催校によって作詞作曲されたオリジナル合唱曲の指導を受ける。 歌い方（歌詞をはっきり歌う、声の出し方など）、オーケストラと共演する時の注意点なども指導を受ける。</li> </ul>					

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>子ども達が集中力を維持でき、かつ興味を持って参加して頂けるように、小学校の低学年向けには簡単なメロディ楽器とリズム楽器で参加して頂きます。高学年では学校で習っているリコーダー等を使用することで取り組み易くします。</p> <p>中学校では吹奏楽部とオーケストラとコラボレーションできる場面を設定しました。合唱曲では、誰もが持っている声という楽器を使用します。自分達が事前に作詞・作曲した世界に一つしかない曲を、ワークショップでは講師の指導により更にブラッシュアップし、クラス学年に関係なく全員で作り込む喜びを感じて頂きます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>事前に学校側の担当者と事前打ち合わせをさせて頂く事で、ワークショップに参加する上での留意事項や心配事を取り除かせて頂きます。上達することだけがワークショップではありません。子どもたちが、いかに楽しくワークショップに参加できる様、子どもたちのご事情に合わせて柔軟に対応させて頂きます。</p>
<p>実施可能時期はB区分申請団体のみ</p>	<p><u>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</u></p>



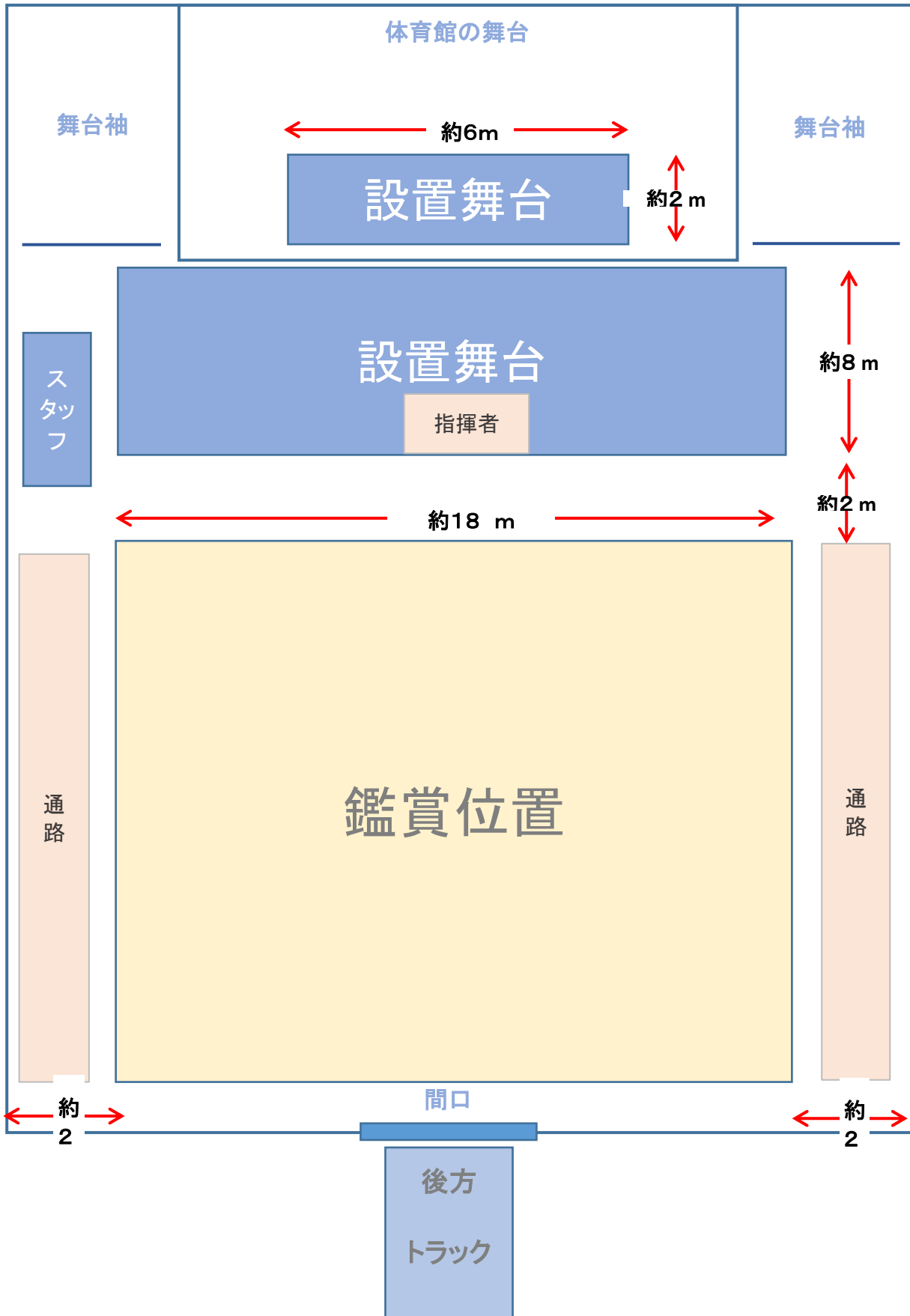
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F65	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	F	区分	B区分継続
公演団体名	神奈川県フィルハーモニー管弦楽団			制作団体名	公益財団法人 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件	着替えをしますので、カーテンや目隠しをお願いします。部屋数をご相談					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 1台 or		2トラック 2台			
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック1台または2トラック2台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能な範囲で近い場所での作業を希望					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			特に制限はありません					
	可	搬入経路の最低条件			できるだけ舞台に近い場所からの搬入を希望					
	—	理由			重量のある楽器を手作業で搬出入するため					
	—	設置階の制限 *			特に制限はありません					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	約2m	高さ	約2m				
WSIについて	可	参加可能人数			1～500名程度(基本全員)					
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	低学年、高学年、全員と分けて行います。			
	可	所要時間の目安 単位:分			トイレ休憩を含む90分程度					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			ステージとフロアを使用します。両サイドが通路として通ることができれば、制限はありません。					
	可	舞台設置場所 *			体育館の舞台およびフロアの一部を利用					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル(フロア)		幅	18m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル(ステー)		幅	6m	奥行	2m	高さ	指定なし	
	可	舞台袖スペースの確保 *			要					
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *			特になし		
	—	緞帳 *			不要		バトン *		不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	ある方が見やすいです			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※WS時のみ使用、既存場所でOK			
	可	ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていた方が見やすいです					
	—	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項										
可	開催校の場所により、大型バス2台で伺う可能性があります。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	約2m	高さ	約2m
搬入車両の横づけの可否		可能な範囲で近い場所での作業を希望		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に制限はありません		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, <input checked="" type="checkbox"/> 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・ A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	えぬびーおーほうじんみらまーれ・オペラ		
制作団体名	NPO 法人ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	代表理事・松山郁雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島式番館 503 (東急東横線綱島駅)		
電話番号	045-530-8350	F A X 番号	045-530-8351
ふりがな	みらまーれ・オペラ		
公演団体名	ミラマーレ・オペラ		
代表者職・氏名	松山郁雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒223-0053 神奈川県横浜市港北区綱島西 2-2-12 プリオール綱島式番館 503		
制作団体 設立年月	2008年10月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 松山郁雄 理事 樋本英一 理事 馬場紀雄 監事 米村桐子	オペラやコンサートの開催時に将来性のある若手～中堅オペラ歌手に対して毎回キャスティング・オーディションにより採用。国内トップクラスの歌手に対しては直接出演依頼を行っている。	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	松山郁雄

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	米村桐子
-------------------	-------	--------	------

制作団体沿革	<p>平成 18 年 1 月 19 日 有限会社ミラマーレ・ムジカを設立。</p> <p>平成 20 年 10 月 15 日 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラに組織変更。現在に至る。</p> <p>平成 24 年度より、京都芸術劇場春秋座においてオペラ制作業務を受託し現在に至る。これまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「セヴィリアの理髪師」「椿姫」「カルメン」「魔笛」を制作上演。今年度は「蝶々夫人」上演予定(11 月 3、4 日)。</p> <p>平成 28 年度より本事業の採択を頂き現在に至る。</p>
--------	--

学校等における 公演実績	<p>平成 17 年 東京都江東区立東陽小学校でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。</p> <p>平成 22 年 長野県北信地区高校音楽鑑賞会でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演</p> <p>平成 27 年度本事業に初採択。F ブロックで 8 校の中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 28 年度本事業に採択。H ブロック 10 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 28 年 11 月 28 日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」の悲喜劇の 2 作品のハイライトを上演。</p> <p>平成 29 年 8 月 24 日 北海道幌泉群えりも町立えりも中学校において芸術鑑賞会を開催。「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライトと名曲コンサートを上演。</p> <p>平成 29 年度本事業に採択。A ブロック 12 校の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。</p> <p>平成 30 年 2 月 15 日 春日部市民文化会館において春日部共栄中学高等学校の音楽鑑賞会として G・ビゼー作曲のオペラ「カルメン」を上演。</p>
-----------------	--


特別支援学校に おける公演実績	<p>特別支援学校単独での実績はありませんが、昨年度までの公演においては特別支援の児童生徒さんが登場できる場面を数シーン用意し、実際に積極的な参加をして頂いて大きな成果を上げています。体育館ステージ前に設置する舞台(約 90 センチ高)両サイドの平土間部分にもアクティング・エリアが用意されますので、車椅子の生徒さんの参加も全く問題はございません。</p>
--------------------	--

参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=64vdFtH9oCI&amp;t=327s">https://www.youtube.com/watch?v=64vdFtH9oCI&amp;t=327s</a>

		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID:ナシ PW:ナシ
A の 提出が 困難な 場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ミラマーレ・オペラ】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生				
企画名	オペラ「てかがみ」				
本公演演目	オペラ「てかがみ」				
原作/作曲	原作:公募3作品(大海の彼方に、心温まる結婚式、松山鏡)を参考に、劇作家平石耕一が創作したオリジナル作品				
脚 本	作曲:池辺晋一郎				
演出/振付	演出:三浦安浩				
	振付:三浦奈綾				
	構成:松山郁雄				
	公演時間(凡そ80分)				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>オペラ「てかがみ」は21世紀の幕開けを祝し、若者たちに未来へのメッセージを込めて2001年に制作・初演されました。初演では第一回佐川吉男音楽奨励賞を受賞しています。また平成25年、横浜みなとみらいホールの公演では公益財団法人五島記念文化財団の助成金も授与されています。</p> <p>この作品は昭和20年(終戦の年)と55年後、21世紀を迎えようとする平成12年(西暦2000年)の二つの時代の日本を舞台に「時代と国を超越した人間愛」をテーマに描いた感動のオペラ作品です。</p> <p>物語はフィクションですが、戦争当時の捕虜の過酷な処遇や学童疎開の様子などが巧みに表現されています。また広島と長崎への原爆投下や日本の多くの主要都市に甚大な被害をもたらした本土空襲の事実も重要なエピソードとして劇中で取り上げており、平和教育についてもオペラを鑑賞しながら学んで頂けます。</p> <p>&lt;あらすじ&gt;</p> <p>○平成12年 結婚式場 新潟県長岡市の中学校教師である亮子とアメリカ人英語教師のジョンの結婚式が行われています。披露宴も佳境に入った頃、突然火災が起こり非常ベルがけたたましく鳴ります。炎を見た亮子の父の勇一は、これまで心の中に閉じ込めてきた55年前の空襲での辛い記憶を突然思い出します。</p> <p>○昭和20年の新潟港 五歳の勇一と母カヨは港に父の働く姿を見に来ましたが、母子の目の前で父親の乗る掃海船が触雷し沈没してしまいます。ショックを受けて気絶した母カヨを、捕虜の軍医リチャードが介抱します。夫を失ったカヨは五歳の勇一と共に長岡の実家に疎開します。カヨは夫の親友である杉本監督に自分を介抱してくれた軍医リチャードに手渡して欲しいと小さな手鏡を託します。</p>				
					



○長岡市空襲跡

8月1日、長岡の大空襲から、逃げ延びた五歳の勇一は、杉本監督と再会し、炎の中に母親を見殺しにしてしまった事を泣きながら告白します。杉本は「忘れてしまえ！心の底に沈めて誰にも言うな…」と抱きしめた勇一を自分の子どもとして育てる決意をします。

終戦を迎え帰国するリチャードは、

勇一と杉本に「時は流れ、必ず、この子たちがこの国を担う！この時代にあった事を忘れないなら…」と言い残してアメリカに帰国します。

○平成12年 結婚式場

亮子は、式場の火事がきっかけで思い出された父の辛く悲しい記憶を初めて耳にします。そして今までそれに気づかずに過ごしてきた自分は、みんなから祝ってもらう資格などない！と披露宴の中止を申し出ますがその時、父親が突然にリチャードの「この子たちがこの国を担う。この時代にあった事を忘れないなら…」という言葉を思い出したことから、リチャードがジョンの祖父であることが解ります。ジョンの母レイチェル(即ちリチャードの娘)は自分の母から渡された手鏡を亮子に渡すのですが、実はこの手鏡こそ、55年前に亮子の祖母カヨがリチャードに贈ったもの「てかがみ」だったのです。亮子の祖母の手からアメリカに渡った手鏡が多くの人達の愛の力で再び日本に戻ってきた瞬間でした。披露宴は再開され、二人の希望に満ちた明日を全員で祝福して幕となります。

●児童生徒の共演参加のシーン

- a. クラス担任の亮子先生の結婚式でお祝いの歌を歌う、教え子達として結婚式でお祝いの歌を披露します。
- b. 戦時下の日本人の心情を表現した疎開のシーンに助演として登場します。
- c. 平和と人間愛の大切さを歌うフィナーレの合唱に参加します。



演目選択理由

オペラと言えば「椿姫」や「カルメン」などヨーロッパで生まれた代表的な作品を思い浮かべるのが通例ですが、邦人作品にも「てかがみ」(池辺晋一郎作曲)のように優れた内容のオペラが数多くあることを多くの児童生徒や保護者の皆様に知って頂きたいと考えました。また、我々が暮らしている日本が作品の舞台である事にも大きな説得力があると考えています。

オペラ歌手の生で聴く歌声や、迫力ある演技と参加型のプログラムによって十分に成果を上げる事が可能であると確信したからです。

73年前の戦争の辛さや厳しさを伝えながらも、人間愛の尊さ、日本人の素晴らしい気質が織り込まれた作品である事。広島長崎の原爆や、その他の主要都市の多くが経験している空襲のエピソードなども正確な参考文献に基づいた内容で語られています。戦後73年を経とうとしている現在、戦争被害の事実が風化してしまわないためにも、数多くの児童生徒の皆様に平和教育の一環として是非観て頂きたい作品であると確信しているからです。



<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>1. 担任である亮子先生の教え子達として披露宴会場に駆けつけ、お祝いの歌を披露するシーン(1幕と2幕にあります)。簡単な演技と歌に合わせたダンス、先生を心配して気遣う短いセリフなどがあります。</p> <p>2. 空襲の様子と戦時下の学童疎開のシーンに登場してもらいます。防空頭巾や肩掛け布カバン、日の丸の小旗などを身につけて戦時中の子供になって頂きます。</p> <p>3. 平和と人間愛の大切さを歌う終幕の大合唱に参加して頂きますが、大合唱は客席から歌声のみでの参加も可能です。</p> <p>* 登場退場のタイミング等は共演するキャストがきめ細かく生徒さんをリードしますので難しくはありません。</p> <p>* 練習の時に役立てる、歌や振り付け、ピアノ伴奏付きのパート練習等を収録した練習のためのDVDとWebにアップデートした映像をご用意しています。</p> <p>* 参加人数は各シーン10～20名程度を想定していますが、フレキシブルな設定が可能ですので、学校毎のご要望にお応えすることができます。</p> <p>* 小学校低学年児童の鑑賞と参加につきましては、合唱と簡単なダンスの振付にも充分に対応が可能です、昨年度までの事例を鑑みても全く問題がないと思われまます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮: 樋本英一/杉原直基  演奏: ユニバーサル・フィルハーモニー室内合奏団(コンサート・ミストレス: 田澤明子)  全キャスト・コーラス、その他のオーケストラメンバーにつきましては No.2 別紙メンバー表をご参照下さい。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 27名  <u>スタッフ: 16名</u>  合計: 43名</p>	<p>機材等  運搬方法</p>	<p>積載量 4t  車長 8m  台数 1台  他、楽器車(ハイエース)1台</p>

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p>前日仕込み(有・<b>無</b>) 会場設営の所要時間(2時間程度)</p> <p>★各クール初日の学校で、リハーサルのために前日仕込みをお願いする場合があります</p> <table border="1" data-bbox="416 611 1445 768"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時</td> <td>8時～10時</td> <td>13時30分～ 15時30分</td> <td>10分</td> <td>15時30分～ 17時</td> <td>17時30分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	時	8時～10時	13時30分～ 15時30分	10分	15時30分～ 17時	17時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	8時～10時	13時30分～ 15時30分	10分	15時30分～ 17時	17時30分													
x児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	10人～80人(本公演に参加しない生徒さんの見学も可能)																
	本公演	同上(合唱のみ参加形態であれば全校生徒全員の参加も可能)																
ワークショップ実施形態及び内容	<p>演出家、歌手2名、ピアニスト、役者、制作の6名で訪問し、実際に舞台を設営する体育館のステージ前のフロアを使用し、凡そ2時間で「てかがみ」の概要説明と体験実習をします。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>あいさつ、指導者紹介の後、生の歌声やピアノの演奏でミニ・コンサートを披露。オペラ歌手が児童生徒の間近で有名なオペラ・アリアなどを歌います。その後、発声と表現法のワンポイント・レッスン、「てかがみ」合唱部分の歌唱指導と続きます。</li> <li>練習した合唱部分を基に振付の練習を行います。</li> <li>演出家がオペラ「てかがみ」の概要説明と参加する児童生徒の役どころや登場するシーンの説明をします。</li> <li>シーン毎に歌う位置を決め、出入りの導線確認、と演技やセリフの練習をします。</li> <li>最後に登場から退場までを一連の流れで練習し、本番当日の午前中にキャストと一緒に最終リハーサルに結びつくように締めくくります。</li> </ol> <p>＊楽譜とDVD(簡単な解説、模範歌唱、振り付け、ピアノ伴奏のみのカラオケなどの映像資料)を事前にご用意いたしますので、有効に活用して頂き、練習の成果も録画等でフィードバックして頂ければ、効果的なアドバイスをお返す事も可能です。</p>																	
ワークショップ実施形態の意図	<ol style="list-style-type: none"> <li>実際に生の歌声や演奏を聴く事で訓練の積み重ねたオペラ歌手を身近に感じてもらいます。(ミニ・コンサート)</li> <li>合唱や振付の練習を通して表現する事の楽しさを体験してもらいます。(実技指導)</li> <li>参加する生徒さんがどのような役でどんなシーンに登場するかを理解し、登場人物になり切る事の楽しさ、難しさを「オペラ」という演劇形態の中で感じ取ってもらいます。(模擬リハーサル)</li> </ol>																	



<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>基本的には全てのシーンに参加して頂く事が可能ですが、その他にも下記のような準備がございます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短く簡単なセリフを言ってもらいます。(タイミングはキャストが指示します)</li> <li>2. 客席から歌やセリフで呼びかけます。(タイミングはキャストが指示します)</li> <li>3. 歌は歌わずに疎開する子供達の役として登場して頂きます。(母親や姉妹の役で合唱団メンバーが登退場や立ち位置を完全にサポートします。平土間の演技スペースもありますので車椅子での参加も問題はありません)</li> </ol>
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

2018/8/7

	役名/役職	氏名	所属
No.01	指揮者	樋本英一	フリー
No.02		杉原直基	フリー
No.03	武田勇一	鶴川勝也	藤原歌劇団
No.04		町 英和	東京二期会
No.05	武田亮子	藤井 冴	フリー
No.06		神田さやか	藤原歌劇団
No.07	レイチェル	田辺いづみ	東京二期会
No.08		杉友恵子	東京二期会
No.09	ジョン	高井真一	フリー
No.10		高島伸吾	東京二期会
No.11	武田カヨ	江口二美	アチーブメントプロデューサー
No.12		川越塔子	藤原歌劇団
No.13	リチャード	上本訓久	藤原歌劇団
No.14		澤崎一了	藤原歌劇団
No.15	杉本監督	松山いくお	NPO法人ミラマーレ・オペラ
No.16		村松恒矢	フリー
No.17	会場係	大野浩司	フリー
No.18		塙 翔平	フリー
No.19	高校の校長	片岡美里	アチーブメントプロデューサー
No.20		植松美帆	藤原歌劇団
No.21	5歳の勇一	立直花子	Pカンパニー
No.22		細川美央	Pカンパニー
No.23	合唱1	浅川莊子S1	藤原歌劇団
No.24	合唱2	生駒侑子S2	藤原歌劇団
No.25	合唱3	山口ななMS1	フリー
No.26	合唱4	片岡美里MS2a	藤原歌劇団
No.27		植松美帆MS2b	藤原歌劇団
No.28	合唱5	笹岡慎一郎T1	藤原歌劇団
No.29	合唱6	竹内篤志T2	フリー
No.30	合唱7	高井真一T3a	フリー
No.31		望月光貴T3b	藤原歌劇団
No.32	合唱8	藤本 慶B1	フリー
No.33	合唱9	内田雅人B2	フリー
No.34	合唱10	大野浩司B3a	フリー
No.35		塙 翔平	フリー
No.36	ピアニスト1	巨瀬励起	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.37	ピアニスト2	中村文香	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.38	ピアニスト3	経種美和子	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.39	ヴァイオリン	田澤明子	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.40	チェロ	横山二葉	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.41	フルート	浅田結希	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.42	クラリネット	平井哲夫	一社)東京ユニバーサル・フィル
No.43	打楽器	竹内美乃莉	一社)東京ユニバーサル・フィル

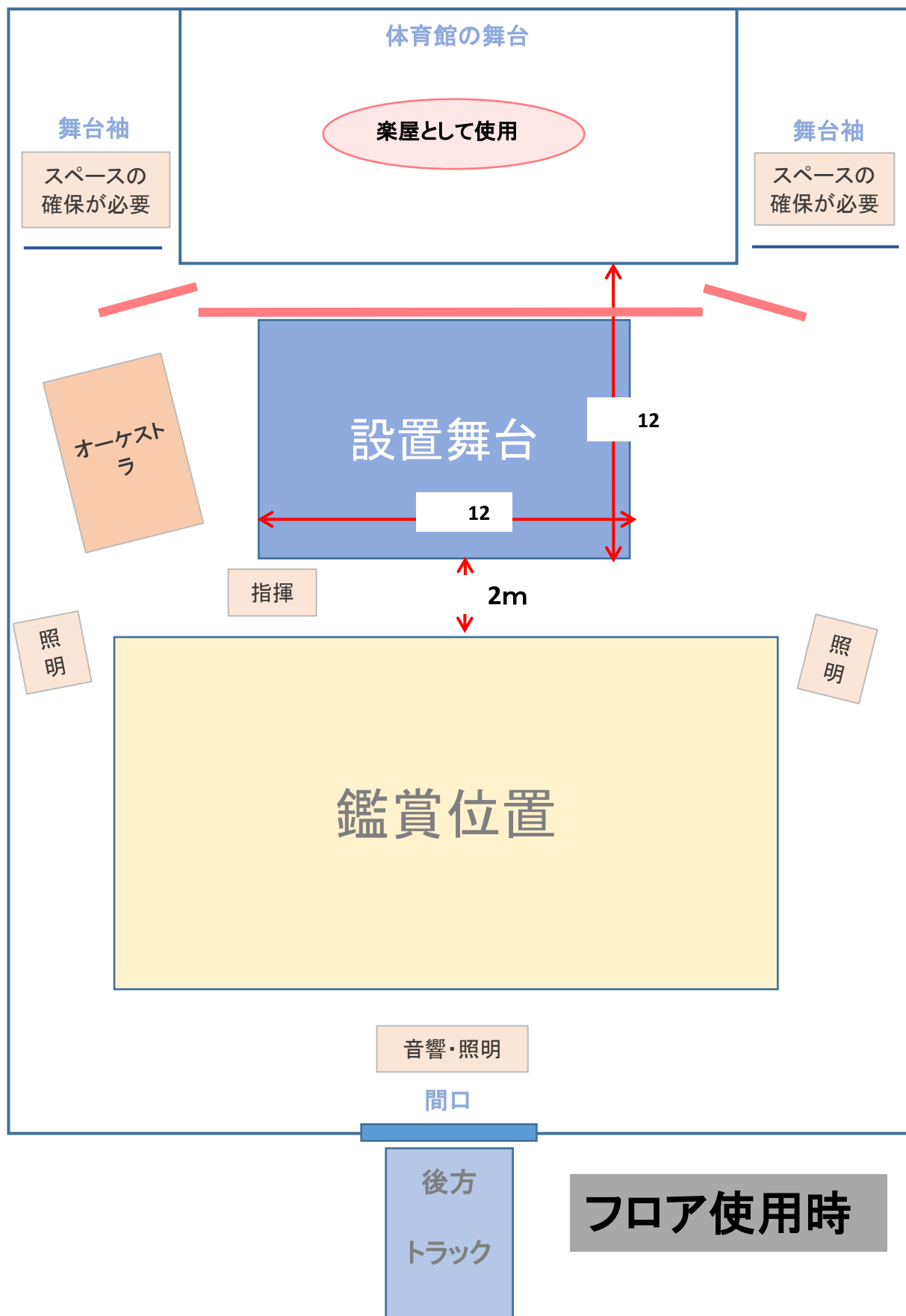
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F66	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	ミラマレ・オペラ			制作団体名	NPO法人ミラマレ・オペラ				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	不可	必要数 *	1室	条件	体育館が近く、可能なら1階を希望。カーテンが締め、飲食が可能な部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *		4tトラック ハイエース 各1台		大型バス 2台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		4tトラック(ワイドロング車)とハイエース各1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *		要(トラック導線の道幅は3.5m以上あることを希望)					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *		10m以内					
	可	搬入経路の最低条件		①できれば体育館が2階でない事が希望です。 ②1階の体育館であっても搬入経路にあまり多い段数の階段がないことを希望します。					
		理由		スチール製のデッキ(1枚約80kg)12枚を含めて4トン車満載の機材と打楽器等の搬入があるため。					
	可	設置階の制限 *		できうる限り1階を希望。					
不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数		出演対象としては60名程度が理想人数					
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		正味120分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		体育館の大きさにもよるが体育館半分の面積を目安として600名程度まで					
	可	舞台設置場所 *		フロア(ステージ上は楽屋として使用)					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	10m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		要			
	可			舞台袖スペースの条件 *		可能な限り荷物が無い状態にして欲しい			
	可			緞帳 *	要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明と投影する映像効果を上げるため			
		ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		100A		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項									
可	公演時にピアノは使用しませんが、フロアに常設の場合は公演時の保管位置を相談させて下さい。								
可	折り畳み椅子、長テーブルなどの備品をお借りしたいです。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

平成30年度  
文化芸術による子供の育成事業  
一巡回公演事業

開催日	開催校	地元主催者
9月18日(火)	小値賀町立小値賀中学校(長崎県)	長崎県教育委員会
9月20日(木)	西海市立ときわ台小学校(長崎県)	長崎県教育委員会
9月21日(金)	佐世保市立江迎中学校(長崎県)	長崎県教育委員会
10月9日(火)	小竹町立小竹北小学校(福岡県)	福岡県教育委員会/小竹町教育委員会
10月10日(水)	北九州市立泉台小学校(福岡県)	北九州市教育委員会
10月11日(木)	小郡市立御原小学校(福岡県)	福岡県教育委員会/小郡市教育委員会
10月12日(金)	朝倉市立馬田小学校(福岡県)	福岡県教育委員会/朝倉市教育委員会
10月15日(月)	糟野市立塩田中学校(佐賀県)	佐賀県教育委員会/糟野市教育委員会
10月16日(火)	白石町立福富中学校(佐賀県)	佐賀県教育委員会/白石町教育委員会
10月17日(水)	福岡市立福重小学校(福岡県)	福岡市教育委員会
11月16日(金)	杵岐市立石田中学校(長崎県)	長崎県教育委員会/杵岐市教育委員会
11月19日(月)	熊本市立下益城城南中学校(熊本県)	熊本県教育委員会
11月20日(火)	水俣市立袋中学校(熊本県)	熊本県教育委員会/水俣市教育委員会
11月22日(木)	産山村立産山小学校(熊本県)	熊本県教育委員会/産山村教育委員会



ミラマール・オペラって？

ミラマール・オペラは初めてオペラを観る人たちにも解りやすく楽しんでもらえるように歌詞を日本語に訳して上演したり、途中で説明をしながらかつてくるレクチャー・コンサートなどを行うなど、オペラが好きな人たちが少しでも増えるように様々な活動を行っています。

知ってますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



文化芸術による子供の育成事業 一巡回公演事業  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ミラマール・オペラ公演

オペラ  
てかがみ



あらすじ

今日は亮子先生とジョン先生の結婚式です。教え子の子供たちもお祝いにかけつけますが、突然、結婚式の会場が火事になります。火事の炎を見た亮子先生のお父さんの勇一は、5歳の時に、お母さんを空襲の火事で見殺しにしてしまった悲しい出来事を思い出してしまいます。  
亮子先生は今までお父さんの苦しみに気づかなかったことを悔やみますが、自分のおばあさんが55年前にジョン先生のおじいさんに手渡した手鏡が、巡り巡って、孫の自分の手に戻ってきたことにとっても感動し、人の心の優しさや平和の大切さを胸に刻み、ジョン先生と二人で新しい未来に向かいます。

主な登場人物

武田勇一  
亮子のお父さん。  
5歳の時にお母さんを  
見殺しにしてしまったと後悔している。



武田亮子  
小学校の先生。  
お父さんの苦しみを  
知ってとても心を痛めている。



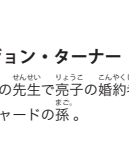
杉本監督  
運送会社の監督。  
無愛想だが、  
捕虜の事も考えている男。



武田カヨ  
勇一のお母さん。  
リチャードから介抱されたお礼に「てかがみ」を贈る。  
長岡の空襲で命を落とす。



ジョン・ターナー  
高校の先生で亮子の婚約者でリチャードの孫。



リチャード・マクベイン  
捕虜の軍医。正義感が強く、捕虜の待遇改善を求めている。



レイチェル・ターナー  
リチャードの娘でジョンのお母さん。



作曲 ● 池辺晋一郎  
台本 ● 平石耕一  
指揮 ● 樋本英一(a)、杉原直基(bc)  
演出 ● 三浦安浩

武田勇一: ac 鶴川勝也 / b 町英和  
武田亮子: ac 藤井 冨 / b 神田さやか

レイチェル・ターナー: a 田辺いづみ / bc 袖友恵子  
ジョン・ターナー: ac 高井真一 / b 高昌伸吾  
武田カヨ: ab 江口二美 / c 川越塔子

リチャード・マクベイン: ac 上本訓久 / b 澤崎一了  
杉本監督: ac 松山いくお / b 村松恒矢  
会場係: b 大野浩司 / ac 塙 翔平  
高校の校長: ac 片岡美里 / b 植松美帆  
5歳の勇一: ac 立直花子 / b 細川美央

出演日: a-9月、b-10月、c-11月

合唱: ミラマール合唱団  
演奏: ユニバーサル・フィルハーモニー  
室内合奏団  
コンサートミストレス: 田澤明子

舞台監督: 近藤元  
演出助手: 三浦奈綾



オペラの楽しみ方って？

オペラはセリフが歌で進行します。劇と音楽、そしてきたえぬかれたオペラ歌手の歌声が同時に楽しめます。劇の途中でも「すごい！」と思ったら拍手をしてもかまいませんよ！

「てかがみ」の見どころは？

戦争の時代(今から73年前)と現代の2つの時代の日本が出てきます。同じ日本人でも、着ている服や考えていることにどんな違いがあるか、注意深く鑑賞してみると面白いかも！



第一回佐川良男音楽奨励賞受賞  
平成25年度五島記念文化財団助成対象作品

小さな「てかがみ」に込められた愛が、  
再び日本に舞い戻る感動のストーリー

オペラ

# てかがみ

作曲 池辺晋一郎 台本 平石耕一 全二幕 (凡そ80分)



国も世代も超え、



オペラって？  
「てかがみ」って  
どんな作品？

「オペラ」は外国の芸術と思うかもしれませんが、実は日本にも沢山の素晴らしいオペラがあります。鍛え抜かれた美しい歌声で物語りが進行する様子はイタリアオペラと変わりありません。

オペラ「てかがみ」は2001年に新潟県で初演されて以来、全国各地で上演され続けている「メイド・イン・ジャパン」のオペラです。

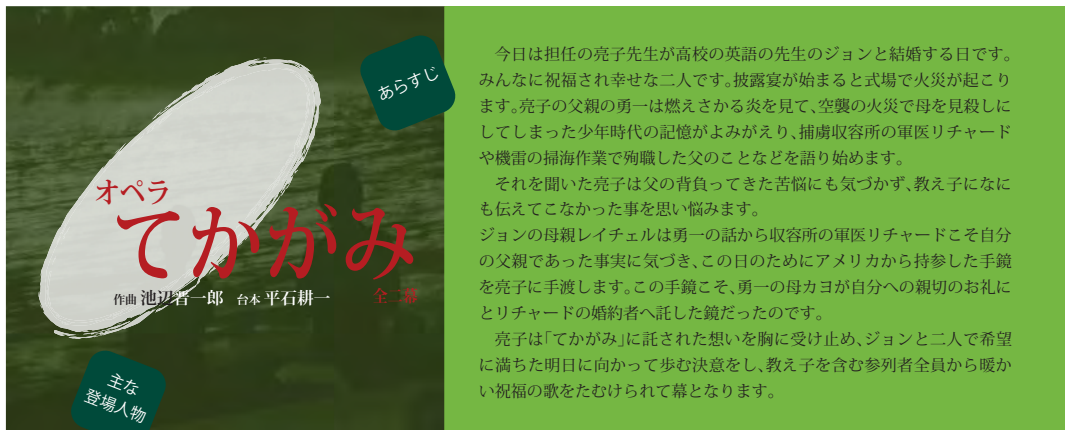
物語は70年前の太平洋戦争の時代と21世紀の2つの時代が登場します。アメリカ人の軍医に託された小さなてかがみが、様々な人達の愛によって国と時代を超えてまた日本に戻ってくるという感動のストーリーは、フィナーレの大合唱で最高潮に盛り上がります。

オペラ「てかがみ」はフィクションでありながらも、過去に日本中が経験した空襲の恐ろしさや疎開の様子、捕虜収容場の実態なども克明に伝えています。

近現代の日本の歴史に触れながら有意義な鑑賞をして頂けることを思います。

- 1 生徒の皆さんにも舞台上のヒロインとなって出演して頂きます。役柄は担任の先生の結婚を祝いに式場を訪れた生徒達！リアルな役柄ですね！
- 2 歌が苦手な人達も出演する事ができます。昭和20年代の子供になって疎開して行くシーンに登場してもらいます。迫力のあるシーンですよ！
- 3 ワークショップ(事前学習)が容易になるよう、模範歌唱や簡単な振り付けのDVDビデオと解りやすい楽譜教材を事前に提供いたします。

制作◎NPO法人ミラマレー・オペラ



あらすじ

今日は担任の亮子先生が高校の英語の先生のジョンと結婚する日です。みんなに祝福され幸せな二人です。披露宴が始まると式場で火災が起こります。亮子の父親の勇一は燃えさかる炎を見て、空襲の火災で母を見殺しにしてしまった少年時代の記憶がよみがえり、捕虜収容所の軍医リチャードや機雷の掃海作業で殉職した父のことを語り始めます。

それを聞いた亮子は父の背負ってきた苦悩にも気づかず、教え子になにも伝えてこなかった事を思い悩みます。

ジョンの母親レイチェルは勇一の話から収容所の軍医リチャードこそ自分の父親であった事実に気づき、この日のためにアメリカから持参した手鏡を亮子に手渡します。この手鏡こそ、勇一の母カヨが自分への親切のお礼にとリチャードの婚約者へ託した鏡だったのでした。

亮子は「てかがみ」に託された想いを胸に受け止め、ジョンと二人で希望に満ちた明日に向かって歩む決意をし、教え子を含む参加者全員から暖かい祝福の歌をたむけられて幕となります。



### 武田勇一

亮子の父親で旅行会社を経営。5歳の時に空襲の火災に母を置き去りにしてしまった事をずっと胸の奥にひた隠し生きて来た。劇中では5歳の勇一も登場する(セリフのみ)



### 武田亮子

中学校の教師。父の心の苦しみを知らずにここまで来た事に大きな後悔を感じてしまう。

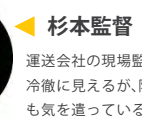
### 武田カヨ

勇一の母。夫の殉職で動転する自分を介抱してくれたリチャードに「アメリカであなたの帰りを待つ婚約者に…」と手鏡を託す。その後、息子の勇一と疎開するが、その地で空襲に遭い命を落とす。



### ジョン・ターナー

高校教師で亮子の結婚相手。リチャードの孫にあたる。陽気なアメリカ人青年



### 杉本監督

運送会社の現場監督。一見無愛想で冷酷に見えるが、陰では捕虜待遇にも気を遣っているような男。親友の妻であるカヨに恋心を抱いている。



### レイチェル・ターナー

軍医リチャードの娘であり亮子の結婚相手ジョンの母親。初老のアメリカ人女性



### リチャード・マクベイン

捕虜収容所の軍医。正義感が強く捕虜の待遇改善を求め、杉本監督とはそりが合わないがいつも対立している。



写真◎高智明



## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・  なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要


ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんあとむ		
制作団体名	有限会社 劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役 秋山京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0032 東京都新宿区中落合 4-23-22-A102 (西武新宿線 中井駅)		
電話番号	03-5983-8228	F A X 番号	03-5983-8229
ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんあとむ		
公演団体名	有限会社 劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役 秋山京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0032 東京都新宿区中落合 4-23-22-A102 (西武新宿線 中井駅)		
制作団体 設立年月	1984年 1月		
制作団体 組織	役 職 員 代表取締役 秋山京子 取締役 楠定憲・小嶋京子・大場寿子		
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	秋山京子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	秋山京子

制作団体沿革	<p>1984年1月、演出家関矢幸雄氏を創造リーダーに、クニ河内氏を音楽監督に迎え発足。『想像力の涵養こそ、生きる力に繋がる』という信念のもとに、ジャンルにとらわれず自由な発想を以て、舞台劇であり、音楽劇であり、人形も使うという、作品づくりをしています。</p> <p>全ての作品は、「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」・推薦・特別推薦です。</p>		
学校等における公演実績	<p>『あとむの時間はアンデルセン』 小学校 393 校 デンマーク公演 6 都市 17 ステージ 『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 小学校 396 校 児童館 218 館 『気のいいイワンと不思議な小馬』 小学校 301 校 『あとむのお話コンサート』 小学校 95 校 新作『走れメロス』 小学校 20 校</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>養護学校・特別支援学校 『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 32 校</p> <p>特別支援学校は各校、人数(50人～300人)・学年(小学生～高校生)・障害の違いは、全員車椅子・盲・聾の障害が多い・知能障害、等々非常に多様です。</p> <p>たいていの学校は先生方や付き添いの方々が多人数で見守っていられます。</p> <p>各学校の違いによって、先生方とよく相談して、ワークショップも本公演も客席も工夫します。先生の希望により、台本を送り、手話通訳の方を付けることも何度もありましたが、たいていの場合、本番中にまもなく通訳を止めておられました。</p> <p>通訳を見ず、舞台の表現＝「展開・手話等を含めたいごき」を観て、子ども達が解っている、楽しんでいて、先生方が実際に認識して下さるからです。</p> <p>支援学校のこどもたちは特に、みんな音楽が好きで、ハーモニーが好きです。</p> <p>ハーモニーは音楽だけでなく、おしゃべりは全部ハーモニーですから、音楽いっぱい語り紡ぐお芝居は、気に入ってくれていると、はっきり確信しています。</p> <p>一切電気音(マイク・電子楽器)を使わない生の音・音楽も大きな評価を得ています。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		DVDを提出いたします。	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
Aの提出が困難な場合	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名有限会社 劇団あとむ】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	あとむの素劇ミュージカル		
本公演演目	『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』		
原作/作曲	原作	H. C. アンデルセン	
脚本	脚本	秋山英昭・関矢幸雄	
演出/振付	構成・演出	関矢幸雄	
	音楽	クニ河内	
	美術	有賀二郎	
		公演時間 ( 70 分)	
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>構成・あらすじ (音楽劇) 9人の妖精がお話を運ぶ</p> <p>劇『パンをふんだ女の子』 靴を汚さないよう、ぬかるみにパンを置いて渡ろうとした女の子インゲル。沼の底に沈み、地獄まで堕ちます。インゲルを救えるのは、誰なのか…？</p> <p>子どもたち参加『アニメイムで遊ぼう』 まず、アニメイムのユニークなパフォーマンス、遊び、子どもたちが参加します。</p> <p>劇『父さんのすることはみんなよし』 要らない馬を、何かいいものと取り換えようと、父さんは市場に出かけます。いろいろなものに取り替えていき、ついには腐ったリンゴになっちゃった。さあ、家で待つ母さんはどうするか。ほんとうの値打ちとは？</p>		
演目選択理由	<p>アンデルセンの、弱者に焦点をあわせた人生観、価値観が、童話を通し、楽しく、優しく子どもの心に届くように、ユニークで斬新な表現、工夫を重ねた作品です。</p> <p>&lt;アニメイム&gt; 棒とボールと輪っかを使い、複数の人数で、空中に、瞬時に動物や風景を描く手法。人が息を合わせて、ひとつの「もの」を創り、命を吹き込む、関矢幸雄演出オリジナルの想像遊びを盛り込みました。</p> <p>&lt;アカペラコーラス&gt; 3声～5声のハーモニーで、台詞、歌、擬音、すべて生の声で、演じます。音楽は多様であること、人間の身体能力の可能性は無限であることを、伝え、感じてもらいます。</p> <p>&lt;手話&gt; 手話は、記号ではなく、意味を伝える美しい動きとして、より力強く語りかけます。効果的であり、魅力的な表現のひとつであることを伝えます。</p>		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	<p>【アニメイム】で遊ぶ 共演は演目概要 ② の「遊び」の部分で、舞台に出て貰い、即興の呼吸を体験。自由な発想のきっかけを呼び起こします。</p> <p>劇団員とともに、棒とわっかとボールで、動物や、物の形をつくってみます。海の波動や、ものの連動など、大勢で伝えていき、息を合わせて動かします。</p>		
出演者	<p>織田晴光 林 大介 原田邦治 野口 徹 楠 定憲 森田公一 小嶋京子 三浦美穂子 京本幸子 高橋由布子 黒木幸枝 藤石夏菜 (出演者予備含む)</p>		
演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 10 名 スタッフ:兼務 合計: 10 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2 t 車長 5 m 台数 1 台</p>

<p>公演に当たっての 会 場 条 件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>																	
<p>会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安</p>	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 3 時間程度 ) 午前開演の場合</p> <table border="1" data-bbox="391 611 1433 689"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>本公演</td> <td>内休憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>7:30</td> <td>7:30～ 10:30</td> <td>10:50～12:00</td> <td>無し</td> <td>13:00～14:30</td> <td>15:00</td> </tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午前 10 時 30 分からの概ね2時限分程度です。 午後開演も可能です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	7:30	7:30～ 10:30	10:50～12:00	無し	13:00～14:30	15:00
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
7:30	7:30～ 10:30	10:50～12:00	無し	13:00～14:30	15:00													
<p>児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>一回の人数は、全員が実地に触り、動くには理想は30人～60人例・1時限ずつ、2回(60人×2回=120人)実施可能です。</p>																
	<p>本公演</p>	<p>500人程度。</p>																
<p>ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容</p>	<p>○ (アニメイム) 棒、ボール、輪をつかった造形を手遊びから、表現へ繋げます。 つくりかたの発想を児童、先生方に、提案・指導します。</p> <p>○ 音楽も、動きから自然に生まれるリズムや、曲想を楽しむ、解放された音楽に ふれる機会にします。</p> <p>○ 体験する児童だけでなく、体育・総合教育の時間にも相応しい内容です。 全校生徒多数の場合は、学校の舞台に一部生徒を選出参加の形で可能です。</p> <p>☆90cmの棒 6本 +45cmの棒1本で ⇒  「馬」になります。3人～4人で持って繋ぎ、動かし 歩かせたり、乗ってみたいします。</p>																	
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>【ひとつのものを複数の人でつくる時、相手へのおもいやりこそが必要だ】を、伝えます。 【想像する楽しさ かたちにする面白さ】を伝えます。 【身近にあるもので遊べる・考える・工夫する】ことを面白いと感じるようにしたいです。 【大勢で遊ぶ・なにかをする】を、楽しいと感じてもらいます。</p>																	
<p>特別支援学校で の実施における 工夫点</p>	<p>◎ 特別支援学校では、生徒の体力など可能な参加状況を把握し、相談の上、 多様なプログラムから自在に選び、組むことが可能です。 客席も各校独自にプランをたて設置します。</p>																	
<p>実 施 可 能 時 期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>																	

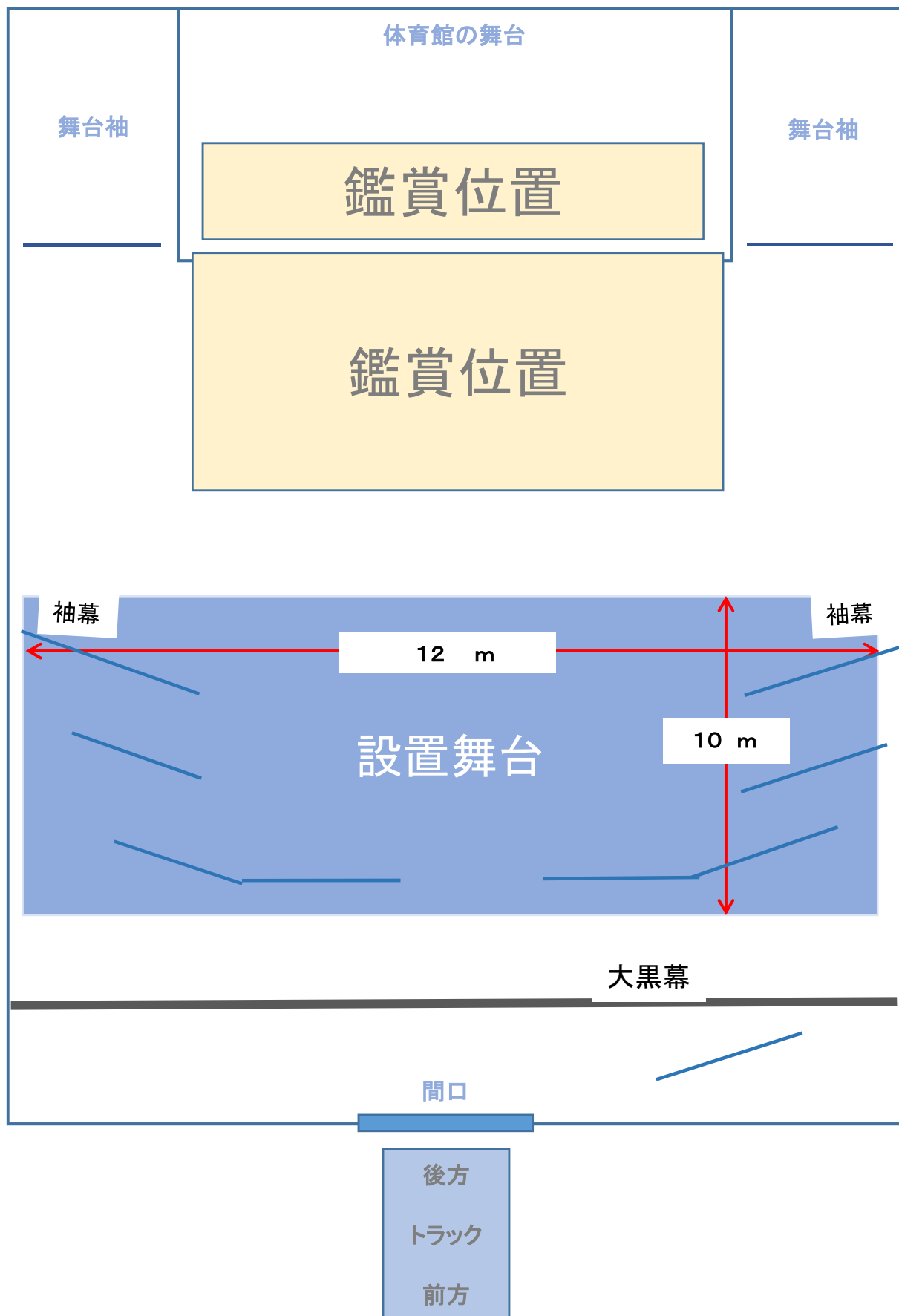
**【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】**

ID	F67	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団あとむ				制作団体名	有限会社 劇団あとむ			

**① 会場条件等についての確認**

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館に近い部屋を希望しますが、いかなる対応可能です。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トントラック 長さ5m幅2m高さ3m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要 希望しますが、対処は可能です。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			・屋根のある経路が望ましい。(雨天時)				
		理由			道具の水濡れ防止のため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
WSについて	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
	可	参加可能人数			児童が全員が実地に触り、動くには理想は30人(2回で60人が理想ですが、状況により、対応できます)				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			1回1校時約45分。2回実施。もしくは2校時90分で1回				
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			客席に、フロアと学校ステージを使用できる場合500名程度まで可能です。				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	12m	奥行	10m	高さ	指定なし	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要			
	—		舞台袖スペースの条件 *			不要			
	—		緞帳 *	不要		バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台照明を使用のため。完全でなくても可		
	—	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	—		ピアノの事前調律 *			不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			
その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要 希望しますが対処可能です			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

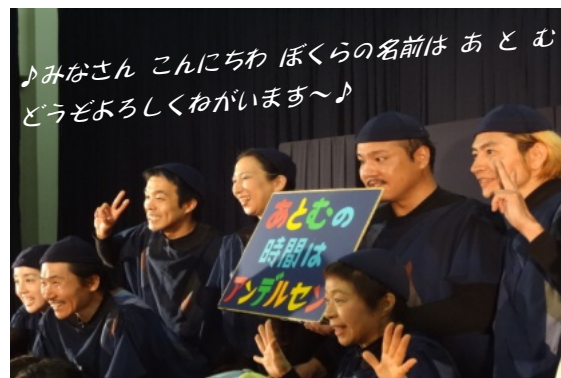
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# あとむの時間は アンデルセン

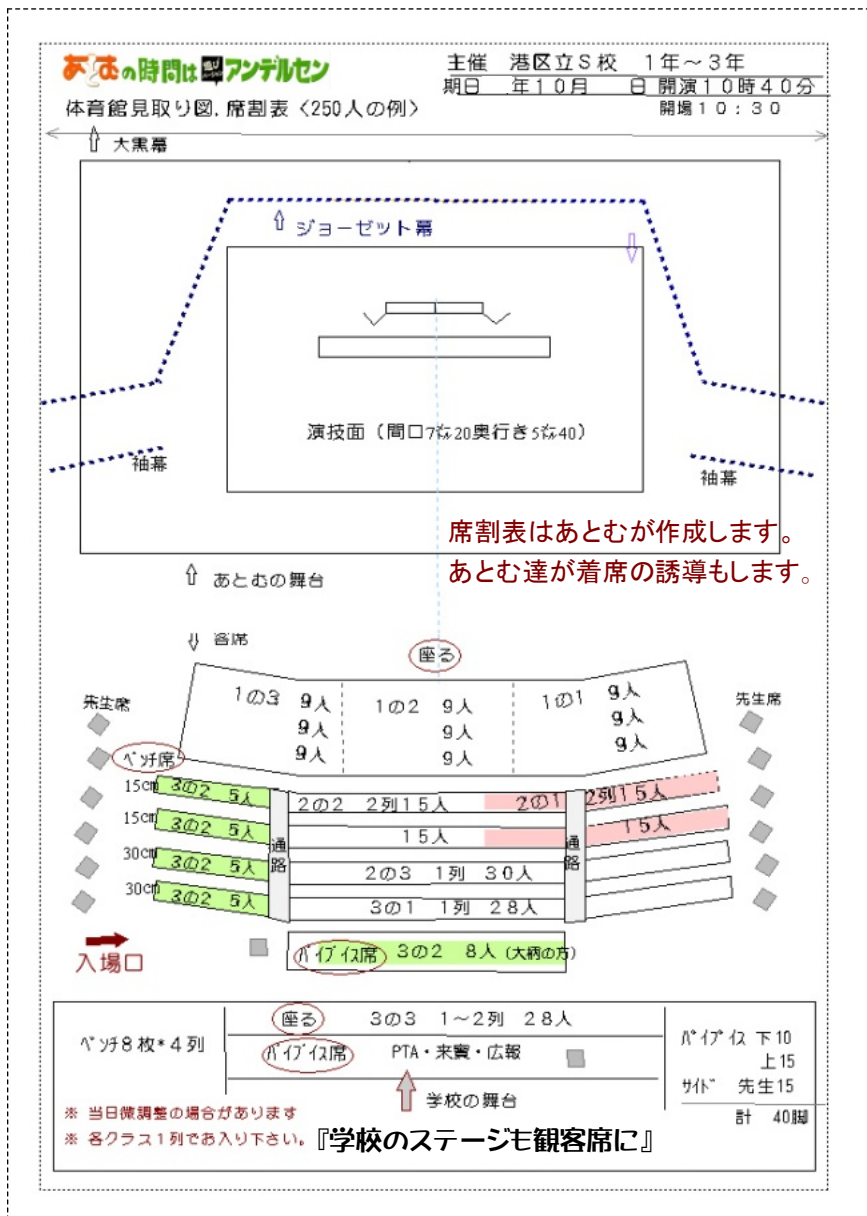
本番の日の体育館・あとむの舞台と客席の様子



開演間近の風景です。入場した子どもたちは、まずびっくり！  
歓声があがります。体育館間口いっぱいのあとむの舞台です。



♪みなさん こんにちは ぼくらの名前は あとむ  
どうぞよろしくねがいます〜♪



←外側四角の輪郭を体育館全体と見て下さい。  
客席は学校の舞台も使い、スロープ状に作ります。  
この席割図は約250名・6段階のスロープ。  
☆上演時間は70分、休憩無し。10名編成。  
仕込時間は(1F)約3時間。撤収は1時間

## 『学校のステージも観客席に』



ベンチ・照明器財は持ち込みです。

笑顔、笑顔、《thank you!》



# 音楽劇 **あま**の時間は **遊びバージョン アンデルセン**

子どもにも大人にも、<sup>たの</sup>楽しい時、<sup>とき</sup>悲しい時、<sup>かな</sup>さびしい時があるものです。そんな人々のお話を、アンデルセンはたくさん<sup>どうわ</sup>童話や<sup>ものがたり</sup>物語にかきました。「色んなことがあるけど、人々が元気で生きていけるように」と。<sup>うた</sup>歌もいっぱい、アニメイムもいっぱい<sup>しばい</sup>の楽しいお芝居を、みなさんへおくります。

## ”アニメイム”ってなに？

”アニメイム”というのは演出家関矢幸雄氏の考案によるもので「アニメーション」と「パントマイム」からの造語です。身近にある棒とボールと輪という単純なものをつかって、みんなのみている前で空間に風景や動物の絵を描いていきます。

さあ、動物たちも、風景も、動き出しますよ！



*we are atomic wonder's*

## ものがたりは？

はじめのお話は◆『**パンをふんだ女の子**』

綺麗だけれど生意気でわがままなインゲル。

靴を汚したくないためにぬかるみにパンを置き、ふんで渡ろうとしたのですが、沼の底に沈み、果ては地獄まで墮ちていく。インゲルを救ったのは、誰…？



つづいて◆『**アニメイムで遊ぼう！**』

さあ、アニメイムで遊ぼう！

“輪くぐり” “ネズミレース”の参加ゲーム、元気な子出ておいで！

棒とボールと輪っかで、  
空中にアニメイム！  
動物たちのオンパレードだ。

棒と  
ボールと  
輪で遊ぶ  
アニメイム！

さあ、

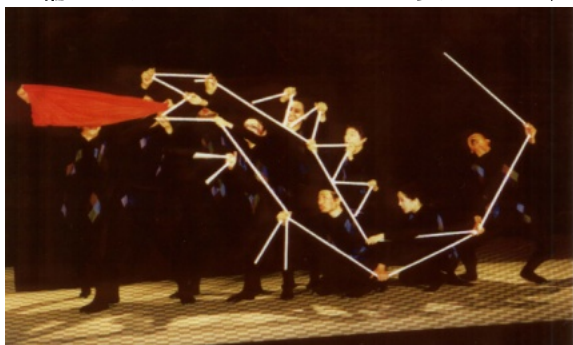
何の絵ができるかな？

カメとウサギ、ダチョウ、

キリン、カニ、ゾウ、

ライオン、

そしてみんなの好きな怪獣が、  
舞台せましと走り回る！



おしまいのお話は

◆『**とうさんのすることはみんなよし**』

家でいらなくなった馬を、なにかいいものとりかえようと、出かけたとうさん。途中、色々なものにとりかえていき、最後はくさったリングに…？

さあ、家で待つ母さんはどうするか！





## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

)

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんぶーく ----- 有限会社 劇団プーク		
代表者職・氏名	代表取締役 栗原 弘昌		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3(JRほか「新宿」駅)		
電話番号	03-3370-3371	FAX番号	03-3370-5120
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんぶーく ----- 人形劇団プーク		
代表者職・氏名	代表 井上 幸子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3(JRほか「新宿」駅)		
制作団体 設立年月	1929年12月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 栗原弘昌/柴崎喜彦・ 西本勝毅・石田伸子・市橋亜矢子・ 佐久間弥生	劇団構成員50名	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	櫻井 雅美
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	中山 正子

作団体沿革	1929年に創立。1971年には全国の協力者の力を頂き、東京・新宿に常設人形劇専門劇場プーク人形劇場が誕生。劇場公演の他、幼/保こども園、学校、児童館、公民館、市民ホールを中心に年間約600ステージの移動公演を行う。プークは、1958年、国際人形劇連盟〈ウニマ〉に加盟。多くの国際人形劇フェスティバル、国際会議に参加しています。海外人形劇の招聘・交流・海外公演も行っており、2012年には国際人形劇フェスティバル中国大会に上演参加。人形劇の国際交流に尽力しています。2008年同豪州大会に招聘公演、好評を博す。劇団創立90周年を迎えます。創立以来、プークは人形劇を通じて平和や自由を愛し、日本はもちろん世界中の子どもたちに作品を届けて、人形劇の国際交流に尽力している。		
学校等における公演実績	北海道/糸魚小学校、長野/喬木第1小学校、筑北小学校、茨城/小張小学校、東京/西新宿小学校、代々木小学校、松江第二小学校、南小岩小学校、関原小学校、高輪台小学校、所沢市立椿峰小学校、千葉/青管小学校、三山小学校、第4日野小学校、山梨/道志小学校、岡山/福田第二小学校、鳥取/船岡小学校、北条小学校、西伯小学校、他		
特別支援学校における公演実績	東京/大塚特別支援学校・調布特別支援学校・八王子特別支援学校・町田特別支援学校・小金井特別支援学校、北区特別支援学校、大阪/平野特別支援学校 愛媛大学附属特別支援学校、北海道/紋別養護学校ひまわり学園・拓北養護学校、他		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	<a href="http://puk.jp/">http://puk.jp/</a>
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

## 【 公演団体名 人形劇団プーク 】

対象	小学生( <input type="radio"/> 低学年 ・ <input checked="" type="radio"/> 中学年 ・ 高学年 ) ・ 中学生		
企画名	12の月のたき火		
本公演演目	『12の月のたき火』 原作/作曲 作・演出/川尻 泰司 演出/岡本 和彦 脚 本 美術/中山 杜卉子 音楽/長沢 勝俊 照明/阿部 千賀子 演出/振付 公演時間(1時間 25分)		
著作権	制作団体が 所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事 項が含まれる	<input type="radio"/> (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>『12の月のたき火』は、スロバキア民話をもとにつくられたと考えられている。 厳しくも <b>やさしい自然と共に暮らしたくましく生きる</b>少女マルーシャの <b>心の成長を辿る物語。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>&lt;あらすじ&gt; 働きもので気だてのよいマルーシャは、いじわるな母親と姉のリーザ、3人で暮らしている。姉は、わがままで欲張りで美しい容姿をもつ妹をねたんでいる。ある日、王様から「大晦日にイチゴが食べたい」とおふれが出される。「籠いっぱいの一ちごを。褒美には同じだけの金貨を」リーザは、母親にわがまを言いマルーシャがいちごをとりに行くよう仕向ける。</p> <p>マルーシャは、森へ向かい冬には実を結ばないいちごを求めて彷徨いゆく。吹雪の中、絶望と寒さで意識が薄らぎゆく時、かすかな歌声と灯りが彼女を救う。その先には、「12の月の精たち」がたき火を囲い踊っていた・・・ <b>「人間が踏み入れてはならない世界」</b>であったが、<b>彼女の誠実な人柄・働きぶり</b>を知る。12の月の精たちは暖にあたり<b>その時間を共有する</b>ことを許してくれる。そして魔法を使い「季節」を早め籠いっぱいの一ちごを实らせてくれたのだった。</p>		

東欧の美しい自然を彷彿させる**ダイナミックな音楽**にのせ物語は展開していく。村の青年イリヤとの交流も どこか素朴で**古典的、かつ叙情的な雰囲気**が漂い、**人から人へ語り継がれた民話の良さ**を存分に発揮している作品である。

演目選択理由

◎プークのあゆみと「12の月のたき火」

劇団創立 40 周年を記念し、**1971 年日本で初めての 人形劇 専門劇場『プーク人形劇場』が完成する。同年、創立メンバーである川尻泰司によりこの人形劇は「舞台のない所でもどこへでも出かける」と移動上演の先駆作品として**創られた。また『**日本発の出遣い様式の糸あやつり**』によるこの人形劇は、全国へと広がりをもせ**現代人形劇の質・技術レベルの水準を高め、**かつてないアンサンブル舞台の成長をもたらした。

さらに、**1975 年からは毎年クリスマス・ロングラン公演**として回を重ね**今年で連続 42 回目**となる。**親から子へ、またその子へと世代を超えて愛される作品**となっている。プーク人形劇場にとっても**この舞台で1年の幕を閉じ、新年を迎える**という意義をもち**劇場と共に生き続けている作品**である。

●人間の尊厳

川尻泰司は つねに、「**すべての子どもと人々の平和、社会の平和に貢献できる よう人形劇を創りつづける**」という信念のもと、創造活動を歩んできた。

それは、**人間の尊厳とそのあり方を追求する**ものであり、この作品においても子どもたちに向け**わかりやすくて確かな言葉**(台詞)で伝えている。

母と姉は利己的かつ理不尽な主張を貫き**人の尊厳・命をも軽視する姿**に心が痛む。

一方マルーシャは、まさに**自然児であり、**こどもらしい**純粋な美しい心をもつ。**

行くと決めたらまっすぐ駆けてゆく。マルーシャには、**過酷な境遇**にありながら

それを**悲観するわけ**なく**厳しい自然の中で、**勇気と意志をもって**自分の尊厳を主張し、**全力で立ち向かい生きようとする**「力強い生命力」**が溢れている。

情報化がすすむ現代、「**人として大切なこと・人間の尊厳とは**」を問う。家族との繋がり、**自分らしさを見つめ直す**きっかけを**今に生きるこども達に届けたい。**

●簡素な美しさと 豊かな楽しさ

作者はこの作品で「**素朴で簡素な美しさ**」を追求した。主たるキャストは**こどもと等身大サイズの糸あやつり人形**を用い、その他(12の月の精/王様と家来など)には**立ち絵(平面人形)**を使用している。

**薪を拾う、編み物を編む、親子げんかが始まる、**舞台空間には**人形劇の世界、物語がもつ心の世界が、あふれ出すように脈々と広がる。**

人形劇による**繊細かつ生き生きとした躍動感**は、まるで**人形が日常の営みをしてるような錯覚**をする。たき火の火の粉は、火の妖精たちとなり妖艶にリズムカルに空を舞う。12の月の精による魔法の呪文は、季節を早め いちごの実をたわわに実らせる。マルーシャを守るため1粒のいちごにかけられた魔法のちからなど・・・

**観客の想像力を刺激し人形劇でこそ表現できるファンタジックな世界観、**その世界観を伝えるために より厳選された簡素な美しさこそ、**強烈なインパクト**で こどもたちの目に焼きつき、**心が揺さぶられる体験**となるに違いない。

プークが奏でる**美しい人形劇のもつ、豊かな楽しさ、**この体験事業を通して

未来あるこどもたちが豊かな感性を育み **夢やあこがれが、目標となり生きる 希望へと繋がってもらいたい**と考えている。



### ●日本初、出遣い糸あやつり人形

人形美術家 中山杜卉子は、プーク人形劇場建設後の活動基盤を築いた中心人物の1人である。演出家である川尻泰司がイメージした**「限りなくシンプルな人形」**は彼女の手により**「彩り鮮やかな美しい造形」となり尚、意志をもち重厚な存在感**を放っている。「**演出家の思い**」と「**美術家の情熱**」いずれも違わず**心が溶け合うように一致した作品**がこの「12の月のたき火」といえる。

また糸あやつりの**コントローラー**はプーク独自で開発された**特殊技術が採用**されており、現在「**90cm 特大サイズのあやつり人形**」を**操作実現**できているのは プークのみである。これらの人形をつかってみせる多様な表情・繊細な仕草、大地を踏みしめる 1 歩1歩にまで誰もが魅了される。生の舞台上で**プークが大切に継承する人形美術、人形劇の魅力**を**五感全身**で感じてもらいたい。

### ●負の要素

プークの人形劇には心の葛藤や恐怖、困難をあらわす負の要素が必ずある。

負の要素を織り交ぜ、**泣く、笑う、怒る、哀しむ**、人間として**自然な感情を疑似体験、共感、感情消化すること、心の成長を促すこと**がねらいである。

主人公マルーシャが経験する**孤独や哀しみ・困難や試練**もまた「**人間の存在**」「**自分らしさ**」を問いかけ「**善悪、真実を見極め 行動する勇気を持つ**」という答えを導く。次世代を担う子どもたちが、プークの舞台作品に出会うことにより

「**共に明日をゆたかに生きる力**」が育まれることを願っている。



児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

本公演で上演する劇中に、児童・生徒さんが**演目にちなんだ役柄の人形を遣って舞台に登場し**、人形劇団プークの人形・俳優と共演する場面を設ける。  
 共演する児童・生徒さんは、**各々が遣う人形を自らが創作し人形の操作、演じ方、発声や表現について学び体験**してもらう。  
 事前配布の資料で、**演出、舞台監督、照明、音響など舞台に関わる人々について触れその役割や舞台のなりたちについて学んでもらう。**  
 公演当日まで準備段階を経て**学校全体で意欲的に体験事業**に取り組んで頂く。

当日は 本番さながらの**綿密なリハーサルを実施**、児童・生徒さんが**舞台へ立つ自覚をもち、それぞれの役割にちなんだ責任と重み、緊張を高めてもらう。**  
 このようにして**舞台を共に創りあげる喜び・仲間への信頼、一体感を体験する。**  
 舞台に立たない児童・生徒さんも、**体験授業の見学にて演出の立場で舞台を客観的にチェック**してもらうなど 積極的な参加を促すことを心がける。舞台での学友の活躍を観ることを通して、芸術鑑賞の体験を深めてもらう。

舞台終演後、希望校には学校全体でミニワークショップとして、舞台に登場した**人形の遣い方、構造の説明**など行い交流を深める時間を作る。生徒さんからも**率直な感想や気づき、質問などを発表**してもらい **体験授業の充実と共有を図る。**

出演者

栗原 弘昌・大橋友子・市橋亜矢子・亀井佑子・長瀬円美・小立哲也  
 (編成変更の可能性あり)

公演出演予定者数  
(1公演あたり)

出演者: 6名  
 スタッフ: 2名  
 合計: 8名

機材等  
運搬方法

積載量 2t  
 車長 5m  
 台数 1台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 3 時間程度 )					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	5-10 分前	8時～ 時	13時半～	15分	15時～16時半	16 時半～
4 限目 ( 11:30 ~ 12:15 /45 分 ) 共演参加児童生徒とのリハーサル ※本公演時間の目安は、午後1時 30 分からの概ね3時間程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	10～15人				
	本公演	代表10選出で舞台共演を行う。				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>本公演の際に共演する児童・生徒さんに事前の指導を行う。 シンプルで舞台効果の出る「人形」の材料を事前に郵送する。 ワークショップでは劇団員が、<b>人形の作り方、人形操作・演じ方・声の発声法、表情のあらわし方、全身をつかっの魅力的な舞台表現</b>のアドバイスなど、技術指導を行う。事前に、本公演で使用する楽譜や音源を送り、音楽の時間や昼休みの放送などで<b>メロディに慣れると効果的である</b>。ワークショップを実施するときに、皆さんの<b>創作意欲や舞台への関心</b>が高まっているとより取り組みが有意義になる。</p> <p>具体的には、1 時限目・・簡単な劇団/演目の紹介と人形創作 2時限目・・体育館に移動、人形操作法・舞台での踊り、振付の練習</p> <p>ワークショップでの生徒さんの<b>作業状況・取り組み姿勢などは担当者が把握し、公演時 劇団員が情報共有することでより親しみあるコミュニケーションと交流に努める。</b></p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>公演で共演する児童・生徒さん対象に、事前ワークショップを行う。 舞台に立って人形を遣って演じること、<b>表現するための人形や小道具を自分で作ることにより、目標をもってより意欲的な参加</b>を促す。結果として本番に臨む意識が高まり、公演での<b>達成感・充実感</b>がより一層得られる。 文化創造団体と児童との共演という公演自体の質を高め鑑賞体験が深まることに繋がる。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>児童・生徒さんの症状や状況に応じ、ワークショップについては柔軟に対応します。 車椅子やストレッチャー利用、その他症状のある児童・生徒さんについても、<b>症状について事前に綿密な打ち合わせ</b>を行います。公演時も <b>健康状態に十分に配慮しつつ、安全かつ適切な状態で観劇できるよう</b> 入退室の導線確保や客席作りを行います。 舞台上で実際につかっている人形を動かし、触れてもらうなど、人形劇団ならではの交流・体験も可能です。</p>					
実施可能時期はB区分申請団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

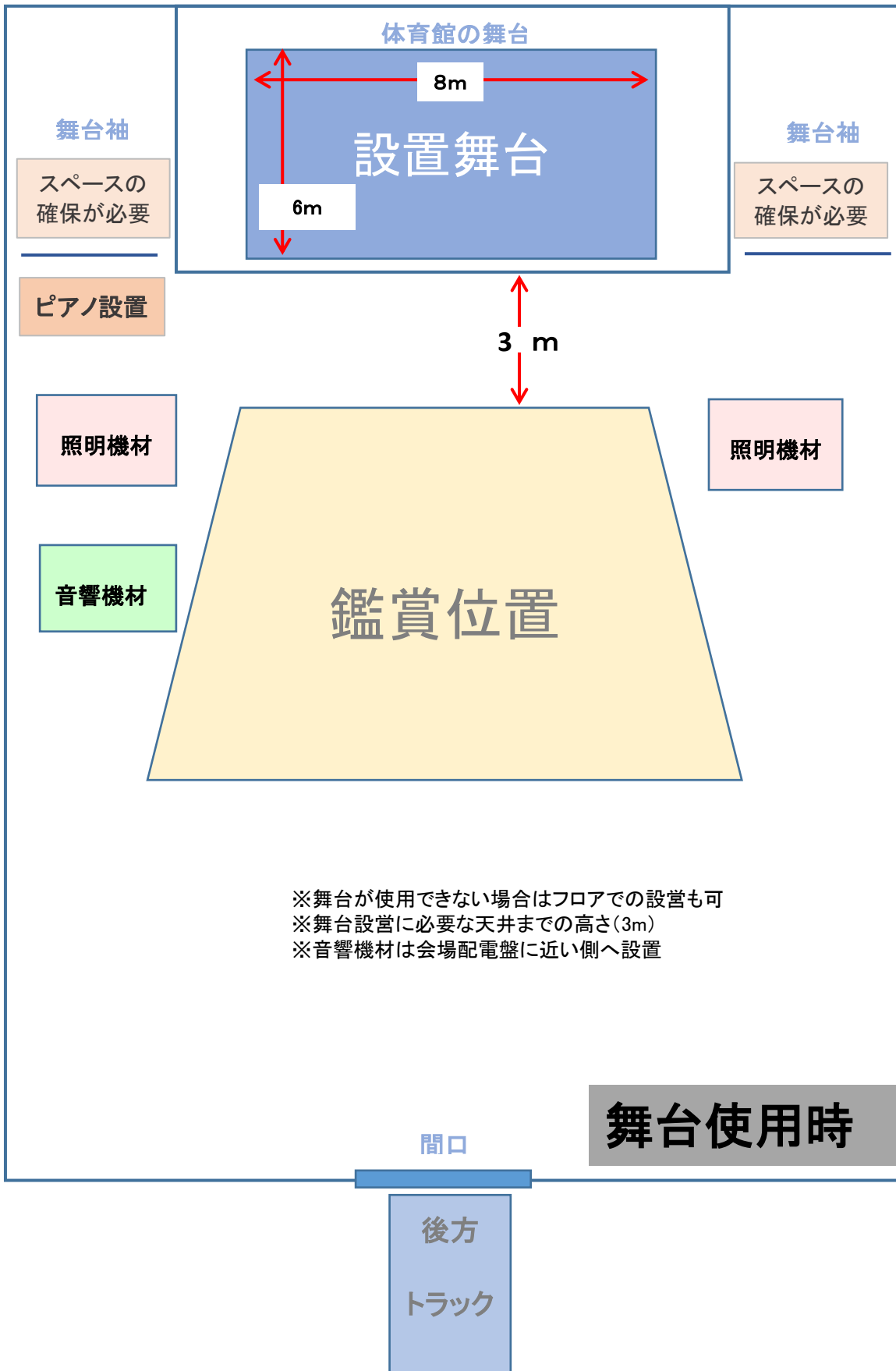
ID	F68	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	人形劇団プーク			制作団体名	有限会社 劇団プーク				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	衣装着替えて男女別、舞台の両袖中に対応可				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トントラック(長さ5M、高さ2.9M)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			15m以内、台車2台あればお借りしたい。				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り、屋根があり、階段のない経路が望ましい。				
		理由			人形箱、音響機材等大型舞台道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	2M			
WSについて	可	参加可能人数			代表で10～15名選出				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分(2時限分)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	不可	鑑賞可能人数			120～200名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上(奥行きが6M確保できる)への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	6m	高さ	4m	
	可	舞台袖スペースの確保 *			要				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			袖に荷物が無い状態				
	—	緞帳 *			不要		バトン *		不要
	不可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果のため		
	不可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—	ピアノの事前調律 *			不要				
	可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可		
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
暗幕・ござ、体育マット、パイプいす等 事前準備のご協力をお願いします。									
体育館にて、小窓(膝下部分の低い窓)についても、暗幕またはダンボール、黒ビニール袋等での遮光対策をお願いします。									



会場図面(表記単位:メートル)



※舞台が使用できない場合はフロアでの設営も可  
 ※舞台設営に必要な天井までの高さ(3m)  
 ※音響機材は会場配電盤に近い側へ設置

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	20m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



— 自然の厳しさやさしさに向きあい生きる少女マールシャの物語 —

# 12の月のたき火

スロバキアの民話より

平成23年度厚生労働省社会保障審議会児童福祉文化財特別推薦



小学校体育館・小会場用上演作品  
「12の月のたき火」

上演時間 1時間 25分 (休憩15分含む)  
構成 キャスト6名 スタッフ1名 /計7名  
運搬 2 tトラック 1台/2名  
公共交通機関利用 5名  
諸経費 (上演料+交通費+車両経費+宿泊費)+宣伝材料費

● お申込み・お問合せ ●

人形劇団プーク ☎ 03(3370)3371  
〒151-0053 渋谷区代々木2-12-3

FAX ホームページ Eメール  
03(3370)5120  
<http://www.puk.jp>  
puppet@puk.jp

いじわるな母と姉と暮らす美しい娘、マルーシャ。  
ある大晦日の日に、王様からわがままなおふれが  
出されました。「大晦日の晩に王様はイチゴが食べたいと  
おっしゃった。竈いっぱいのおイチゴを持ってきたもの  
には、それと同じだけ金貨を褒美にする」…。  
強欲な母と姉はマルーシャにイチゴを取ってくるように  
命じます。  
雪にうすもれた森の中にいちごなんてあるはずがない  
けれど、マルーシャは泣く泣く出かけていきました。  
そして森の中で見かけた大きな焚き火。  
寒さに凍えたマルーシャが近づいていくと、12の月の  
精が座っていました……。

自然の厳しさとやさしさにむきあい生きるマルーシャ  
を通して、人間の尊厳の大切さを伝えます。



PHOTO / 中谷吉隆

簡素な美しさと豊かな楽しさ

作・演出プラン / 川尻泰司

いつ、どこへでもかけていって、楽しい  
舞台をつくるプークのブー吉劇場の仕  
事も、今年で4年目を迎えました。この  
移動劇場の活動は、舞台設備の整った劇  
場ではない会場で、比較的少人数で舞台  
を創らなければならぬために、いろい  
ろな苦労があります。けれどその仕事は、よ  
り多くたくさんの方々の生活の場  
に、じかに結ばれることの多い楽しさ  
があります。

最近のわが国の文化の状態を見ます  
と、外見の豪華さが競われ、かんじんのそ  
の作品の心の豊かさがそこなわれたり、  
軽視されたりする傾向が多すぎるよう  
に思われます。

人形劇がなによりも大切にしなければ  
ならないのは、その作品の中を流れる心  
の美しさが、豊かに舞台からあふれ出す  
ことでしょう。しかも必ずしも設備のよ  
い会場がない多くのことも私たちにも、よ  
り広くなまの舞台芸術の美しさと楽し  
さを味わってもらうことです。

それはまた舞台を創るわたし自身、  
今までの舞台の創り方から、さらに新し  
い創意と努力で、人形劇の道を進めてい  
かなければできないことでもあります。

「12の月のたき火」は、みなさんもよく  
ごぞんじの「森は生きている」もののお  
話です。私は、そのお話のもつダイナミッ

演出にあたって

演出 岡本和彦

川尻泰司作品「12の月のたき火」は、5、6名の  
俳優による移動用人形劇として誕生した。  
1971年の事で、入団2年目だった私は、美術  
部員として仕込みに参加した。その後、プーク人  
形劇場に向けて劇場小舞台として大きくセット  
プランが変更された新演出で新しくなった舞台  
は、さらに移動公演にも適応する舞台となつた。  
そして同時にプーク人形劇場での公演は定例化  
された。私はその多くの舞台に舞台監督、俳優と  
して関わってきたのだが、今回の演出の仕事は私

にとつて、45年の現役生活の集大成といっ  
ても過言ではない。この様に、息長く続い  
てきた根底には、人形劇の継承と発展に関  
わる大事な教訓が隠されている。それは川  
尻泰司が創作的命題とした、少人数での多  
様な舞台表現、シンパルながらもスペクタ  
クルでファンタジックな展開、そしてメルヘ  
ンに留まることのない現代的な主題と現  
実感。まさにデラックス児童劇とは、明確  
な対照ににやもたらされた人形劇の特  
性とその真諦である。私はこの作品が礎と  
なつて、これからの現代人形劇の成長と発  
展があると思つている。

クナ楽しさと美しさを、もつと多くの子  
どもたちに楽しんでもらうために、その  
もとなる民話の良さを生かして、ブー  
吉劇場の舞台で創りかえて見ようと考  
えました。

できるだけ民話にふさわしい簡素な  
美しさの中に、そのお話のもつ心の世界  
を人形劇独自のファンタジーとして、く  
りひろげたいのが私の願いです。

40年以上も昔になりますが、私がは  
じめて人形劇の仕事をするようになつ  
た頃のプークの舞台は、ほとんどが「糸  
あやつり人形」だったので、今度の「12の  
月のたき火」で糸あやつりを使うことも、  
私にとつては大変なつかしく、楽しいこ  
ともあります。どうかこの舞台がたく  
さんの子どもたちを楽しみますことがで  
きますように！。

1971年「12の月のたき火」  
初演パンフレットより



作・演出プラン / 川尻泰司

演出 / 岡本和彦  
美術 / 中山杜卉子  
音楽 / 長沢勝俊  
照明 / 阿部千賀子



## 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】 合唱,オーケストラ等,音楽劇  
 【演 劇】 児童劇,演劇,ミュージカル  
 【舞 踊】 バレエ,現代舞踊  
 【伝統芸能】 歌舞伎・能楽,人形浄瑠璃,邦楽,邦舞,演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても,複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ,複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	(か)げきだん げい ゆう ざ ----- 株劇団 芸優座		
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)		
電話番号	042-489-4555(代)	FAX番号	042-489-9170
ふりがな 公演団体名	(か)げきだん げい ゆう ざ ----- 株劇団 芸優座		
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)		
制作団体 設立年月	昭和47年 11月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 平塚仁郎 取締役 村田里絵 明石奈々 川口勝也 監査役 平塚キク	制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 35名 (他に研究生8名) 加入条件: 18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考する)	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	伊澤 智子

<p>制作団体沿革</p>	<p><b>沿革について</b></p> <p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台や TV 番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「まず面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく、全国で公演を続けている。平成3年、(株)劇団芸優座と改称。平成10年より事務所・稽古場を現在地に持つ。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演をするなど、日常的な鍛錬を日々欠かさない。</p> <p><b>これまでの作品</b></p> <p>平成30年度上演中の中学生向けレパートリーは5作品。「ベニスの商人」は昭和47年の初演以来、既に4000ステージを超え、「最後の一葉」は平成20～22年度「本物の舞台芸術体験事業」、平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」で、「アングル・トムの小屋の灯に」は平成24・28年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」で採択された。「チャーホフ先生こんにちは」「それぞれの絆」も好評を博しており、オリンピックをテーマにした新作「昇らぬ朝日のあるものを」も注目され公演数を伸ばしている。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>																										
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成30年度10作品の実績は全国で、合同公演も含め、高校48回、中学校18回、小学校61回、教育委員会主催公演・公文協など59回。</p> <p>作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り。</p> <p>&lt; 中学校・高校向け作品 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="587 1328 1106 1563"> <tr><td>ベニスの商人</td><td>667回</td></tr> <tr><td>アングル・トムの小屋の灯に</td><td>138回</td></tr> <tr><td>最後の一葉</td><td>119回</td></tr> <tr><td>チャーホフ先生こんにちは</td><td>62回</td></tr> <tr><td>それぞれの絆</td><td>14回</td></tr> <tr><td>昇らぬ朝日のあるものを</td><td>10回</td></tr> </table> <p>&lt; 小学校向け作品 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="587 1619 1106 1899"> <tr><td>天狗山のトロッ平</td><td>212回</td></tr> <tr><td>グリムのハンスと大悪魔</td><td>207回</td></tr> <tr><td>パパはマジシャン</td><td>134回</td></tr> <tr><td>秘密のロビンの大冒険</td><td>148回</td></tr> <tr><td>一休さん</td><td>251回</td></tr> <tr><td>角～いじめっ子姫の物語</td><td>259回</td></tr> <tr><td>絵本の扉</td><td>14回</td></tr> </table>	ベニスの商人	667回	アングル・トムの小屋の灯に	138回	最後の一葉	119回	チャーホフ先生こんにちは	62回	それぞれの絆	14回	昇らぬ朝日のあるものを	10回	天狗山のトロッ平	212回	グリムのハンスと大悪魔	207回	パパはマジシャン	134回	秘密のロビンの大冒険	148回	一休さん	251回	角～いじめっ子姫の物語	259回	絵本の扉	14回
ベニスの商人	667回																										
アングル・トムの小屋の灯に	138回																										
最後の一葉	119回																										
チャーホフ先生こんにちは	62回																										
それぞれの絆	14回																										
昇らぬ朝日のあるものを	10回																										
天狗山のトロッ平	212回																										
グリムのハンスと大悪魔	207回																										
パパはマジシャン	134回																										
秘密のロビンの大冒険	148回																										
一休さん	251回																										
角～いじめっ子姫の物語	259回																										
絵本の扉	14回																										
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>事前資料や字幕を作成したり、手話を依頼するなど、必要とされる視覚的・聴覚的様々な工夫を凝らして公演した経験がある。</p>																										

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	<b>DVD を提出します。</b>
		閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
		閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団 **芸優座**】

対象	小学生(低学年・中学年・ <b>高学年</b> )・ <b>中学生</b>		
企画名	<b>名作の世界をお芝居で楽しもう!</b>		
本公演演目	<p>ザ・ラスト リーフ 『<b>最後の一葉</b> - O.ヘンリー物語』 (途中休憩10分あり)</p> <p>原作 / 作曲 原作 : O.ヘンリー 脚 本 脚 本 : 平塚 仁郎 演出 / 振付 演出 : 村田 里絵</p> <p>公演時間(100分)</p>		
著作権	<input checked="" type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	<input type="radio"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p><b>あらすじ</b> <b>生き難い時代にあっても、たくましく生きる人々!</b></p> <p>短編の名手O.ヘンリーの4作を厳選し、オムニバスで綴ります。 見事なまでの「<b>どんでんがえし</b>」は、この作品の見所でもあります!</p> <p><b>第一幕 公園にて</b> (第一話)心と手 (第二話)愛の使者</p> <p>少年ボブは小遣い稼ぎに、旅支度の男の荷物持ちをするが、鞆が重くてへとへと…公園のベンチで一休みすることに。すると、そこへ通りがかる人達のドラマに引き込まれ…そもそも、その旅支度の男も、何やら大変な訳有りのようで…</p> <p><b>第二幕 ボブのアパート</b> (第三話)賢者の贈り物 (第四話)最後の一葉</p> <p>ボブのアパートには、貧しいながらも人生を謳歌するユニークな住人が大勢いた。仲睦まじい若夫婦デラとジム、病に倒れたジョンジーと同じ絵描き仲間達…その年のクリスマス、それぞれに、特別なプレゼントが用意されていた… ご存知、O.ヘンリーの名作世界が繰り上げられます。</p>		



**テーマについて** それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！

- ◎ **生きていく為に、本当に大切な物は何なのかをあらためて考えます**  
○. ヘンリーが見詰めていた、普通の人々の何気ないありふれた日常の中にこそある「**幸せ**」や「**希望**」を見つめます。
  - ◎ **人との絆、その絆の結び方を考えます**  
人間誰しも陥る危険性のある絶望や無力感…そこから自ら這い上がるとうとする時、**大きな支えと力になるものこそが人との絆**なのではないでしょうか。
- ☆ **自分自身より大切に思える誰か…あなたにとって、それは一体誰ですか？**

演目選択理由

<公演の目的に合わせての作品選定>

公演やワークショップを通じて、児童・生徒の創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒に「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。

- この作品は、演劇としての「**観る楽しさ**」と共に、たとえば原作に触れたり、作者について調べたりなど、**様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます**。また、ワークショップでは、この体験が、**文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みも**します。

<事業効果の向上を図るために>

**児童・生徒のみならず、保護者や地域の皆さんも楽しめる作品を選定しました。**

- 観劇後、みんなで考え、語り合おう…身近な人とすら、どう関わりを持てばよいかが難問となってしまった現代にあって、**誰かの為に生きる事、生きようとする事の尊さ**、そして、実はシンプルで美しいその姿を、あらためて見つめてほしい、そんな願いのもと、この作品は制作されました。子供から大人まで、観劇した人みんなで、**深く考えたり語りあえる作品**です。

<第三者の評価から>

公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「**児童青少年演劇地方巡回公演**」でも、どの作品も高い評価を得ています。平成 31 年度は、**中学・高校向け 5 作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定**しました。

- 初演以来、全国の中・高校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「**体育館を劇場に**」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った**美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかりと感じて頂けるもの**と信じます。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて

**俳優として共演**

**エキストラにさせません！**

予め生徒さん(先生でも可)7名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。勿論、学年・男女・経験は問いません。



基本の出演シーンは、

- 第一幕冒頭で登場する「街の子ども」兄弟(妹)として 2名
- 同 幕切れには「帰途を急ぐ男(女)」として 1名
- 第二幕『最後の一葉』のワンシーンで、主人公たちの隣人として 4 名までさらに、
- 同 舞台転換で、原作の朗読者として朗読で出演 数名
- 同 クリスマスキャロルを歌う聖歌隊として歌で出演 数名 など

簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、**自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。**単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま記念撮影をします。

(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)

### スタッフとして参加

**チャンスは「俳優さん」だけではありません！**

劇中の効果を高めるための「ツタの葉を落とす」「雪を降らせる」、開演前や幕間のアナウンスやタイムキーパーなど、「舞台監督助手」として舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。**舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだ**ということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。



カーテンコールのお稽古



ばらし作業の手伝い

### 終演後も……その他の体験

**お別れのその時まで……**

**舞台を一層身近に**感じてもらえるよう、上演後の**バックステージツアー**や、俳優達との**交流会**などが実施可能です。また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。

出演者	綾川志剛 鈴木弘子 川口勝也 池田文則 前澤まや 南 幸男 紺谷洋平 山際光次 北村光沙 江口つかさ 市来賢志 亜槍奈美 赤城美玲 井上愛理		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 14名 スタッフ: 3名 合計: 17名	機材等 運搬方法	積載量 3t ・ パン 車長 6.09m ・ 4.99m 台数 1台 ・ 2台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(4時間程度) <table border="1" data-bbox="389 591 1431 710"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7時</td> <td>7時～11時 /11時～12時</td> <td>13時～ 14時40分</td> <td>10分</td> <td>15時～ 16時30分</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table>						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	7時	7時～11時 /11時～12時	13時～ 14時40分	10分	15時～ 16時30分	17時
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
7時	7時～11時 /11時～12時	13時～ 14時40分	10分	15時～ 16時30分	17時													
児童・生徒の参加 可能人数	ワークショップ	第一部全校生徒・第二部7名から20名程度																
	本公演	50名～1000名																
ワークショップ 実施 及び 形態 内容	<p><b>&lt;当劇団のワークショップの目的&gt;</b></p> <p>児童・生徒の想像力・創造力を培う          児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る          将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう</p> <p><b>&lt;ワークショップの具体的なプラン&gt;</b></p> <p>① 鑑賞指導…… 全校生徒の皆さんを対象に(20分)          まずは、作品のテーマについて、舞台となる街の当時の風景や時代背景、作家の生涯についてなど、<b>プロジェクターでの美しい映像</b>を見ながら簡潔に説明を受けることで、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かに、また作品に対しても深い理解と感動が得られます。</p> <p>② 実技指導</p> <p>1) 全校生徒の皆さんを対象に(25分)          引き続き、俳優が日々続けている<b>発声・発音の練習</b>、<b>呼吸法</b>や<b>準備運動</b>などを一緒にやってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの間に入って行きますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。          さらに、生徒さんの<b>日常生活に役立つ演劇訓練</b>として、人前で上がらずに、自分のパフォーマンスに集中するための<b>「リラックス法」</b>や<b>「集中」</b>の訓練を紹介します。</p> <p>2) 共演する生徒さんを対象に(30分)          「お芝居のお稽古」のウォーミングアップとして、<b>コミュニケーションをとる事</b>の大切さ、<b>体一杯で表現することの面白さ</b>などを体験して頂くのが最大の目標です。「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等々、目的をはっきりさせ、意識的に、幾つかのインプロゲームを楽しみます。          続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>③ 共演の練習(60～90分)          いよいよ最後に、共演する生徒さんと<b>共演シーンのお稽古</b>をします。          事前に出演台本・楽譜・公演のDVD等お送りしますが、特に予習を</p>																	

	<p>して頂く必要はありません。ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードで稽古が始まります。</p> <p>本番前の<b>緊張</b>も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が<b>自信</b>をもって本番を迎えられるよう配慮します。</p> <p>まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明した後、役ごとに分かれて、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイデアを大切にしながら、その役について研究します。</p> <p>終わりに、<b>衣装合わせ(メイクは当日のみとなります)</b>をします。 (当日もリハーサルがあります。)</p> <p>「スタッフ」をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれて、舞台や大道具についての説明を聞いた後、「効果」の練習をします。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>◎<b>事前の鑑賞指導について</b></p> <p>わずかでも作品の背景を知ること、当日、<b>積極的で深い鑑賞</b>が可能となり、<b>より楽しめます</b>。また、そもそも舞台芸術が「<b>観客</b>」と<b>共に創造していくもの</b>であるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、<b>将来の良き「観客」</b>を生み育むと考え、豊かな時間となるよう工夫します。</p> <p>◎<b>とにかく、一緒に動いてみよう!</b></p> <p>共演を通じて、<b>舞台芸術が身近</b>になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解放し、自分を表現する事の喜びや、<b>他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜び</b>を経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと…その経験が<b>コミュニケーション能力の向上</b>につながると思います。</p> <p>◎<b>学校のニーズに対応します!</b></p> <p><b>発表会・文化祭・演劇クラブ</b>などの指導をしたり、演劇的なアプローチで授業での発表や朗読など様々な<b>学校の日常のシーン</b>において効果を上げる方法を体験します。</p>
<p>特別支援学校での実施 における工夫点</p>	<p>公演は変更なく行えます。聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。</p>
<p>実施可能時期 はB区分申請団体の み</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

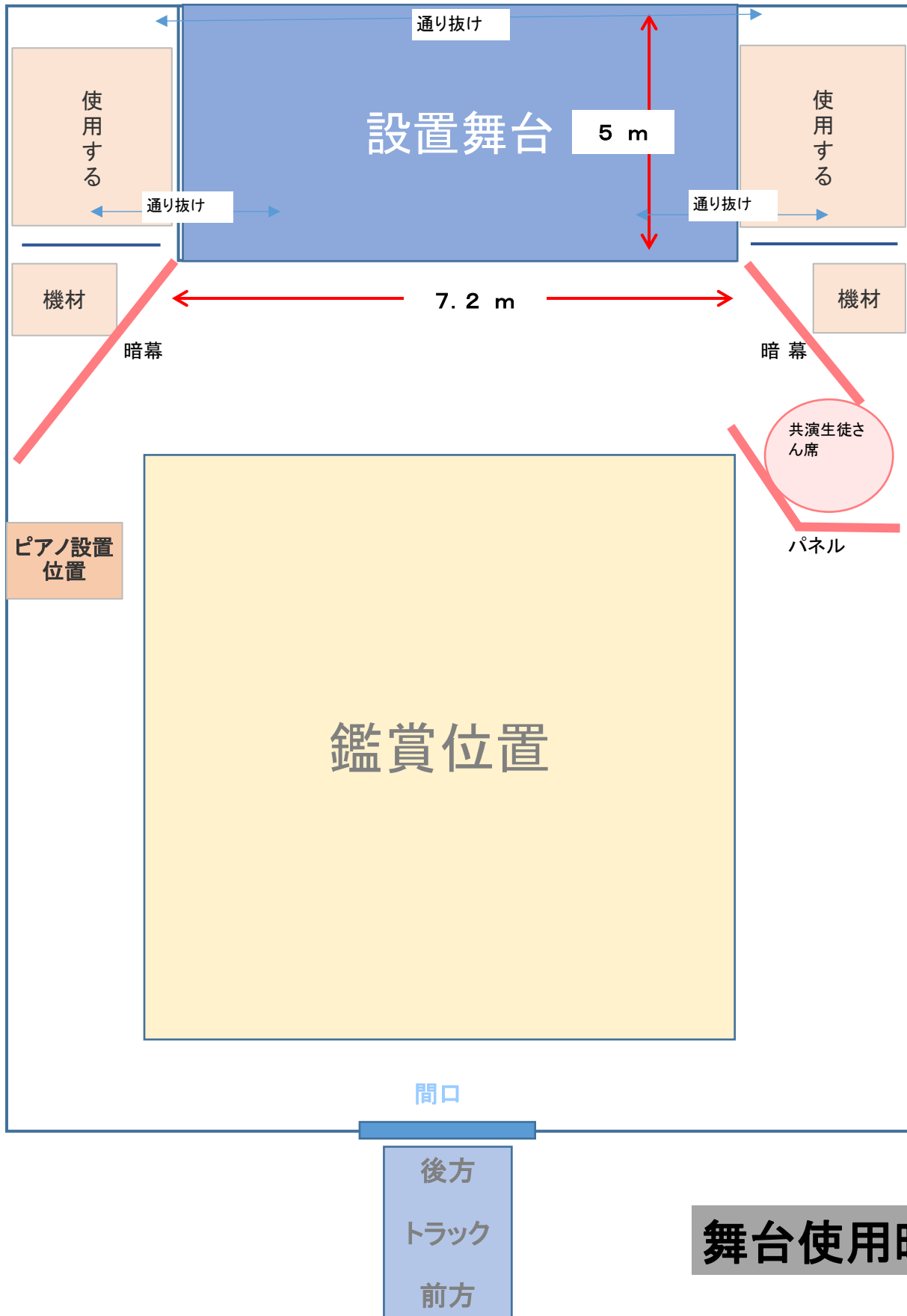
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F69	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	(株)劇団 芸優座			制作団体名	(株)劇団 芸優座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	水場が近く、普通教室以上の広さが望ましい。着替えの為、カーテンのある部屋を希望。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			3tトラック	1台	バン	2台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			3tトラック(大道具)バン(照明・音響機器)					
	不可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない、屋根のある経路を希望。					
		理由			大道具や照明・音響機器の搬入の為。					
		設置階の制限 *			問わない					
WSIについて	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m以上	高さ	2m以上			
WSIについて	可	参加可能人数			一部は全学年可能・二部は20名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			一部は45分程度・二部は90～120分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			フロアに座りきれば1000名も可					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7.2m	奥行	5m	高さ	4m	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	不可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態		
	可				緞帳 *	要	バトン *	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全に遮光しなくても可			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *	不要					
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量			75A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
不可	電源はステージから20m以内にあること									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

## 劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、「演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年は12作品のレパトリーを展開しています。

### 開催日程

開催日程	実施校名	地元主催者
6月11日(月)	福知山市立大江中学校	京都府教育委員会/福知山市教育委員会
6月12日(火)	綾部市立八田中学校	京都府教育委員会/綾部市教育委員会
9月18日(火)	滑川市立早月中学校	富山県教育委員会/滑川市教育委員会
10月15日(月)	珠洲市立三崎中学校	石川県/珠洲市教育委員会
10月16日(火)	氷見市立上庄小学校	富山県教育委員会/氷見市教育委員会
10月17日(水)	富山市立奥田中学校	富山県教育委員会/富山市教育委員会
10月18日(木)	富山市立小見小学校	富山県教育委員会/富山市教育委員会
10月19日(金)	上越市立高田西小学校	新潟県教育委員会
11月29日(木)	川北町立川北中学校	石川県/川北町教育委員会
11月30日(金)	勝山市立三室小学校	福井県/勝山市教育委員会
12月 3日(月)	舞鶴市立志楽中学校	京都府教育委員会/舞鶴市教育委員会
12月 4日(火)	綾部市立東綾中学校	京都府教育委員会/綾部市教育委員会
12月 5日(水)	京都市立周山中学校	京都市教育委員会
12月 6日(木)	向日市立西ノ岡中学校	京都府教育委員会/向日市教育委員会

### 知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

平成30年度

文化芸術による子供の育成事業

—巡回公演事業—

## 劇団 芸優座 公演

~O.ヘンリー物語~

# 最後の一片

脚本/平塚 仁郎 演出/村田 里絵



### 「文化芸術による子供の育成事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

 文化庁

～ O. ヘンリー物語～

# 最後の葉

(2幕2場)

原作 O・ヘンリー  
脚本 平塚 仁郎  
演出 村田 里絵

## 第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうへトへト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粹な身なりの青年と風采の上がない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がれていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて……



## (第二話「愛の使者」)

再び駅へ向かおうとすると、偶然アーノルドが三ヶ月前に捨てられたばかりの恋人が通りかかる。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは……

### 登場人物

#### 第一場 公園にて

第一話「心と手」 駅へ急ぐ兄弟たち/ボブ/アーノルド/イーストン/保安官  
第二話「愛の使者」 フェアチャイルド/リタ/エルジィ/通りがかりの勤め人

#### 第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」 ジム/デラ  
第四話「最後の葉」 スウディ/ジョンジー/ベアマン/フリッツ/医者  
看護婦/救護員/アパートの住人たち

## 第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢にしているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っており……

## (第四話「最後の葉」)

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える蔦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知って……



四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

## 「最後の葉 ～ O.ヘンリー物語～」

上演時間/100分 (休憩10分含む)

短編の名手といわれるO・ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4  
Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

劇団 芸優座

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじん はんしんのうがくはやしれんめい ちょうわかい		
制作団体名	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟 調和会(会社法人番号等 1200-05-017220)		
代表者職・氏名	理事長・守家紀之		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒543-0034 大阪府大阪市天王寺区松ヶ鼻町 6-18 最寄り駅(JR桃谷駅)		
電話番号	06-4981-2777 事務担当 090-6919-7588	F A X 番号	06-4981-2777
ふりがな	いっばんしゃだんほうじん はんしんのうがくはやしれんめい ちょうわかい		
公演団体名	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟 調和会(会社法人番号等 1200-05-017220)		
代表者職・氏名	理事長・守家紀之		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒543-0034 大阪府大阪市天王寺区松ヶ鼻町 6-18 最寄り駅(JR桃谷駅)		
制作団体 設立年月	平成 26 年 5 月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 守家紀之 理 事 村上訓義 山本哲也 中田弘美 監 事 清水多香雄	構成員人数:30人(平成 30 年 4 月 1 日現在) 加入条件: 阪神地区にて活動を行う能楽囃子方で、芸事上の後見人もしくは所属する流儀を代表する立場の者の推薦を得て、理事会の決議を経た上で、社員総会において社員総数の3分の2以上による承認を得た者	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	森山泰幸 090-6919-7588



経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	村上訓義
-------------------	-------	--------	------

制作団体沿革	昭和 39 年 1 月 任意団体 阪神能楽囃子連盟調和会 発足 平成 26 年 5 月 大阪府の認可を受け一般社団法人に移行
--------	---





学校等における 公演実績	過去 9 回 阪神間の能楽堂において自主公演「和のしらべ」を行う。 関西学院大学・甲南大学・湊川高校(定時制)の能楽部などで囃子の指導を行う。 所属会員が地元の小中学校にてワークショップや子供教室の講師を勤める。 池田市立五月山児童文化センター能楽クラブにて 12 年以上指導し、なお継続して指導中。 大阪府立東住吉高校芸能文化科にて20年以上能楽大倉流小鼓の講師を勤め、なお継続中。 平成30年2月 奈良私立すまいる保育園・奈良私立ネオポリス幼稚園にて「ひな祭り五人囃子講座」を園児対象に行う。
-----------------	---

特別支援学校に おける公演実績	
--------------------	--

参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 (一社)阪神能楽囃子連盟 調和会】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	耳で聞き、心で感じる能楽囃子～室町クインテット～		
本公演演目	オープニング囃子「早笛(はやふえ)」	3分	
	本日の公演について	5分	
	囃子の解説	10分	
	波を起こそう「波頭(なみがしら)」	10分	
	～みんなで起こそう大波小波！！～		
	太鼓の合奏稽古	10分	
原作/作曲	休憩	10分	
脚本	袴(かみしも)コレクション	8分	
演出/振付	太鼓の合奏		
	「舞働(まいばたらき)」に挑戦!	5分	
	船弁慶(ふなべんけい)の解説	4分	
	『船弁慶組曲』	30分	
	質疑応答・終わりの挨拶	5分	
			公演時間( 90 分)
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>●オープニング囃子「早笛(はやふえ)」 能『船弁慶』の後シテ(平知盛の怨霊)の登場などに用いられる出囃子です。 力強く、テンポの良い曲は子供たちを能の世界に引き込みます。</p> <p>●囃子の解説 能楽で用いられる四種類の楽器を紹介します。 ひな祭りの五人囃子のお話を皮切りにして、各々の楽器の特徴を丁寧に解説していきます。 また、囃子の大事な要素であるカケ声を生徒全員で挑戦します。</p> <p style="text-align: center;">4種類の楽器</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>笛</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小鼓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大鼓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>太鼓</p> </div> </div> <p>●波を起こそう「波頭(なみがしら)」</p>		

能『船弁慶』でのみ演奏され、情景描写の少ない能囃子の中では大変珍しい演奏形態となります。

義経一行の乗合せる舟に突如襲い掛かる大波を、またその大波が小波に収まる有様を表現したもので、その強弱の変化を小鼓と大鼓の演奏者のカケ声で遣り取りします。

今回は特別に小鼓と大鼓の演奏者が背中合わせに座り、更に子供たちの代表者の合図に合わせて大波小波と変化させて、会場に大海原を出現させます。

#### ●太鼓の合奏稽古

能『船弁慶』で演奏される「舞働(まいばたらき)」をお稽古します。

「舞働」は、平知盛の怨霊が義経一行に襲い掛からんとする迫力のある場面を表現した囃子事(器楽演奏部分)です。

手を太鼓の撥に、ヒザを太鼓に見立て、子供たち全員でお稽古します。

ワークショップ参加者は復習として参加し、本公演のみの参加者はカケ声や太鼓の撥捌きを体験します。

#### ●袴(かみしも)コレクション

能楽で正装の一つとして着用される袴を、ワークショップ参加者に作製してもらいます。

それとは別に、我々能楽師が着用する袴もクラスやグループ(子供たちの数に応じて)毎にデザインを相談し、作製してもらいます。作製された袴は、袴コレクションとして会場でお披露目します。

子供たちの数に応じてセレクションを行ない、我々がそれを着用して『船弁慶組曲』に臨みます。



オリジナル袴と特製の袴



特製の袴



袴セットで作製した袴



段ボール製の特製太鼓

#### ●太鼓の合奏

他の囃子演奏者も加わって、「舞働」のお稽古の成果を発表します。

子供たちの代表者(5名程)は舞台上上がり、ワークショップ終了後に自身で作製した袴と調和会特製の袴を着用し、段ボール製の特製太鼓で演奏します。

その特製太鼓は記念品として学校に寄贈します。

#### ●『船弁慶(ふなべんけい)』の解説

能の人気曲の一つである『船弁慶』を解説します。今回演奏される『船弁慶組曲』は謡(歌)と囃子のみです。

子供たちの想像力を喚起できるように、配布するパンフレットにはイラスト付き解説を加えるなどの工夫をします。

●『船弁慶組曲』

謡(歌)と囃子のみで演奏する『船弁慶組曲』を鑑賞して頂きます。

幼名・牛若丸として名高い源義経は、不仲となった兄・頼朝から逃れるため、尼崎・大物浦(だいもつのうら)から西国へ向けて出航するところです。そこへ都で別れた静御前(しずかごぜん)が義経を追い掛けてきます。危険な船旅となるので都へ帰るように促す義経に対し、別れを惜しむ静御前は別れの舞を舞います。

静御前と別れた義経は出航しますが、やがて嵐に遭います。そして義経が滅ぼした平家の亡霊たちが現れますが、その中の知盛の怨霊が一行に襲い掛かります。刀を抜いて戦う義経ですが、怨霊には通じません。山伏である武蔵坊弁慶が法力を唱え、五大明王を呼び出して、遂には怨霊を撃退します。

謡(歌)と囃子のみで『船弁慶』をドラマチックに表現するという、調和会ならではの演出を楽しんで頂きます。



『船弁慶』組曲

演目選択理由

『船弁慶組曲』

能楽は、室町時代に当時の様々な芸能を集大成させて生まれました。この時代の文化は日本文化の原点とも云われ、「侘び寂び」や「幽玄」と言い表されます。この文化の特徴は表現手法を出来る限りに簡素化するというもので、能楽もその手法を用いています。

謡(歌)と囃子のみで一曲を通して演奏することを番囃子と云いますが、一時間近くの演奏時間となりますので、囃子の技術の粋を集めた部分を抽出し、より楽しんで頂けるように編曲したものを『船弁慶組曲』と名付けました。

『船弁慶』のストーリーは分かりやすく、しかも魅力的な囃子事(器楽演奏部分)が沢山あります。本公演では『船弁慶』で演奏される「早笛」「波頭」「舞働」などを前もって個別に視聴、または体験しますので、子供たちが『船弁慶』のイメージをより膨らませることが期待できます。

現在はテレビやインターネットなどで映像化された媒体に接することがほとんどで、頭の中でイメージを作り上げることが少なくなりました。

『船弁慶組曲』を通して、子供たちが、義経と静御前との別れ、海が荒れる様子、怨霊が襲い掛かる場面などを心に思い描くことができ、想像力を高めるきっかけになると考えて、この組曲を選択しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

江戸時代には大名同士で袴の柄を競ったという話もありますので、袴キットをワークショップ参加者全員に配布して、子供たちにオリジナルの袴(上のみ)を作製して頂きます。

それとは別に、クラスやグループ毎に我々能楽師の着用する袴も作製して頂き、本公演の『船弁慶組曲』に備えます。

本公演参加の子供たちは『船弁慶』で演奏される「舞働」の合奏に挑戦しますが、まずは太鼓の「刻(きざみ)」という手組み(リズムパターン)を稽古します。最後の合奏ではプロの囃子演奏者(笛・小鼓・大鼓)も加わりますので、その力強い息遣いやカケ声を感じることができます。

	<p>また、その合奏では子供たちの代表者(5名程度)に舞台上がって頂き、自身で作製したオリジナルの袴を着用し、段ボール製の調和会特製太鼓で演奏をして頂きます。そして、本公演終了後には、その太鼓を記念品として学校にプレゼントします。</p>		
出演者	<p>シテ方 謡 山中雅志 今村哲朗          囃子方 笛 赤井要佑 小鼓 上田敦史 大鼓 辻雅之 太鼓 上田慎也          進行役 森山泰幸</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 7名          スタッフ: 1名          合計: 8名</p>	<p>機材等          運搬方法</p>	<p>積載量 t          車長 m          台数 台</p>

【公演団体名 (一社)阪神能楽囃子連盟 調和会】

<p>公演に当たっての会場条件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>																													
<p>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</p>	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1時間程度)</p> <p>午前の場合(3~4時間目)例</p> <table border="1" data-bbox="391 611 1434 730"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時40分</td> <td>8時45分~10時</td> <td>10時40分~12時20分</td> <td>10分</td> <td>12時30分~13時30分</td> <td>14時</td> </tr> </tbody> </table> <p>午後の場合(5~6時間目)</p> <table border="1" data-bbox="391 768 1434 887"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11時40分</td> <td>11時45分~13時</td> <td>13時40分~15時20分</td> <td>10分</td> <td>15時30分~16時30分</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時40分	8時45分~10時	10時40分~12時20分	10分	12時30分~13時30分	14時	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	11時40分	11時45分~13時	13時40分~15時20分	10分	15時30分~16時30分	17時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																									
8時40分	8時45分~10時	10時40分~12時20分	10分	12時30分~13時30分	14時																									
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																									
11時40分	11時45分~13時	13時40分~15時20分	10分	15時30分~16時30分	17時																									
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>120名程</p>																												
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>能狂言で使用される楽器を体験します。本公演で演奏する太鼓の合奏を中心に稽古します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング「早笛(はやふえ)」 2分</li> <li>・挨拶 能楽の紹介 10分</li> <li>・楽器の解説 15分</li> <li>・楽器体験(小鼓・大鼓) 30分</li> </ul> <p style="text-align: center;">休憩10分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓の稽古 15分</li> <li>・袴(かみしも)作製の説明 10分</li> <li>・本公演にむけて 8分</li> </ul> <p style="text-align: center;">合計90分</p>																													
<p>ワークショップ実施形態の意図</p>	<p>普段耳にすることの少ない能囃子の体験を中心にワークショップを行います。能楽で使用される4つの楽器(笛・小鼓・大鼓・太鼓)の演奏者4名と進行役1名の計5名で実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶 能楽の紹介                     <p>日本には「礼に始まり礼に終わる」という言葉があります。正座し、背筋を伸ばして、まずは挨拶を交わしてから、ワークショップを開始します。</p> <p>能は「謡(歌)」・「舞」を中心とした演劇であると同時に音楽劇でもあります。今回は器楽の「囃子」のお話を中心に、能の紹介を行います。</p> </li> <li>●楽器の解説</li> </ul>																													

	<p>4つの楽器の特徴や演奏方法を解説します。また、能囃子の演奏において欠かせないカケ声の解説と体験も行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●楽器体験(小鼓・大鼓) <p>小鼓、大鼓の少なくともどちらかを体験して頂き、小鼓の音を出す難しさや大鼓を打った時の手の痛さを実感して頂きます。</p> </li> <li>●太鼓の稽古 <p>本公演で演奏される『船弁慶』の「舞働」という囃子事(器楽演奏部分)を太鼓で経験して頂きます。 手を太鼓の撥に、ヒザを太鼓に見立てて、ワークショップ参加者全員で稽古をします。ワークショップ参加者は、本公演での合奏の中心的役割を担いますので、しっかりと稽古を行います。</p> </li> <li>●袴(かみしも)作成の解説 <p>江戸時代に武士の正装の一つであった袴は、現在も能楽公演で用いられています。 調和会特製の袴キット(上のみ)をワークショップ参加者に配布し、作製方法を解説します。 それとは別に、我々能楽師が着用する袴もクラス或いはグループ毎に作製して頂きます。 本公演ではその袴を披露し、我々が着用して演奏を行います。(子供たちの数によってはセレクションすることがあります。)</p> </li> <li>●本公演にむけて <p>ワークショップ参加者が本公演の合奏の中心的役割を担いますので、繰り返し稽古できるように稽古用DVDを配布します。 始まりと同様に挨拶をして、ワークショップを終了します。</p> </li> </ul>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>ワークショップでは囃子(器楽)の演奏と楽器体験を中心に行ないません。 本公演でも囃子(器楽)の解説部分を演奏中心に変更し、また「波頭」「船弁慶組曲」も聴覚的感性をより刺激するような内容に変更します。</p>
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

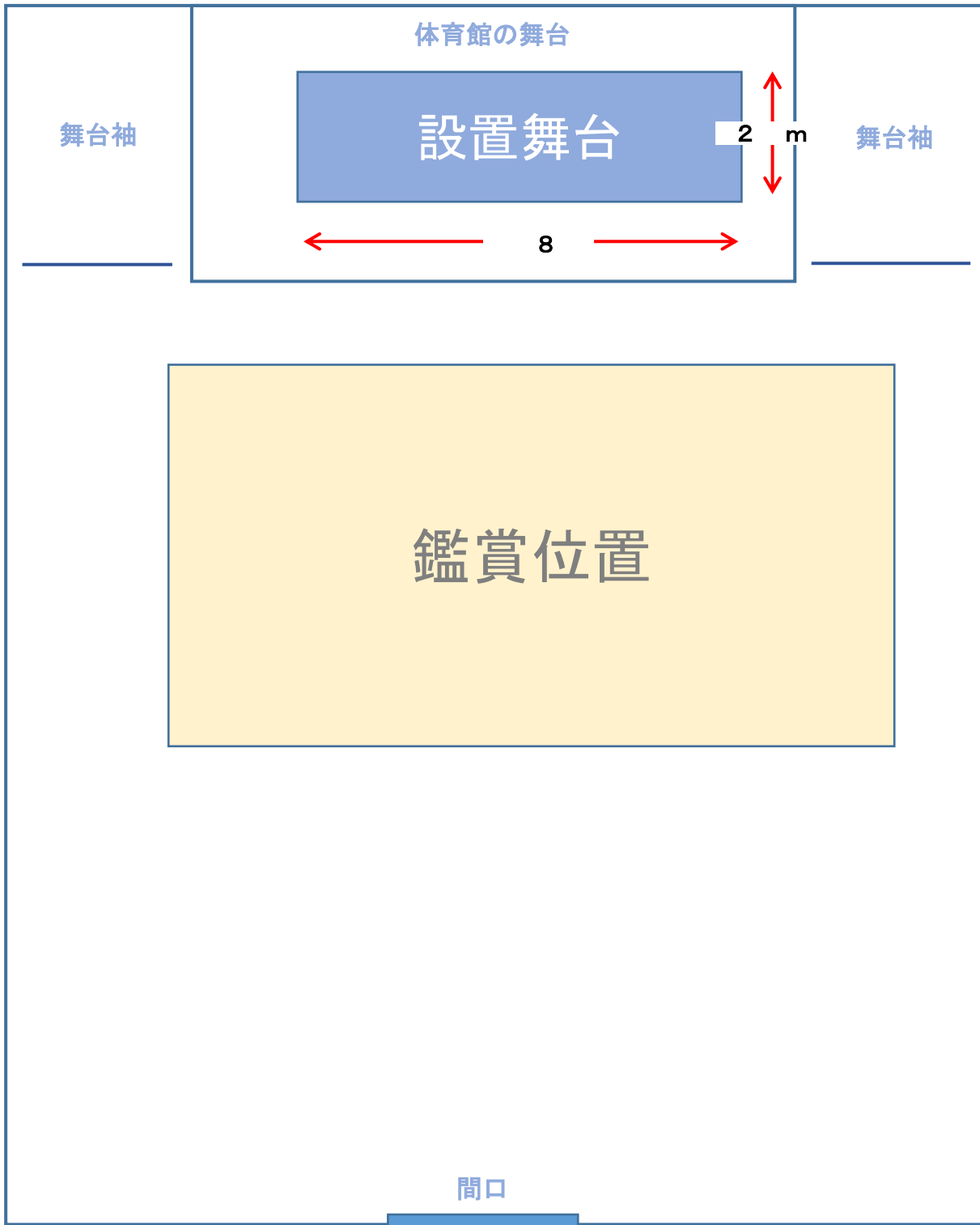
ID	F71	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟 調和会				制作団体名	一般社団法人 阪神能楽囃子連盟 調和会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。							
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			乗用車	2台						
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			乗用車1台							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能ならばお願い致します。							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない							
	—	搬入経路の最低条件										
	—	理由										
	—	設置階の制限 *										
WSについて	—	搬入間口について 単位:メートル		幅		高さ						
	可	参加可能人数			120名程度まで							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
—	所要時間の目安 単位:分			90分程度								
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			700名程度							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	2m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			出演者が待機できるスペース				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。					
	—			ピアノの事前調律 *								
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			1200W	家庭用コンセントがあれば大丈夫です。						
その他特記事項												



会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	特になし	高さ	特になし
搬入車両の横づけの要否		否		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, ○人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

○あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 ○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん いっしぎ ----- 一般社団法人 一条座		
代表者職・氏名	代表理事 田中恵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒187-0045 東京都小平市学園西町2-14-21-3F(最寄駅:西武多摩湖線 一橋学園駅)		
電話番号	042-201-5811	F A X 番号	042-403-0653
ふりがな 公演団体名	いとあやつりにんぎょういっしぎ ----- 糸あやつり人形一条座		
代表者職・氏名	代表・結城一条		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒187-0045 東京都小平市学園西町2-14-21-3F(最寄駅:西武多摩湖線 一橋学園駅)		
制作団体 設立年月	2016年 2月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 社員	田中恵 田中敬三 田中民子 田中敬太 真鍋貞樹	人形遣い:結城一条 結城民子 結城敬太 金子展尚 根岸まりな 制作・美術:田中めぐみ 加入条件:古典糸あやつり人形の技術を継承し、 それを発展させる意欲のある人間
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	結城民子
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	田中めぐみ

制作団体沿革	2003年 結城座から独立 2005年 劇団設立 公演事業開始 2006年 亀戸カメラホールにて旗揚げ古典公演上演 2007年 パリ日本文化会館にて「牡丹灯籠」上演 2011年 劇団設立7周年記念公演 2012年 株式会社「江戸糸あやつり人形座」設立 2014年 劇団設立10周年記念公演 2015年 株式会社「糸あやつり人形一糸座」と座名を改称 2015年 チェコ・スロバキアにて交流公演「釣女・鈴ヶ森・寿獅子」上演 イタリア・ボローニャ大学招聘公演「伝統と前衛」上演・ワークショップ 2016年 一般社団法人「一糸座」設立。株式会社から移行中。	
学校等における 公演実績	1973年～「戻り橋」演目 15公演～（独立以前からの公演も含む） 2005年 「東海道中膝栗毛/八百屋お七」 8公演 「三番叟/東海道中膝栗毛/田能久/八百屋お七」 3公演 2006年 「三番叟/蔦紅葉宇都谷峠/釣女」 5公演 「東海道中膝栗毛/田能久/八百屋お七」 3公演 2008年 「東海道中膝栗毛/八百屋お七」 5公演 「中国・北京公演/ 三番叟/寿獅子/証誠寺の狸ばやし」 3公演 「東海道中膝栗毛/八百屋お七」 3公演 2009年 「三番叟/鈴ヶ森/八百屋お七」 5公演 「ミニ古典+ワークショップ」 2公演 2010年 「鈴ヶ森/八百屋お七+ワークショップ」 3公演 「三番叟/橋弁慶/田能久/寿獅子」 15公演 2011年 「綱館/壺坂霊験記」 5公演 2014年 「釣女/鈴ヶ森/寿獅子」 7公演 2015年 「チェコ・スロバキア公演・釣女/鈴ヶ森 /三番叟」 3公演 「イタリア・ボローニャ大学/ 八百屋お七・三番叟・寿獅子」 1公演 「イタリア・パレルモ演劇祭/八百屋お七・三番叟・寿獅子」 2公演 2016年 「釣女/田能久/寿獅子」 15公演 「田能久/寿獅子」 8公演 「釣女/鈴ヶ森」 2公演 2017年 「田能久/八百屋お七」+ワークショップ 5公演 他多数・公演実績有	
特別支援学校に おける公演実績	2018年度巡回公演において、八王子東特別支援学校でワークショップ・本公演を実施。	
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 一部の演目○有 ・ 無 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 演目の一部㊦ ・ 無 ※公開資料有の場合 URL DVD 提出します。 ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード ID: PW: A の 提出が 困難な 場合 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 有 ・ 無 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード ID: PW:

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名

## 糸あやつり人形糸座】

対象	○小学生(○低学年・○中学年・○高学年) ・ ○中学生		
企画名	江戸の粹 糸あやつり人形浄瑠璃		
本公演演目	<p>■橋弁慶          ■伊達娘恋緋鹿子一八百屋お七火の見櫓の場一          ■東海道中膝栗毛(赤坂並木から卵塔場)          原作:十返舎一九 監修:結城一糸 脚色(生徒出演用):結城一糸          公演時間(約 80~85分)</p>		
原作/作曲 脚本 演出/振付			
著作権	○ 制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>◆橋弁慶・・・牛若丸は、京都五条大橋で毎夜通行人に腕試しを挑み、家来にすべき勇士を探しています。一方、比叡山の武蔵坊弁慶は、五条大橋で通行人を悩ます者の噂を聞き、これを従えようと、五条大橋にやってきます。そこで初めて弁慶と牛若丸は出会います。牛若丸が腕試しに弁慶の大薙刀の柄を蹴り上げると、怒った弁慶は薙刀を振りかざして切りかかりますが、牛若丸はヒラリヒラリと橋の欄干を飛び回り、とうとう打ち負かしてしまいます。弁慶はその若者が牛若丸と聞いて降参し、主従の契りを結びます。</p> <p>◆伊達娘恋緋鹿子・・・お七のいいなづけの吉三郎は主人が刀を盗まれてしまい、それを取り戻さないと切腹しなければならない。吉三郎を助けるため、お七は盗まれた刀を見つけ、その刀を吉三郎に届けようとするが木戸が閉まっけて届けることができない。お七は火事と偽って火の見櫓の太鼓を打ち、木戸を開けさせ刀を届けようとする。八百屋お七の名場面をご覧ください。(江戸時代は夜には町々の木戸が閉められ通行ができなくなっていました)</p> <p>◆東海道中膝栗毛・・・弥次郎兵衛と喜多八は、ヒョんな事から江戸を飛び出し、上方に向けて呑気な旅を続けている。そしてここは赤坂の宿はずれの並木道。日も暮れてあたりが薄暗くなってくると、二人は卵塔場(墓場)に迷い込んでしまう。臆病な二人は、そこにやって来た子どもを一目小僧と間違え殴ってしまうが、その子は酒を買いに行った子どもだったので大きな声で泣き出してしまふ。その声を聞きつけたおじいさんがやって来て、弥次郎兵衛の胸ぐらをつかみ、何故孫を殴ったと問い詰める。弥次郎兵衛、喜多八の道中記を、軽妙な江戸前のセリフと浄瑠璃でお楽しみ頂きます。</p>		
演目選択理由	<p>■橋弁慶・・・本格的な人形浄瑠璃を、小・中学生の皆さんに分かり易くまた楽しんで観て頂くために、良く知られている作品で、上演時間の比較的短い物を選びました。</p> <p>■伊達娘恋緋鹿子一八百屋お七火の見櫓の場一・・・八百屋お七では女形の人形の可愛らしさ、繊細さを、楽しむことができます。内容も分かり易く、人形の義太夫語り和三味線弾きも登場しより人形の舞台を楽しんで頂けると思います。</p> <p>■東海道中膝栗毛(赤坂並木から卵塔場)・・・江戸文学の代表的な十返舎一九の書いた東海道中膝栗毛。江戸庶民の代表ともいえる弥次郎兵衛と喜多八の軽妙洒脱で歯切れ良い道中記です。江戸で生まれ育った糸あやつり人形にもっとも相応しい作品です。</p>		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	数名の出演希望者に、「東海道中膝栗毛一赤坂並木から卵塔場一」演目の中で、村人の人形を遣って出演してもらいます。		
出演者	<p>○人形・・・結城一糸 結城民子 結城敬太 金子展尚 根岸まりな 他1名          ○義太夫・・・竹本綾之助 又は竹本越孝 竹本綾一          ○三味線・・・鶴澤三寿々 鶴澤津賀榮(義太夫・三味線は日によって出演者の変更があります)</p>		
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者: 10名          スタッフ: 6名          合計: 16名</p>	<p>機材等          運搬方法</p>	<p>積載量 2.5 t          車長 7 m          台数 1台</p>

## 【公演団体名 糸あやつり人形一糸座】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 時間程度 )					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30~11:30/11:30~12:00	13:30~15:00	10分	15:30~17:00	17:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	全員参加か、1学年(100名程度)のみでも対応致します。 (実際に体験できる人数は、50名程度。他は見学体験)				
	本公演	600名~700名くらいまで				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>1) 日本の伝統的糸あやつり人形の構造・歴史を学びます。 (人形を遣いながら分かりやすく解説します)</p> <p>2) 古典のセリフを全員で言う。腹の底から声を出すことで伝統芸能の発声を体験します。</p> <p>3) 人形を遣う基本となる足踏み、歩くという稽古を交代で行います。 日本に伝わる、糸で操る人形の複雑な仕組みを知ることができます。</p> <p>4) 公演演目「東海道中膝栗毛」に参加するための稽古を行います。 本番では3~4名に出演してもらいます。実際に人形を遣ってみて、本番への参加意欲を持ってもらえるよう、体験してもらいます。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	糸あやつり人形にとって、歩くという事が一番大切で難しい事です。まず人形が歩く事ができて、それから色々な表現ができます。初めて人形を遣う時は、上手く歩かせることができません。人形を歩かせるという事がどんなに大変な事かを体験してもらい、それを表現にまで高める事の大変さを知ってもらいます。ものには必ず始まりがあり、基本があります。歩くというその地道な努力が日本の芸能の土台を作り、その先にある伝統的な演技に繋がります。全ての芸能の始まりは、地味な反復練習から始まるという事を、ワークショップを体験する事で、少しでも知って頂きたいと思えます。					
特別支援学校での 実施における 工夫点	支援学校でも、セリフを言う人と、人形を遣う人を分けるという、古典的な手法で体験して頂くことが、良いのではないかと思います。 人形を遣う人、台詞のみを担当する人など、その人に合った、体験方法を選んで頂きたいと思えます。					
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

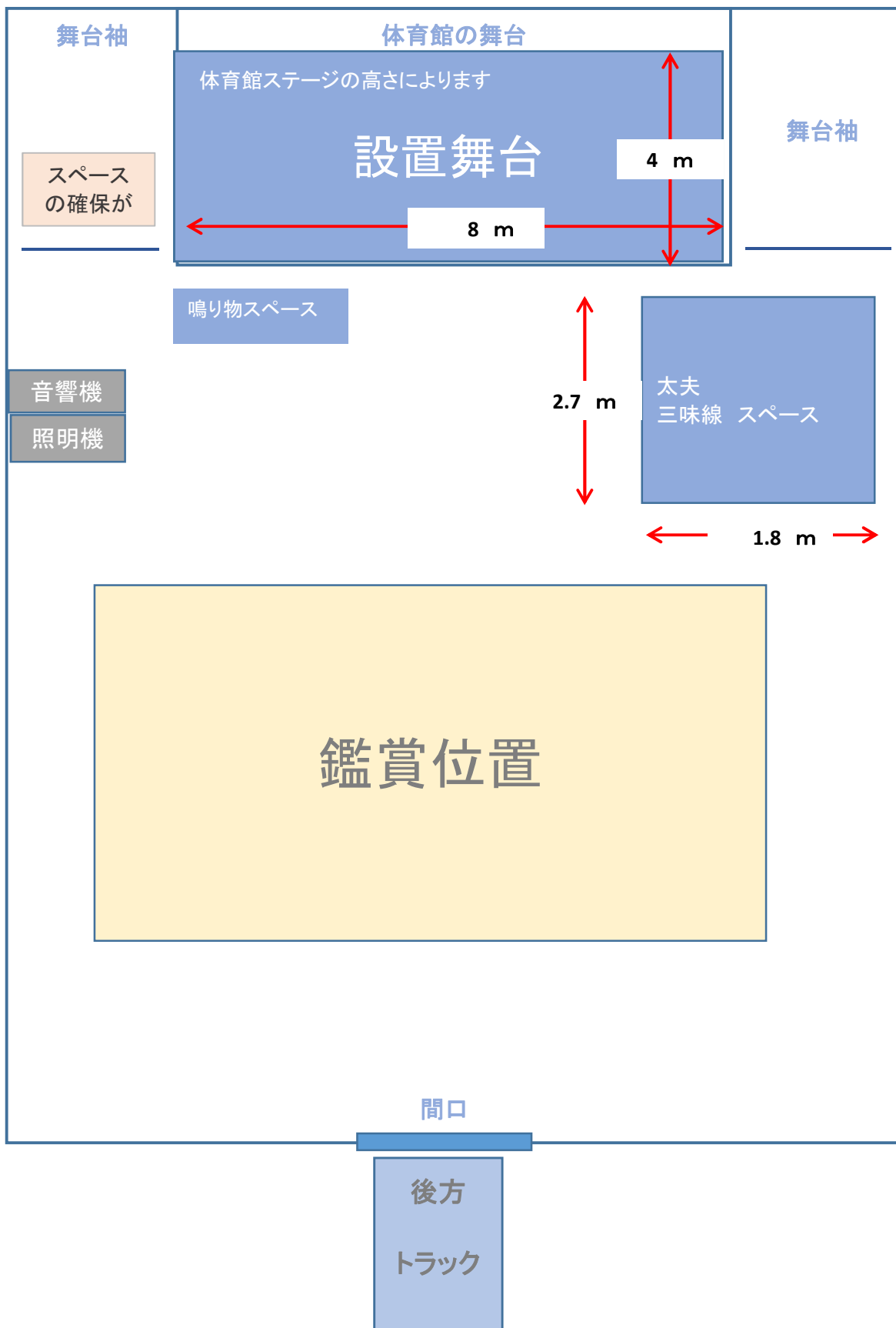
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F73	分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	糸あやつり人形 一糸座			制作団体名	一般社団法人 一糸座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	1部屋の場合は、16名が座れるスペースと、着替えのためのパーテーションが必要です。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさ*と台数 *			2トラック 1台	中型バス 1台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内					
	不可	搬入経路の最低条件			屋根がある経路が望ましい。 段差が少ない経路が望ましい。					
		理由			台車を使って重い照明・音響機材、おもり等を搬入するため					
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			全員参加か、1学年(100名程度)のみでも対応致します。 実際に体験できる人数は、50名程度。他は見学体験					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			80分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			600名～700名くらいまで					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			できるだけ袖に荷物がない状態		
	可				緞帳 *	不要		バトン *	要 あれば使用	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	—			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	ステージ上にピアノがあり、上演の支障になる場合のみ移動をお願いする事もあります。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	共演体験学年は中・高学年が望ましいです。								
	可	長机2台 パイプ椅子10脚程度をご用意いただきたいです。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【 <u>伝統芸能</u> 】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <u>邦楽</u> , 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしやあらうまぎ		
制作団体名	株式会社荒馬座		
代表者職・氏名	代表取締役 岡田仁		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒1740053 東京都板橋区清水町 81-4 都営地下鉄三田線「本蓮沼」駅徒歩5分／国際興業バス「本蓮沼駅」バス停徒歩5分		
電話番号	03-3962-5942	FAX番号	03-3962-5021
ふりがな	みんぞくかぶだん あらうまぎ		
公演団体名	民族歌舞団 荒馬座		
代表者職・氏名	代表 岡田仁		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒1740053 東京都板橋区清水町 81-4 都営地下鉄三田線「本蓮沼」駅徒歩5分		
制作団体 設立年月	1966年9月		
制作団体 組織	役職員 代表取締役 岡田仁 取締役 金沢真美		
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	岡 宏司
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	富澤恵理子



制作団体沿革	<p>1966年9月設立。1970年法人格取得。  1974年学校鑑賞教室公演開始。以降2018年まで30作品以上の民族芸能集作品を学校鑑賞教室・芸術鑑賞会で上演。  1978年以降、学校の先生を対象とした太鼓民舞教室開催。以来2018年まで延べ約40,000名の学校の先生・保育士を中心に太鼓民舞を普及する。  1986年 東京都新島村『式根島大漁祝い太鼓』作調  1987年 福島県会津若松市『会津鶴ヶ城太鼓』作調  1991年 長野県生坂村『生坂龍翔太鼓』作調  1992年 三重県いなべ市(旧大安町)『大安寿太鼓』作調  1993年 日中国交正常化二十周年イベント・中国北京公演  1993年 鑑賞教室用作品『どっこいふるさと生きている』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦指定  1995年 鑑賞教室用作品『風のまつり—夢は野を越え山越えて』厚生大臣賞受賞  1995年 埼玉県児玉郡神川町『神川豊穰ばやし』作調  1995年 ベトナム親善公演(ハノイ・北部山岳地帯17ステージ)  1999年 鑑賞教室用作品『母里のまつり森の詩』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定  2005年 鑑賞教室用作品『大地のまつり水のうた』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉審議会特別推薦指定  2006年 パラグアイ親善公演(日本人移民70周年記念)  2008年 ブラジル親善公演(日本人移民百周年記念)国際交流基金助成事業  2009年 鑑賞教室用作品『楽—明日への息吹』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定  2010年 鑑賞教室用作品『明日へのまつり』・『みんなでわっしょいふるさとの四季』厚労省中央児童福祉文化賞特別推薦指定</p>		
学校等における公演実績	<p>1974年より首都圏を中心に小学校鑑賞教室、中学校・高校の芸術鑑賞会を幅広くおこなう。1990年から2018年の間に首都圏の約1,700校(延べ数)の小学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。公演と併せて「体験学習」「伝統文化体験学習」としての太鼓民舞体験のワークショップも幅広く実施している。  中学校・高校の芸術鑑賞会における公演も、学校の体育館や地域のホールなどを会場として、さまざまな構成の民族芸能集作品を首都圏各地の学校で上演。同じく「体験学習」「伝統文化体験学習」としての太鼓民舞体験のワークショップ、また高校の沖縄修学旅行の事前学習としての「エイサー」体験ワークショップなども幅広く実施している。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>1990年から2018年の間に首都圏の約150校(延べ数)の特別支援学校の鑑賞教室でさまざまな構成の民族芸能集作品を上演。公演と併せて太鼓民舞体験のワークショップも幅広く実施している。先生対象の太鼓民舞の講習会もさまざまにおこなっている。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p><a href="http://www.araumaza.co.jp/2018new3.html#inori">http://www.araumaza.co.jp/2018new3.html#inori</a></p> <p>ID:なし PW:なし</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVD</p> <p>またはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名 民族歌舞団荒馬座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	祈りの祭—日本の芸能 北から南から		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	◆ソーラン節 ◆アイヌの唄と踊り エムシリムセ(剣の舞) サロルンリムセ(鶴の舞) クリムセ(弓の舞) トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』 ◆沖縄の唄と踊り 国頭サバクイ 豊年踊り～シーサー エイサー ◆ぶち合わせ太鼓 作・構成 宮河伸行		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	・日本各地に伝承・継承されている民俗芸能の数々を元に日本北から南までの芸能で構成した。 ・アイヌの特徴的な紋様の衣装や手拍子と唄で展開していく踊りなど、あまり触れる機会のないアイヌ文化を身近に感じ、その独特の精神性が感じられる構成で表現。 ・舞台と客席を同一フロアに設定し、より近く鑑賞してもらうことにより、舞台と客席との一体感を感じやすくしている。 ・子どもの代表が演技者と共演する場面はもちろん、かけ声・手拍子の応援や演者が客席内に入って行く場面を作るなど、子どもたちもさまざまな形で舞台に参加しながら、日本の伝統文化の楽しさや親しみやすさとその魅力を伝える。		
演目選択理由	普段あまり見たり聞いたりする機会の少ない日本各地の芸能を身近に体感し、それぞれの芸能に込められた願いや古より受け継がれてきた思いを伝え、人と人とが信頼し、協力しあうことの大事さや喜びを伝えたい。近年、人と人のつながり、コミュニケーションの重要性が話題になっているが、1人ではできないお囃子や踊りなど、力を合わせ、息を合わせて表現する姿を通して、子どもたち自身にも表現する楽しさを伝えたい。 また、アイヌ民族の人も動物も自然もともに生き、生きとし生けるものに感謝する精神や、働く喜びと協同する喜びを唄と踊りで明るく表現する沖縄の芸能など、各地で生まれ代々継承、発展してきた芸能の違いや持ち味を知る機会にもなり、子どもたちの日常の生活圏以外の地域の幅広い日本の文化や芸能を知る機会としたい。それがさらに、子どもたちが暮らす地域の文化に改めて興味、関心を持つきっかけとなり、将来地元の芸能や文化の担い手になっていくことも期待したい。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	・アイヌの踊りでは、踊りの拍子として児童の手拍子をもらい上演する。 ・獅子舞では厄除け、厄払いの願いを込めて、客席に入り児童の頭を噛んで廻り、交流する。 ・「ソーラン節」では、ワークショップで体験した和太鼓で代表の児童に登場してもらい、その太鼓の伴奏で演技者が「ソーラン節」を踊る。		
出演者	長島敏治(踊り、太鼓) 宮河伸行(踊り、太鼓) 中村志真(三線、唄、踊り) 関 いずみ(三味線、トンコリ、踊り) 三浦直美(篠笛、踊り、太鼓)		

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5名 <u>スタッフ: 名</u> 合計: 5名	機材等 運搬方法	積載量 中型ワゴン 車長 5m 8cm 台数 1台
----------------------	-------------------------------------	-------------	---------------------------------

## 【公演団体名 民族歌舞団 荒馬座】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ <input type="checkbox"/> ) 会場設営の所要時間( 3 時間程度 )					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9 時	9 時～12 時分	13 時～14 時	なし	14 時～16 時	16 時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	100 名程度				
	本公演	350 名程度				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	基本的には「和太鼓体験」。太鼓の基本、バチの持ち方・構え方から始めて、和太鼓の基本リズムの練習、笛や鉦と一緒にかんたんなお囃子まで楽しんで体験する。「ソーラン節」のかんたんな振りや唄に併せたお囃子の太鼓も体験する。 学校での太鼓や民舞の実践があれば要望に応じて内容の検討も可能。					
ワークショップ 実施形態の意図	和楽器の中でも比較的親しみやすいと思われる和太鼓を体験し、太鼓の基本リズムを経験することで、和のリズムのよさを再認識してもらおう。また太鼓を叩く身体、腰の落とし方などから和の身体技法についても、ある意味では新鮮な身体の動きや使い方として体験してもらおう。ソーラン節では伝統的な労働である漁の作業の疑似体験から、同じように和の身体技法を唄やリズムにのって体験してもらいたい。児童生徒がこうした体験からつかんだ踊りや太鼓の実感や楽しさを舞台の鑑賞につなげてより親しみ楽しめるものとしたい。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	特別支援学校での和太鼓や日本の踊りの実践も多く、ワークショップの機会も多いので、児童生徒の状況を考慮しつつ、楽しみながらおこなうことができる。					
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

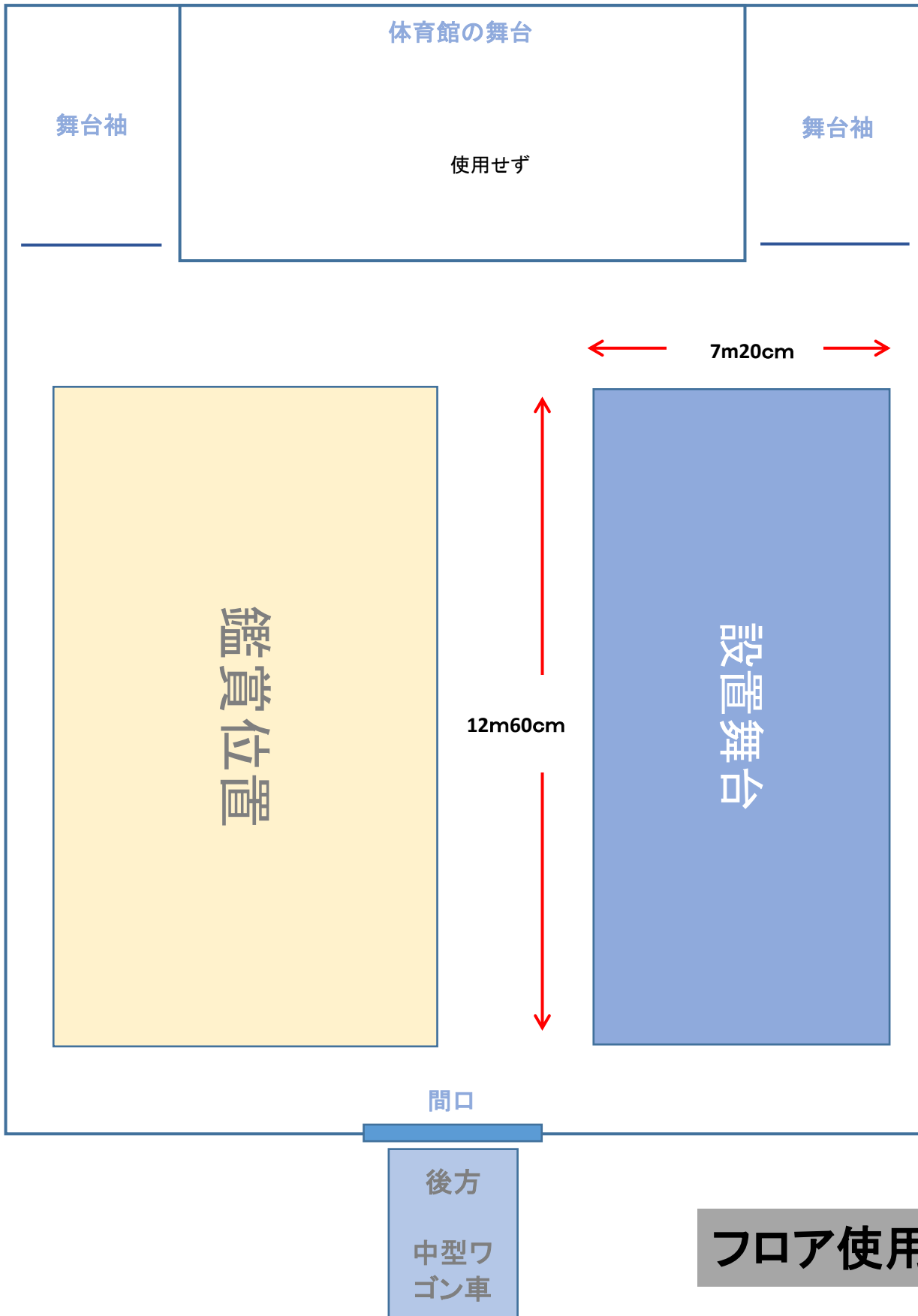
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F74	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	民族歌舞団 荒馬座				制作団体名	株式会社荒馬座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	食事を取る部屋として使用。体育館近く希望				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			雨天時は屋根のある経路が必要 ※晴天時は不要				
	—	理由			楽器等の搬入のため				
	—	設置階の制限 *			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			100名程度				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			50～90分程度 ※実施する人数・単位によって				
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			標準的な体育館の場合350名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12.6m	奥行	7.2m	高さ	7.2m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *				
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *			バトン *	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
舞台はフロアのみを使用します。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	雨天の場合に屋根付きの経路があれば可			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# いの 祭りの祭

## 日本の芸能 北から南から

〔演目〕

- ソーラン節 子どもたちの太鼓の伴奏で
- アイヌの唄と踊り エムシリムセ（剣の舞） サロルンリムセ（鶴の舞） クリムセ（弓の舞）  
トンコリ演奏・唄『ヤイカテカラ』
- 沖縄の唄と踊り 三線演奏・唄『ていんさぐの花』  
国頭サバクイ 豊年踊り～シーサー エイサー
- ぶち合わせ太鼓 ※変更することがあります

荒馬座

民族歌舞団

〒174-0053 東京都板橋区清水町81-4  
E-mail: [arauma@araumaza.co.jp](mailto:arauma@araumaza.co.jp)

TEL03-3962-5942 FAX03-3962-5942  
URL <http://www.araumaza.co.jp/>

## VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, <input checked="" type="radio"/> 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ ぼっくすよろづや		
制作団体名	株式会社BOX4628		
代表者職・氏名	代表取締役 滝沢直也		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-1-12-702 (東京メトロ有楽町線「要町駅」)		
電話番号	03-6907-0569	F A X 番号	03-6734-0567
ふりがな	おきなわでんとうくみおどり しーのかい		
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」		
代表者職・氏名	「子の会」代表 新垣俊道		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒902-2202 沖縄県宜野湾市普天間 2-4-8 LIGHTHOUSE 幸 2-C (路線バス「普天間市場」)		
制作団体 設立年月	2015年4月		
制作団体	役職員	団体構成員及び加入条件等	



組 織	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり 取締役:岡本雅人 役員:眞貝祐子 相談役:織田紘二 (独立行政法人日本芸術文化振興会 顧問) 実演家:10名  社会保険労務士:岡安邦彦 行政書士:廣木雅之 税理士:野上浩二郎  加入条件:各団体による規定	沖縄伝統組踊「子の会」 会長:新垣俊道 副会長:喜納吏一、玉城匠 会員:佐辺良和、川満香多、金城真次(立方) 仲村逸夫、玉城和樹、入嵩西諭(地謡)ほか  琉球舞踊「重踊流」 初代宗家:志田房子 (国指定重要無形文化財 「琉球舞踊」保持者、総合認定) 二世宗家:志田真木 会主:井口三恵子、素鍋美智子 師範:波照間永子、姫野多美  加入条件:各団体による規定	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	税理士 野上浩二郎

制作団体沿革	<p>2006年より任意団体として長唄、日本舞踊(花柳流)、琉球舞踊(重踊流)、人形浄瑠璃(八王子車人形)、狂言、落語、和楽器など伝統芸能を中心に企画公演、学校公演、イベント、実演家のリサイタルの舞台制作業務に携わる。</p> <p>2009年「琉球舞踊 安富祖流地謡 西江喜春・玉城正治二人会」舞台監督を務める</p> <p>2012年東京発伝統は感動実行委員会主催「三弦 海を越えて」舞台監督を務める</p> <p>2013年アーツカウンシル東京主催「神楽坂まち舞台」の運営管理を担当</p> <p>2014年東アジア文化都市横浜オープニング式典&amp;イベントに邦楽器グループを派遣</p> <p>2014年東アジア文化都市横浜共催事業「新七夕伝説、星ノ舟」の制作を担当</p> <p>2014年日本財団主催による「にっぽん文楽」のアシスタントプロデューサーを務める</p> <p>2014年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「滝夜叉姫」の狂言方、付け打を務める。</p> <p>2014年琉球舞踊、重踊流「志田房子・真木 二人会」舞台監督を務める</p> <p>2015年4月より株式会社 BOX4628として法人設立</p> <p>2015年 DANCE DANCE DANCE at YOKOHAMA 共済プログラム</p> <p>日本舞踊スペシャル公演「2015 横浜 J-dance ～未来へつなぐ日本のをどり～」の制作を担当</p> <p>2015年琉球舞踊、重踊流「真木の会」舞台監督を務める</p> <p>2015年日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2016年日本財団主催による「にっぽん文楽」浅草公演にてアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2016年「YOKOHAMA OTOMATSURI」共催プログラム</p> <p>「は・や・と スパニッシュコンサート」制作を担当</p> <p>2017年日本財団主催による「にっぽん文楽」伊勢公演にてアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2017年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「三国妖狐譚」の狂言方、付け打を務める。</p> <p>2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択</p> <p>沖縄伝統組踊「子の会」Cブロック公演実施</p> <p>2017年銀座花鏡主催、開幕公演「夏のにぎわい」特別公演「にっぽんの舞踊」制作を担当、観世能楽堂にて記念公演「志の輔らくご」を主催</p>
--------	--

	<p>2017年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる。  2018年日本財団主催による「にっぽん文楽」熊本公演にてアシスタントプロデューサーを務める。  2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択  沖縄伝統組踊「子の会」Aブロック公演実施  伝統芸能の普及と将来の実演家の育成に繋がる事業に力を注いでいる。</p>		
学校等における 公演実績	<p>2008年「組踊鑑賞会」4校 「パーフェクトパントマイム」1校  2009年「組踊鑑賞会」3校 「パーフェクトパントマイム」1校  2010年「組踊鑑賞会」3校 「パーフェクトパントマイム」1校  2011年「組踊鑑賞会」6校 「パーフェクトパントマイム」1校  2012年「組踊鑑賞会」5校 「パーフェクトパントマイム」1校  「狂言教室」4校 「落語教室」5校  2013年「組踊鑑賞会」3校 「パーフェクトパントマイム」1校  「狂言教室」6校 「落語教室」6校  2014年「組踊鑑賞会」17校 「パーフェクトパントマイム」1校  「狂言教室」4校 「落語教室」10校  2015年「組踊鑑賞会」20校 「パーフェクトパントマイム」1校  「狂言教室」5校 「落語教室」10校  2016年「組踊鑑賞会」20校 「パーフェクトパントマイム」1校 「狂言教室」3校  2017年「組踊鑑賞会」10校 「パーフェクトパントマイム」1校 「狂言教室」2校</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>2016年「組踊鑑賞会」1校</p>		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有
		※公開資料有の場合 URL	<b>第1部</b> <a href="https://youtu.be/_B-w84e2I-w">https://youtu.be/_B-w84e2I-w</a>  <b>第2部</b> <a href="https://youtu.be/mvhhMT9iOKo">https://youtu.be/mvhhMT9iOKo</a>
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名: おきなわでんとうくみおどり 沖繩伝統組踊「子の会」】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	おきなわ <small>でんとうげいのう</small> 伝統芸能「琉球舞踊 <small>りゅうきゅうぶよう</small> と組踊 <small>くみおどり</small> 」		
本公演演目	<p>本公演演目:琉球舞踊「四つ竹」と組踊「万歳敵討」</p> <p>プログラム</p> <p>第一部</p> <p>① 琉球舞踊 上演作品『四つ竹』女踊り ・振付・監修:志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)</p> <p>② 琉球舞踊『四つ竹』の解説とおはなし</p> <p>③ 『沖縄ことばクイズ』『楽器紹介』『沖縄音楽ミニコンサート』</p> <p>④ エイサー演舞発表コーナー『安里屋ユンタ』打って!唄って!踊ろう!</p> <p>第二部</p> <p>⑤ 組踊 上演作品のあらすじとおはなし</p> <p>⑥ 組踊 上演作品『万歳敵討』仇討物 (ユネスコ無形文化遺産)</p> <p>・作者:田里朝直</p> <p>・初演:1756年 尚穆王冊封の宴で上演</p> <p>・監修:宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」保持者(総合認定)</p>		
原作/作曲 脚本 演出/振付			
著作権	制作団体が 所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事 項が含まれる	無 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
	公演時間(90分)		

【第一部】

① 琉球舞踊上演作品 「四つ竹」 (女踊り)

★歌詞

♪ 打ち鳴らし 鳴らし

四つ竹は鳴らし

今日や御座出でて

遊ぶ嬉しや



(琉球舞踊上演シーン)

★見どころ

沖縄の空気を最初に感じていただく女踊り。  
竹で作られたカスタネットのような鳴り物、「四つ竹」を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。

衣装は沖縄を代表する伝統的な染色技法で染められた、艶やかな紅型衣装を

身にまとい、花笠を被り「四つ竹を打ち鳴らし鳴らして、今日はこのような

おめでたいお座敷で踊り遊ぶことの嬉しさよ」と優雅に華やかに踊ります。

琉球古典音楽「踊りこはでさ節」に乗せて、舞台下手（正面左側）から登場し、舞台中央で踊り、最後は再び下手（正面左側）に入って音楽が終わるとい  
う舞台上での動き方は、伝統芸能の能楽（能・狂言）と同じ動きで、こういった能楽などの要素も取り入れて構成されています。



紅型衣装



四つ竹



花笠

★ポイント

初めて観る、聞く沖縄の舞踊や音楽は、最初はなかなか目にも耳に入りにくいものです。そこでプロジェクターとスクリーンを利用して、タイトル、歌詞、読み方、現代語訳を映してより分かりやすく公演します。

★振付：志田房子

くにしていじゅうようむけいぶんかざい りゅうきゅうぶよう ほじしや そうごうにんてい  
国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者（総合認定）

ぶんかちやうげいじゆつさいしやうじゆしやう  
1986 年度文化庁芸術祭賞受賞

ぶんかちやうげいじゆつせんしやうもん ぶだいじんしやうじゆしやう  
1991 年度文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞

おきなわけん ぶんかこうろうしやうじゆしやう  
2004 年度沖縄県文化功労賞受賞

りゅうきゅうぶよう ちやうりゆうゆう しやうだいそうけ  
琉球舞踊 重踊流 初代宗家

② 琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

案内役（司会）が舞台上に登場し、沖縄の方言で自己紹介します。  
沖縄の方言でのあいさつを児童、生徒のみなさんと一緒に  
男の子は「ハイサイ」、女の子は「ハイタイ」と声を出してあいさつを  
します。

続いて今事業「文化芸術による子供の育成事業」の趣旨をお話しします。

次にスクリーンに日本地図を写して、沖縄県の所在地と現在公演が行われている地域との距離などを確認してもらい、現在の沖縄県の様子や芸能の歴史などについてお話しします。

そして最初に鑑賞していただいた琉球舞踊「四つ竹」の説明をお話しします。



（舞台背景となる紅型幕）

③ 「沖縄ことばクイズ」と「沖縄音楽ミニコンサート」

「沖縄ことばクイズ」では、普段なじみのない沖縄の方言をスクリーンに文字を映して、案内役がクイズ形式で進めます。

また児童、生徒のみなさんから地域の方言なども聞き、お互いに相手の文化を理解することを通して、コミュニケーションを図りながら、言葉の大切さをお話しします。

(例)



(スクリーンに文字を映します)

「沖縄音楽ミニコンサート」では、演奏で使われている各楽器の紹介と音色を聴いてもらいます。

沖縄の芸能には欠かすことのできない音楽、その音楽を演奏する方たちを、  
じうてー  
地謡と呼びます。

そして地謡の演奏による「琉球古典音楽」、<sup>りゅうきゅうこてんおんがく</sup>「沖縄の民謡曲」、<sup>みんよう</sup>「現代音楽」の各ジャンルから1曲ずつ演奏します。



(地謡の演奏シーン)

### ★見どころ

沖縄音楽の演奏に使われる主な楽器は①三線、<sup>さんしん</sup>②笛、<sup>ふえ</sup>③胡弓、<sup>こきゅう</sup>④箏、<sup>こと</sup>⑤太鼓、<sup>たいこ</sup>です。

各楽器をスクリーンに映して、<sup>そざい</sup>素材や<sup>こうぞう</sup>構造、使い方を紹介し、一つ一つの音色をじっくり聞いてもらいます。

沖縄音楽の大きな特徴は、<sup>さんしん</sup>三線の演奏者が唄も担当することです。

他の伝統芸能、能楽(能・狂言)では地謡、歌舞伎では長唄は唄方、

<sup>ときわづ</sup>常磐津、<sup>きよもと</sup>清元、<sup>ぎだゆう</sup>義太夫は<sup>じょうりがた</sup>浄瑠璃方と分かれていて楽器の演奏をしながら唄ったり語ったりすることはありません。



① 線



② 笛



③ 胡弓



④ 箏



⑤ 太鼓

(スクリーンに楽器を映します)

### ★ポイント

沖縄ことばあそびでは、沖縄の方言で身近な言葉をスクリーンに映して、クイズ形式で沖縄の方言に親んでもらいます。

つづいてミニコンサートでは琉球古典音楽<sup>りゅうきゅうこてんおんがく</sup>、沖縄民謡<sup>みんよう</sup>、現代曲と演奏し、聞き比べてもらいます。

### ④ エイサー演舞発表コーナー

『安里屋ユンタ』<sup>あさとや</sup> 打って！唄って！踊ろう！

ワークショップで行った安里屋ユンタの曲を、地謡<sup>じうてー</sup>の生演奏に合わせて、代表児童、生徒以外のみなさんで唄います。

この間に代表児童、生徒のみなさんは舞台袖で、衣装を着けて、パーランクーを持って準備しておきます。

準備が整ったら地謡の演奏に合わせて代表児童、生徒が舞台正面に入場します。

代表児童、生徒には、沖縄の方言でエイサーの演舞<sup>えんぶ</sup>を始める前の紹介をしてももらいます。

いよいよ演舞発表です。地謡<sup>じうてー</sup>の演奏に合わせてパーランクー（片方に皮のはった太鼓）を、使って代表の児童、生徒さんたちは、本格的なエイサーファッションの打掛<sup>うちかけ</sup>、帯<sup>おび</sup>を締めて前に出て演舞<sup>えんぶ</sup>を行い、会場が一体となる雰囲気を作り出します。

スクリーンには『安里屋ユンタ』の歌詞を映します。



(パーランクー)



(衣装となる打掛と帯)



(演舞の風景)

### ★歌詞

♪サー 君は野中の<sup>のなか</sup>茨<sup>いばら</sup>の花か サーユイユイ (お囃子)

暮れて帰れば ヤレホンニ 引き止める  
マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)

♪サー 沖縄良いとこ 一度はめんそーれー サーユイユイ (お囃子)

<sup>はるなつあきふゆ</sup>春夏秋冬 <sup>みどり</sup>緑<sup>しま</sup>の島よ  
マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)

### ★見どころとポイント

ワークショップで児童、生徒全員で練習した、お囃子を地謡の生演奏と代表の児童、生徒の演舞と合わせる。

### ★安里屋ユンタについて

沖縄民謡で歌詞の意味は琉球王国時代の<sup>りゅうきゅうおうこくじだい</sup>竹富島<sup>たけとみじま</sup>に実在した<sup>ぼっせい</sup>絶世の美女と、

<sup>あさとや</sup>安里屋クヤマと<sup>おうふ</sup>王府より<sup>やえやま</sup>八重山に<sup>はげん</sup>派遣されクヤマに<sup>ひとめぼ</sup>一目惚れした<sup>みざししゅ</sup>目差主

(<sup>かきゅうやくにん</sup>下級役人)のやり取りを<sup>おもしろ</sup>面白おかしく<sup>えが</sup>描いている作品です。



## ★エイサーについて

1603年から1606年にかけて当時の琉球王の向寧王の知遇を得た浄土宗の

「袋中上人」が仏典を踊りながら唱える“念仏踊り”を伝え、沖縄独自の仏典踊りの形態であるエイサーへと発展したとされています。また、500年以上前の「李朝実録」（1479年）のなかに当時の那覇の記録として残っており、そのころが始まりだという説もあります。

## 【第二部】

### ⑤ 組踊の観かた、上演作品のあらすじとおはなし

組踊の鑑賞のポイント、上演作品「万歳敵討」のあらすじ、見どころをお話します。

### ⑥ 組踊上演作品「万歳敵討」（仇討物）

#### ★あらすじ

むかし、首里に高平良御鎖という鎖之側の位にのぼった、とても傲慢な人いました。

高平良御鎖は大謝名の比屋という人が飼っていた、よく走る立派な名馬を欲しがっていました。

高平良御鎖はその思いを大謝名の比屋に相談して譲ってくれるようにと頼みましたが、断られたことを恨み、大謝名の比屋を殺してしまいます。

殺された大謝名の比屋には、男の2人兄弟がいました。

長男の名は謝名の子、次男の名は慶雲と言いました。

父を殺された二人の兄弟は、旅芸人に姿を変えて、仇討ちの機会を狙いました。さて最後はどのようなのでしょうか。

#### ★見どころ

作品の終盤、敵意を剥き出しにして踊る謝名兄弟の息の合った舞踊、それを

必死にかわそうとする高平良御鎖、いよいよ謝名兄弟が刀を抜き高平良御鎖

に襲い掛かる緊迫したシーンです。



(組踊り上演シーン)

### ★ポイント

字幕的役割として、プロジェクターとスクリーンを利用して全てのセリフを映して物語を分かりやすく上演します。

組踊の『万歳敵討』は、沖縄に伝わる芸能の要素が全て入っている作品です。

要素とは[1]お芝居、[2]音楽、[3]舞踊（踊り）です。

[1]お芝居：演技、セリフ、衣裳、所作（動き方）など特徴のある

演出があります

[2]音楽：琉球音楽で使用される楽器、謡（節）なども特徴的です

[3]舞踊：組踊の作品の基本となり、役柄を演じ分ける為に必須の要素です

### ★監修：宮城能鳳

くにしていじゅうようむけいぶんかざい くみおどり  
国指定重要無形文化財「組踊」保持者（総合認定）

おきなわけんぶんかこうろうしょうじゅしょう  
平成16年度沖縄県文化功労賞受賞

じょくんきょくじつしょうじゅしょう  
平成21年度叙勲旭日小綬章

### 演目選択理由

上演演目は、沖縄の伝統芸能（琉球芸能）の中から、

りゅうきゅうぶよう よつだけ くみおどり まんざいてきうち  
琉球舞踊『四つ竹』と組踊の『万歳敵討』です。

りゅうきゅうぶよう  
琉球舞踊は、18世紀から19世紀中期にかけて、琉球王国で大成した古典舞踊と、雑踊に大別されます。

古典舞踊の中心は「女踊」で、足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法があります。

中でも、今回の上演作品「四つ竹」は女踊の名作であります。

くにしていじゅうようむけいぶんかざい りゅうきゅうぶよう ほじしや ちょうようりゅうそうけ しだふさこ  
また国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者の重踊流宗家、志田房子師に

監修を頂き、舞踊家として重<sup>ちやうようりゆう</sup>踊<sup>しだまき</sup>流二世宗家の志田真木師の出演による芸術性の高い作品をお送り致します

組踊は 1429 年に琉球王国が成立した後、1719 年に琉球王府の踊り奉行であった玉<sup>たまぐすくちやうくん</sup>城<sup>かみがた</sup>朝<sup>あさ</sup>薫<sup>かみかた</sup>が能楽、歌舞伎、上方の芸能を見聞きし、それらを参考にして琉球

の歴史や故事、説話を取り入れて歌舞劇「組踊」を創り出しました。

その歌舞劇「組踊」は唱え、音楽、踊りの 3 つの要素から構成されています。

公演のプログラムは舞踊→音楽→芝居の順でお送りし、観て、聞いて、感じてもらう流れによって児童、生徒たちの理解力を深め、『万歳敵討』の作品内容を想像できるよう、大変分かりやすくなっています。

また国指定重要無形文化財「組踊」保持者の宮城能鳳師<sup>みやぎのうほう</sup>に監修を頂き、大変完成度の高い作品でお送り致します。

今公演の上演演目、琉球舞踊『四つ竹』と組踊の『万歳敵討』は児童、生徒、先生方が、なかなか鑑賞する機会の数少ない作品の 1 つです。その理由は公演にあたり多くの費用が掛かることに加え、琉球舞踊、組踊は現在、東京都の国立劇場と沖縄県の国立劇場おきなわに行かなければ鑑賞する機会を得ることが、なかなか出来ないものだからです。

今公演を通して、日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることが出来ると同時に、感性や豊かな心、創造性を育むことが出来ると考えております。また、グローバル社会の現在、自国の文化を知ることが大切と考えます。

さらに、この機会に琉球舞踊や組踊を初めて観たり聴いたりすることで、琉球芸能に興味関心を持つきっかけとなり、将来の芸術家の育成の一助になると考えました。

今回公演される沖縄伝統芸能「組踊」は平成 22 年 11 月、国際連合教育科学文化機関ユネスコの無形文化遺産に登録されています。

沖縄の古典芸能の 2 つの大きな柱である、「琉球舞踊」と「組踊」、そして児童、生徒の参加、体験コーナーで行われる民族芸能の「エイサー」この古典芸能と民族芸能を取り入れた公演内容は沖縄県外の多くの児童、生徒、ご家族、学校関係者の方々に大変貴重な知識と経験をお伝えすることの出来る作品であることから本公演の演目に選択致しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

④ エイサー演舞発表コーナー  
『安里屋<sup>あさどや</sup>ユンタ』打って！唄って！踊ろう！

ワークショップで行った安里屋ユンタの曲を、地謡<sup>じうてー</sup>の生演奏に合わせて、代表児童、生徒以外のみなさんと唄います。

この間に代表児童、生徒みなさんは舞台袖で、衣装を着けて、パーランクーを持って準備しておきます。  
準備が整ったら、地謡の演奏に合わせて代表児童、生徒が舞台正面に入場します。

代表児童、生徒による、沖縄の方言でエイサーの演舞<sup>えんぶ</sup>を始める前の紹介をします。


いよいよ演舞発表です。地謡<sup>じうてー</sup>の演奏に合わせてパーランクー（片方に皮のはった太鼓）を、使って代表の児童、生徒さんたちは、本格的なエイサーファッションの打掛<sup>うちかけ</sup>、帯<sup>おび</sup>を締めて前に出て演舞<sup>えんぶ</sup>を行い、会場が一体となる雰囲気を作り出します。

スクリーンには『安里屋ユンタ』の歌詞を映します。



<p>出 演 者</p>	<p>組踊役者（9名）：佐辺良和、川満香多、金城真次、 玉城匠、上原崇弘、知花令磨、ほか</p> <p>舞踊家（2名）：志田真木（琉球舞踊 重踊流二世宗家）ほか流派から1名</p> <p>地謡名（6名）：新垣俊道、玉城和樹、入嵩西諭、 池間北斗、喜納吏一、大城健太郎 ほか</p> <p>案内役（1名）：玉城匠、上原信次 ほか</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出 演 者：18名 ス タ ッ フ：6名 合 計：24名</p>	<p>機 材 等 運 搬 方 法</p>	<p>積 載 量：2t 車 長：6m 台 数：1台</p>

【公演団体名、<sup>おきなおでんとうくみおどり</sup> 沖縄伝統組踊「子の会」<sup>しーのかい</sup>】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 <b>無</b> ) 会場設営の所要時間(120分程度) <table border="1" data-bbox="391 611 1433 768"> <thead> <tr> <th data-bbox="391 611 531 685">到着</th> <th data-bbox="531 611 778 685">仕込み リハーサル</th> <th data-bbox="778 611 986 685">本公演</th> <th data-bbox="986 611 1098 685">内休憩</th> <th data-bbox="1098 611 1300 685">撤去</th> <th data-bbox="1300 611 1433 685">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="391 685 531 768">8:50</td> <td data-bbox="531 685 778 768">9:00~11:00 11:00~12:00</td> <td data-bbox="778 685 986 768">13:30~15:00</td> <td data-bbox="986 685 1098 768">10分</td> <td data-bbox="1098 685 1300 768">15:10~ 15:50</td> <td data-bbox="1300 685 1433 768">16:00</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	8:50	9:00~11:00 11:00~12:00	13:30~15:00	10分	15:10~ 15:50	16:00
到着	仕込み リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
8:50	9:00~11:00 11:00~12:00	13:30~15:00	10分	15:10~ 15:50	16:00													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	500名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	本公演	500名																
	<p>『観て！聞いて！触って！動いて！体験しよう』をキーワードに行います。学校の授業の2時限の時間を利用いたします。</p> <p>《1時限目》 全児童、全生徒対象に本公演で上演される「琉球舞踊」と「組踊」についてのお話と実演と体験を行います。また「エイサー」のお話と実演と体験を行います。近年では運動会などで演じられることも増え、だいぶ<sup>みぢか</sup>身近になったエイサーの由来もきちんとお話します。</p> <p>沖縄県の伝統芸能「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」の3本の芸能をしっかりと体験し、知ってもらうことが目的です。</p> <p>【琉球舞踊の実演】 特徴である<sup>ておど</sup>手踊りを体験してもらいます。</p> <p>「<sup>おが</sup>拌み手」「こねり手」「<sup>かえ</sup>返し手」の3種類の手の使い方を続けて行います。</p>  <p>《手踊りの風景》 【組踊の実演】組踊の特徴的な座り方を男性と女性の座り方の両方を体験してもらいます。</p>																	



《男性の座り方》



《女性の座り方》

【楽器紹介】三線の構造、呼び方、素材についてお話しします。また演奏を聴いてもらいます。

【お囃子の練習】

三線の演奏による沖縄民謡『安里屋ユンタ』のお囃子<sup>あさとや</sup>で声を出してもらいます。<sup>はやし</sup>

※歌詞の下線の部分

★歌詞

♪サー 君は野中の<sup>のなか</sup>茨<sup>いばら</sup>の花か サーユイユイ (お囃子)

暮れて帰れば ヤレホンニ 引き止める

マタハーリヌ チンダラ カヌシヤマヨ (お囃子)

♪サー 沖縄良いとこ 一度はめんそーれー サーユイユイ (お囃子)

はるなつあきふゆ<sup>はるなつあきふゆ</sup> みどり<sup>みどり</sup> しま<sup>しま</sup>  
春夏秋冬 緑の島よ

マタハーリヌ チンダラ カヌシヤマヨ (お囃子)



・【パーランクーを持ってエイサー体験】

最初に指導者が三線の演奏と唄に合わせて、エイサーの振りを実演し、児童、生徒の皆さんに見てもらいます。

次に皆さんにパーランクーを配って、三線の演奏と唄に合わせて、振りをお一つ一つ丁寧に指導します。

パーランクーを持ってのエイサー体験が全体に出来るように致します。そこで1時限目が終りとなります。

《2 時限目》

【代表者による本公演のための演舞発表の練習】

本公演当日は地謡じうたいの生演奏に合わせて演舞を行います。

代表者全員にパーランクーを配り、改めて振付をもう一度確認しながら、自分たちで演舞が出来るように練習します。完成度が高まったら演舞の練習は終わりとなります。(本公演の際は代表者のみの演舞発表になります)

演舞の練習が終わったら、次は挨拶の練習です。発表の際には、「はじめの挨拶」と「終わりの感想」を、沖縄の方言で言っいただきます。はじめの挨拶の言葉を考え、それを沖縄の方言で言う練習をします。終わりの感想は、本公演までに考えておいていただきます。

これで2時限目が終りになります。



- ★ワークショップの前に安里屋ユンタのCDと歌詞をお渡しいたします。ワークショップ当日までに校内放送などでご使用いただきます。

ワークショップ実施形態の意図

近年、民俗芸能のエイサーは沖縄県内にとどまらず、海外、日本本土でのサークル活動や小学校での運動会でも演舞がされており、沖縄の芸能への入口としてエイサーを取り入れることで、沖縄の伝統芸能の周知や理解に繋げることが出来るでしょう。

実体験を通して沖縄の伝統芸能への関心、興味をより一層深めることを目的として、実演家が実際に講師を務めることで、その魅力をより身近に感じてもらえることでしょう。

また「安里屋ユンタ」の原曲は八重山竹富島に伝わる曲で、交互唱で歌われるところが特徴です。「安里屋ユンタ」を選曲することで、地謡と踊り手の交互唱ができ、それにより踊りやリズムだけではなく、歌や掛け声などの体験もできます。

全体を通して、沖縄の芸能の要素を幅広く体験することができます。また、民俗芸能でもあるエイサーを知ることで、日本本土の民俗性や各地域の伝統芸能との違いを知るきっかけとなるでしょう。

特別支援学校での実施における工夫点

ご担当の先生方との連絡を密にとり、普段どのように行事などを行っているかなど詳しく教えて頂き、多くの児童・生徒さんが参加出来るよう工夫致します。

また共演、参加の形態も、ご無理の無いように可能な限り参加していただき、よく相談して進めさせていただきます。

上演中も自由に声を発したり、危険のない限り動いていただいても問題ござい

	<p>ません。 案内役の言葉の使い方、組踊「万歳敵討」の字幕の表記など、言葉一つ一つ丁寧に修正、対応して参ります。 プログラムの内容は特別変更する必要はございません。 上演時間は普段の時間割に合わせて対応致します。 休憩時間の長さや回数など細やかに対応致します。</p>
実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。



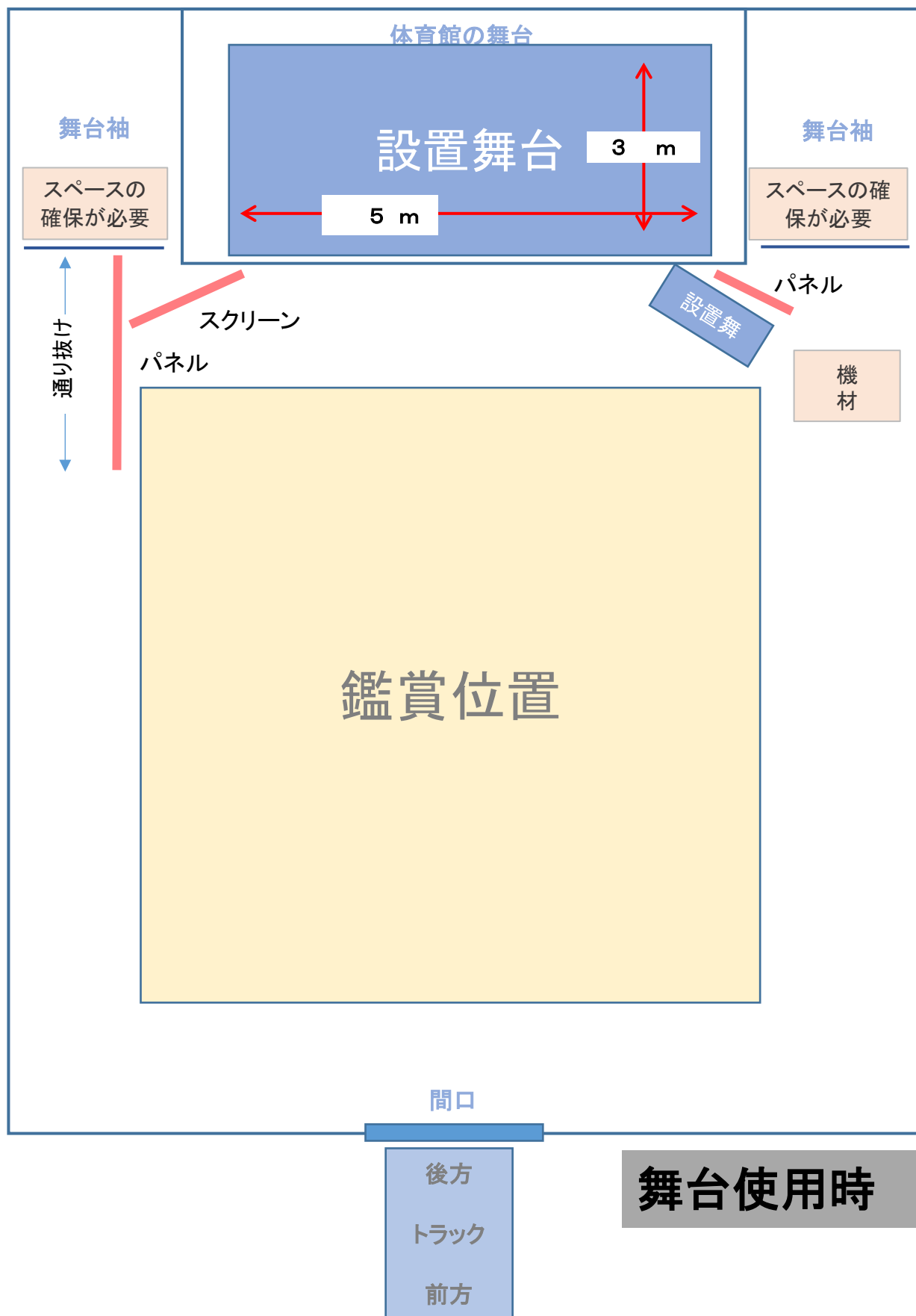
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F75	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」				制作団体名	株式会社BOX4628			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性用、女性用で各1室、出来れば体育館に近く、着替えるため、カーテンがある部屋が希望です。					
搬入について	可	来校する車両の大きさや台数 *			2tトラック	1台	大型バス	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	—	搬入経路の最低条件			特にございません					
	—	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない					
WSIについて	可	搬入間口について 単位:メートル			幅	1.8m	高さ	1.8m		
	可	参加可能人数			800名程度まで					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			ステージでの公演(上演)となりますので、フロア(アリーナ)に児童、生徒さんが鑑賞できる人数と、お考えください。最大で800名程度が望ましいです。					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上 ※場合によりフロアへの設置も可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	5m	奥行	3m	高さ	指定は ございません	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		可能な限り体育用具などが無いことが望ましいです。 移動可能な物はフロア(アリーナ)へ出していただけますと助かります。			
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	スクリーンに台詞や歌詞を投影するため。			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量				
その他特記事項										

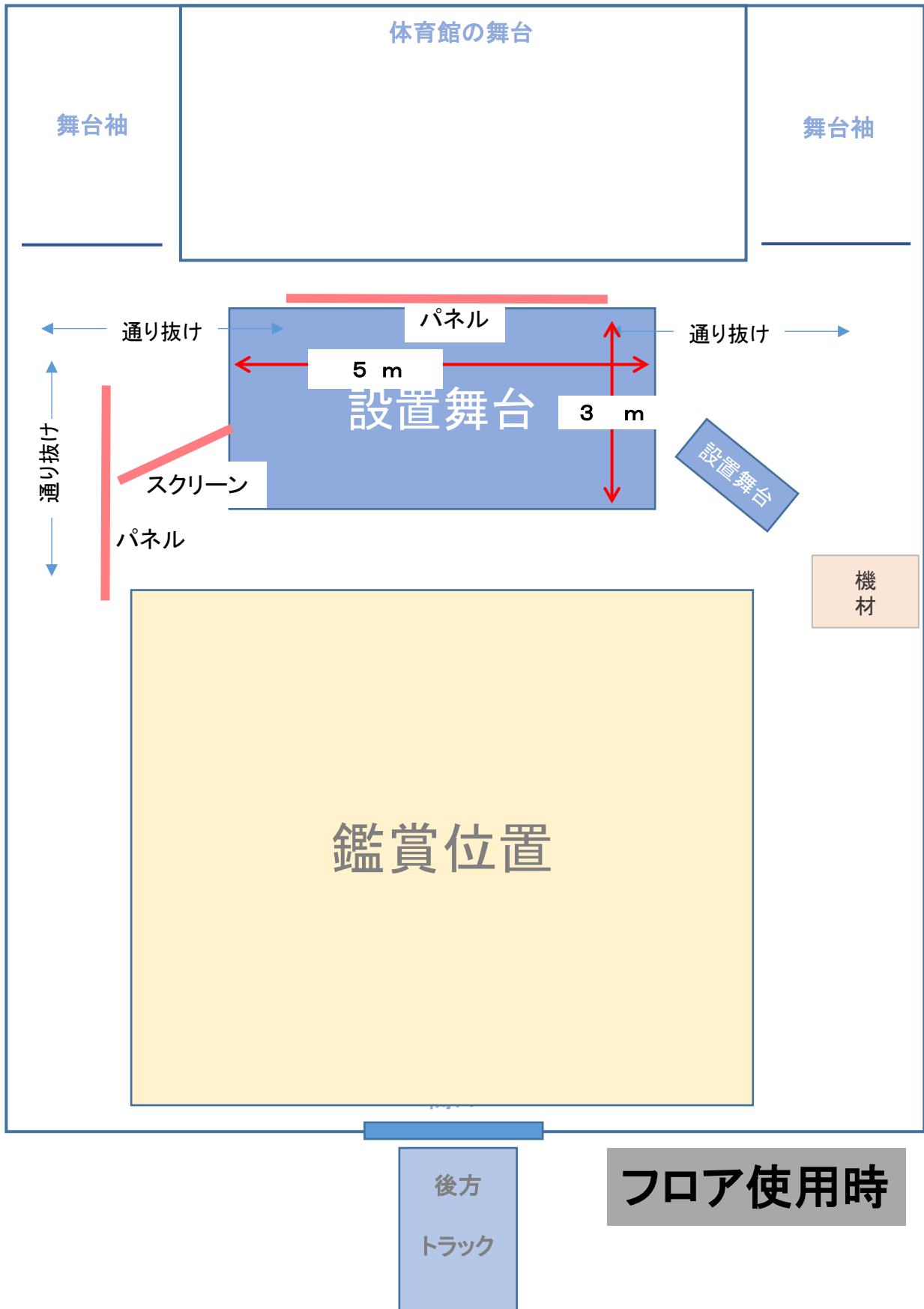
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

実施日程	実施校名	地元主催者
2018年6月4日(月)	小樽市立望洋台中学校	北海道教育委員会、小樽市教育委員会
2018年6月5日(火)	札幌市立元町小学校	札幌市教育委員会
2018年6月6日(水)	札幌市立大谷地小学校	札幌市教育委員会
2018年6月7日(木)	北海道旭川養護学校	北海道教育委員会
2018年6月8日(金)	北海道稚内養護学校	北海道教育委員会
2018年7月2日(月)	鹿角市立八幡中学校	秋田県教育委員会
2018年7月3日(火)	三種町立八竜中学校	秋田県教育委員会
2018年7月4日(水)	由利本荘市立東由利中学校	秋田県教育委員会
2018年7月5日(木)	石巻市立門脇中学校	宮城県教育委員会、石巻市教育委員会
2018年7月6日(金)	東松島市立鳴瀬未来中学校	宮城県教育委員会、東松島市教育委員会
2018年9月10日(月)	北海道シュタイナー学園いずみの学校初等部中等部	北海道
2018年9月11日(火)	木古内町立木古内小学校	北海道教育委員会、木古内町教育委員会
2018年9月12日(水)	平川市立竹館小学校	青森県教育委員会、平川市教育委員会
2018年9月13日(木)	階上町立階上小学	青森県教育委員会、階上町教育委員会
2018年9月14日(金)	北秋田市立鷹巣中央小学校	秋田県教育委員会

## 重踊流について

「琉球舞踊 重踊流」は、志田房子（国指定重要無形文化財総合認定）を初代宗家とし、伝統を受け継ぐとともに、新たな作品の創作にも取り組んでいます。

## 子の会について

「子の会」は、国立劇場おきなわ組踊研修修了者で構成された会です。3年間の研修修了後も、互いに自らの技芸の向上を目指すことを目的に設立されました。また、組踊の伝承者としての活動を通して、文化遺産である組踊をはじめとする沖縄の伝統芸能の世界を多くの人に知ってもらい、それを次世代へ継承していくことに貢献できればと考えています。

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

平成30年度  
文化芸術による子供の育成事業 一巡回公演事業一

琉球舞踊 重踊流 「四つ竹」  
沖縄伝統組踊 子の会 「万歳敵討」



「文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業 -」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



## ■琉球舞踊とは

沖縄は、1879（明治12）年に沖縄県が設置されるまで、琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

- ①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって生まれた「古典舞踊」
- ②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた大衆的な「雑踊」
- ③戦後につくられた「創作舞踊」

## ■組踊とは

唱え（台詞）、音楽、踊り（所作）によって構成される演劇（歌舞劇）のことです。

組踊は、琉球（今の沖縄県）の新国王認証のため中国から派遣された冊封使をもてなすために玉城朝薫によって作られ、1719年に初めて上演されました。

朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇からヒントを得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

来年2019年は、組踊がはじめて上演されてから300年という大きな節目を迎えます。

### 【使用楽器の紹介】



ふえ 笛



さんしん 三線



ごしちゅう 胡弓



ひらぶりだいこ 平吊太鼓

しめだいこ 締太鼓



こと 箏

# 公演プログラム

## 1部

◇琉球舞踊 上演作品 『四つ竹』 古典女踊り

◇琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

◇『沖縄言葉あそび』と『沖縄音楽ミニコンサート』

◇体験コーナー

みんなで『安里屋ユンタ』打って！唄って！踊ろう！

## 2部

◇組踊 上演作品のあらすじとおはなし

◇組踊 上演作品『万歳敵討』仇討物

（組踊：ユネスコ無形文化遺産）

- 出演 : 琉球舞踊「重涌流」  
沖縄伝統組踊「子の会」
- 組踊監修 : 宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」（総合認定）保持者
- 琉球舞踊監修 : 志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」（総合認定）保持者
- 企画制作 : 株式会社BOX4628